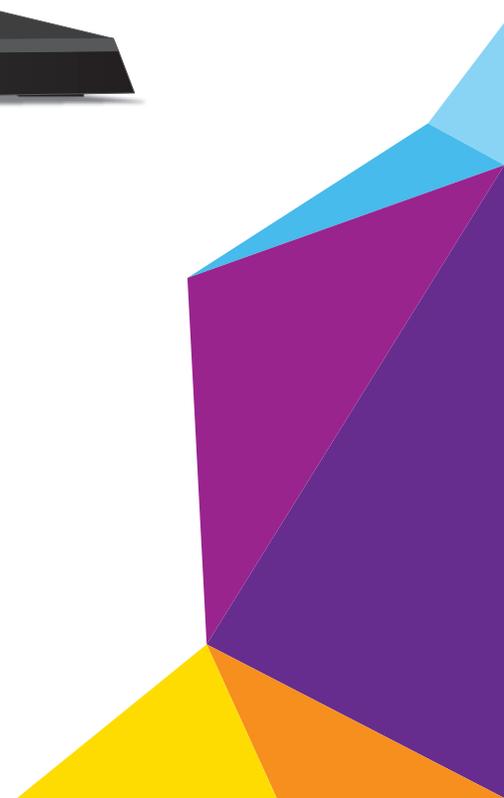


NETGEAR®

Nighthawk ギガビットルーター R7000 ユーザーマニュアル



2014年4月
202-11368-01



サポート

NETGEAR 製品をお選びいただきありがとうございます。

NETGEAR 製品のインストール、設定、または仕様に関するご質問や問題については、下記の NETGEAR カスタマーサポートまでご連絡ください。無償保証を受けるためには、本製品をご購入後 30 日以内にユーザー登録が必要になります。ユーザー登録方法につきましては、別紙 [ユーザー登録のお知らせ (ユーザー登録のお願い)] をご確認ください。

NETGEAR カスタマーサポート

電話：フリーコール 0120-921-080 (携帯・PHS など、フリーコールが使用できない場合：03-6670-3465)

受付時間：平日 9:00 ~ 20:00、土日祝 10:00 ~ 18:00 (年中無休)

E-mail：support@netgear.jp

テクニカルサポートの最新情報は、NETGEAR の Web サイトをご参照ください。

<http://www.netgear.jp/support/>

商標

NETGEAR、NETGEAR のロゴは米国およびその他の国における NETGEAR, Inc. の商標および登録商標です。記載されている情報は予告なしに変更される場合があります。© NETGEAR, Inc. All rights reserved.

適合性

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

各種規格との適合に関する情報は、ネットギアのウェブサイト (<http://www.netgear.com/about/regulatory/>) をご覧ください (英語)。

目次

第 1 章 ハードウェアのセットアップ

同梱物の確認	9
アンテナの接続	9
天面と前面	10
背面	11
ルーターの設置	12
ケーブルの接続	13

第 2 章 ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

ネットワークへの接続	15
有線接続	15
ワイヤレス接続	15
ラベル	16
ログインのタイプ	16
ブラウザからルーター管理画面へのアクセス	16
NETGEAR genie 自動インターネットセットアップ	16
ルーターへのログイン	18
言語の変更	19
デスクトップ NETGEAR genie アプリ	19

第 3 章 インターネットの設定

インターネット接続セットアップウィザード	21
インターネット接続の手動設定	22
ログインせずにインターネット接続を設定する	22
ログインしてインターネット接続を設定する	24
IPv6 インターネット接続	26
IPv6 アドレスの入力要件	26
IPv6 自動検出	27
IPv6 の自動設定	28
IPv6 の 6to4 トンネル	29
IPv6 のパススルー	31
IPv6 の固定	31
IPv6 DHCP	33
IPv6 PPPoE	34
MTU サイズの変更	36

第 4 章 パフォーマンスの最適化

QoS によるインターネットトラフィックの優先順位付け	39
-----------------------------------	----

アップストリーム QoS によるインターネットゲームの最適化	39
アップストリーム QoS ルールの追加	40
アプリケーションとオンラインゲーム用の QoS 設定	41
ルーター LAN ポート用の QoS 設定	42
MAC アドレス用の QoS 設定	43
アップストリーム QoS ポリシーの編集	44
アップストリーム QoS ポリシーの削除	45
ダウンストリーム QoS によるビデオストリーミングの最適化	45
キーワード別のダウンストリーム QoS ルールの追加	47
デバイス別のダウンストリーム QoS ルールの追加	47
Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善	48
Wi-Fi マルチメディアの QoS	49

第 5 章 インターネット接続の設定

ペアレンタルコントロール	51
ネットワークのアクセスブロック	53
キーワードを使用したインターネットサイトのブロック	54
ブロックサービス	56
インターネットサイトやサービスブロックのスケジュール	57
信頼できるコンピューターを指定する	58
セキュリティイベントのメール通知を設定する	59

第 6 章 ルーターに接続された USB ドライブの共有

USB ドライブの要件	62
ネットワーク上の USB ドライブへのアクセス	62
ReadySHARE Vault を使用した Windows コンピューターのバックアップ	64
Time Machine を使用した Mac コンピューターのバックアップ	64
Mac での USB ハードドライブの設定	64
大量のデータのバックアップ準備	65
Time Machine を使用した USB ドライブへのバックアップ	66
USB ドライブへのアクセス制御	67
ネットワーク内での FTP の使用	68
USB ドライブ上のネットワークフォルダーの表示	69
USB ドライブ上のネットワークフォルダーの追加	71
USB ドライブ上のネットワークフォルダーの編集	72
USB ドライブの承認	72
USB ドライブの安全な取り外し	73

第 7 章 インターネットからのルーターの USB ドライブへのアクセス

インターネットからの USB ドライブへのアクセス	76
インターネットからの FTP アクセスの設定	76
FTP を使用したインターネットからの USB ドライブへのアクセス	77
ダイナミック DNS	78
個人用 FTP サーバー	78
新しいダイナミック DNS アカウントの設定	79
すでに持っている DNS アカウントの指定	80

ダイナミック DNS 設定の変更.....	82
個人用 FTP サーバーの設定.....	82

第 8 章 メディアサーバーとしてのルーターの使用

ReadyDLNA メディアサーバーの設定.....	84
iTunes サーバーを使用した USB ドライブからの音楽再生.....	84

第 9 章 USB プリンターの共有

プリンタードライバのインストールとプリンターの接続.....	88
ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード.....	88
ReadySHARE プリントユーティリティのインストール.....	89
共有プリンターの使用.....	90
プリンターのステータスの確認と変更.....	91
多機能 USB プリンターのスキャン機能の使用.....	92
USB Control Center 設定の変更.....	93

第 10 章 ネットワーク設定

LED の点滅を無効にする、または LED をオフにする.....	95
WAN 設定.....	95
デフォルト DMZ サーバーの設定.....	97
ルーターのデバイス名の変更.....	98
LAN TCP/IP 設定の変更.....	98
ルーターが割り当てる IP アドレスの指定.....	100
ルーターの DHCP サーバー機能の無効化.....	101
LAN IP アドレスの予約.....	102
WPS ウィザードの使用.....	103
基本ワイヤレス設定.....	104
ワイヤレスセキュリティオプションの変更.....	106
ゲストネットワークの設定.....	107
ルーターがワイヤレスクライアントを管理する方法.....	109
エアタイムフェアネス.....	109
暗示的ビームフォーミング.....	109
ワイヤレスのオン / オフ.....	110
ワイヤレスオン / オフボタンの使用.....	110
ワイヤレスの有効化または無効化.....	110
ワイヤレススケジュールの設定.....	111
WPS 設定.....	112
ルーターをワイヤレスアクセスポイントとして使用.....	113
ルーターのブリッジモードの設定.....	115
WDS (Wireless Distribution System).....	117
ベースステーションの設定.....	118
リピーターの設定.....	119

第 11 章 ネットワークの管理

ルーターファームウェアのアップデート.....	123
管理者パスワードの変更.....	123

管理者パスワードの復元	124
ルーターステータスの表示	125
インターネットポート統計の表示	126
インターネット接続ステータスの確認	127
ルーターアクティビティのログの表示	128
トラフィックメーター	129
静的ルートの作成	131
ネットワーク上にあるデバイスの表示	133
ルーター設定ファイルの管理	134
設定のバックアップ	134
設定の復元	135
現在の設定の消去	135
リモート管理	136

第 12 章 VPN を使用したネットワークへのアクセス

VPN 接続の設定	139
VPN サービスの設定	140
OpenVPN ソフトウェアのインストール	140
VPN トンネルの使用	143
ルーターの USB ドライブとメディアへの VPN を使用したアクセス	144
VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス	145
VPN クライアントインターネットアクセスの設定	145
ルーターでの VPN クライアントインターネットアクセスの禁止	146
VPN トンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス	147

第 13 章 インターネットポート設定

ローカルサーバーへのポート転送の設定	149
ポート転送の追加	150
ポート転送の編集	151
ポート転送の削除	152
適用例：ローカルウェブサーバーの公開	152
ルーターでのポート転送ルールの実行方法	153
ポートトリガーの設定	153
ポートトリガーの追加	154
ポートトリガーの有効化	155
適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー	156

第 14 章 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント	158
ネットワークを再起動する手順	158
LAN ケーブルの接続の確認	158
ワイヤレス設定	158
ネットワーク設定	158
LED を使用したトラブルシューティング	159
電源 LED が消灯または点滅している	159
電源 LED がオレンジのままになっている	159

LED が消灯しない	159
インターネットまたは LAN ポートの LED が消灯している	160
ワイヤレス LED が消灯している	160
ルーターにログインできない	160
インターネットにアクセスできない	161
PPPoE のトラブルシューティング	162
インターネット閲覧のトラブルシューティング	163
変更が保存されない	163
ワイヤレス接続	164
ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング ..	164
ルーターへの LAN のパスのテスト	164
コンピューターからリモートデバイスへのパスのテスト	165

付録 A 補足情報

初期設定	168
技術仕様	170

ハードウェアのセットアップ

1

Nighthawk ギガビットルーター R7000 を使って、快適にインターネットを楽しむための高速ワイヤレスホームネットワークを簡単に設定することができます。

次世代ワイヤレス規格 802.11ac に対応しており、最大で¹ 1300Mbps² (5GHz) / 600 Mbps³ (2.4 GHz) のデュアルバンドワイヤレス接続速度を実現します。

R7000 はデュアルコア 1GHz CPU を搭載。オンラインゲームやビデオストリーミングといった広帯域を必要とする利用シーンに最適です。

高性能なアンテナを備えたアンプ（高出力増幅器）により、ワイヤレスの電波が家のすみずみまで届きます。

Xbox などのゲーム機器によるオンラインプレイに最適化されたアップストリーム QoS 機能により、インターネット上のゲームサーバーとの通信トラフィックを優先的に処理します。また、Netflix、YouTube、Hulu Plus といったストリーミングトラフィックを識別して優先させるダウンストリーム QoS 機能により、HD ストリーミングメディアが中断されることを防ぎます。

ルーターをまだ設定していない場合には、同梱されたインストールガイドをお読みの上、この章の説明に基づいてハードウェアをセットアップしてください。

この章には次の内容が含まれます。

- [同梱物の確認](#)
- [アンテナの接続](#)
- [天面と前面](#)
- [背面](#)
- [ルーターの設置](#)
- [ケーブルの接続](#)

このマニュアルで説明されている内容の詳細については、サポート Web サイト <http://www.netgear.jp/supportInfo> にアクセスしてください。

1. IEEE 規格 802.11 仕様に基づく最大ワイヤレス信号速度です。ネットワークトラフィック量、建物の構造、ネットワークオーバーヘッドなどのネットワーク条件や環境要因によって、実際のデータスループットは低下します。NETGEAR は、本製品と将来標準化されるいかなる規格との互換性も保証しません。

2. 最大 1300 Mbps のワイヤレス速度を実現するには、無線 LAN 子機が 802.11ac 1300 Mbps に対応している必要があります。

3. 11n で 246QAM 対応の製品と接続した場合に最大 600Mbps の転送速度を実現します。

同梱物の確認

箱を開け、同梱物を取り出します。

R7000 ルーター



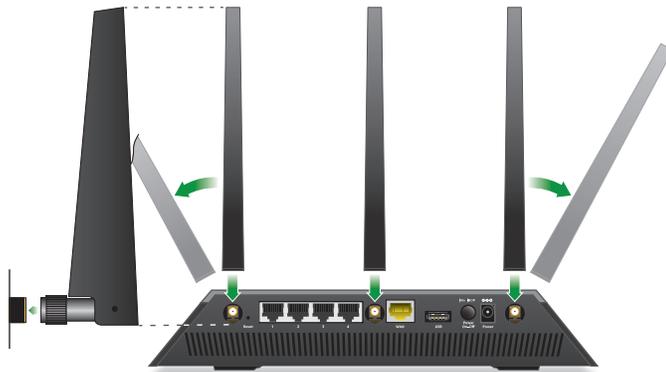
図 1. 同梱物の確認

アンテナの接続

ルーターには3本のアンテナが付属しています。

➤ アンテナを接続する：

1. アンテナをルーターのアンテナ差し込み口の位置に合わせます。



2. アンテナをねじ式の差し込み口に接続します。
3. アンテナの角度はワイヤレスの状況を見ながら変更することができます。

図に示すように、中央のアンテナは垂直にし、両側のアンテナを外側に45度向けた状態にすることを推奨します。

天面と前面

ルーターの天面にはステータス LED、前面には USB 3.0 ポートがあります。



図 2. ルーターの天面と前面

表 1. LED とボタンの説明

LED	説明
電源 	<ul style="list-style-type: none"> オレンジ点灯：ルーターは起動中です。 オレンジ点滅：ファームウェアのアップグレード中、またはリセットボタンが押されました。 白点灯：ルーターは起動しています。 白点滅：ファームウェアが破損しています。 消灯：ルーターの電源はオフになっています。
インターネット 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：インターネットに接続しています。 オレンジ点灯：ルーターは、モデムへの LAN ケーブル接続を検出しました。 消灯：ルーターとモデムの間に LAN ケーブルが接続されていません。
2.4 GHz ワイヤレス 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：2.4 GHz ワイヤレス LAN が動作しています。 点滅：ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯：2.4 GHz ワイヤレス LAN がオフです。
5 GHz ワイヤレス 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：5 GHz ワイヤレス LAN が動作しています。 点滅：ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯：5 GHz ワイヤレス LAN がオフです。
USB (1 と 2)  	<p>USB 1 LED は、前面にある USB 3.0 USB ポート用です。USB 2 LED は、背面にある USB 2.0 ポート用です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白点灯：USB デバイスは接続され、使用できる状態です。 点滅：USB デバイスは差し込まれ、接続を試みています。 消灯：USB デバイスが接続されていないか、または [ハードウェアの安全な取り外し] ボタンがクリックされていて、接続された USB デバイスを安全に取り外せる状態です。

表 1. LED とボタンの説明 (続き)

LED	説明
LAN ポート 1 ~ 4 	LED の色で速度を示します：ギガビットイーサネット接続は白、10/100 Mbps イーサネット接続の場合はオレンジです。 <ul style="list-style-type: none"> 点灯：電源の入っているデバイスが LAN ポートに接続されています。 点滅：ポートは、トラフィックを送信または受信しています。 消灯：デバイスが LAN ポートに接続されていません。
ワイヤレスオン/オフボタン と LED 	このボタンを 2 秒間押すと、2.4 GHz および 5 GHz ワイヤレス LAN のオンとオフが切り替わります。 この LED が点灯している場合、ワイヤレス LAN はオンです。この LED が消灯している場合、ワイヤレス LAN はオフであり、ワイヤレスでルーターに接続できません。
WPS ボタン (LED 付き) 	このボタンを使用すると、ネットワークキー (パスワード) を入力しなくても、WPS を使用してワイヤレスネットワークに接続することができます。WPS 処理中は WPS LED が白で点滅し、その後白で点灯します。

背面

背面には、次の図に示す接続ポートおよびボタンがあります。

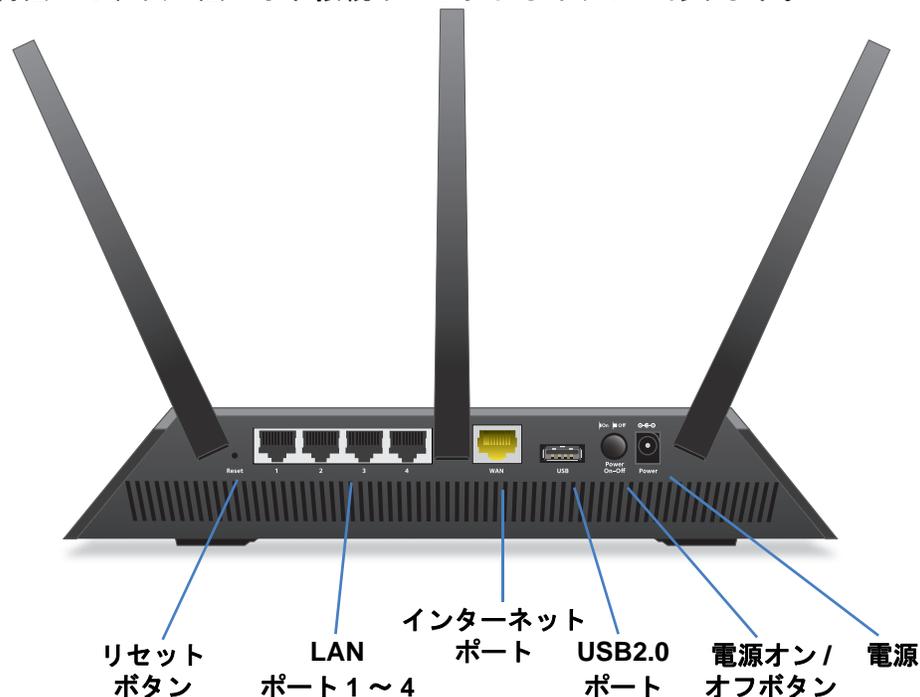


図 3. ルーターの背面

リセットボタンを押すと、工場出荷時の設定に復元されます。168 ページの [初期設定](#) を参照してください。

ルーターの設置

ルーターを使用すると、ワイヤレスネットワークの届く範囲であればどこからでもネットワークにアクセスすることができます。ただし、電波の届く範囲や信号強度はルーターの設置場所によって大きく異なります。例えば、厚い壁や複数の壁があると、電波が届きにくくなる場合があります。

また、自宅内や周囲に他のワイヤレスアクセスポイントがあると、ルーターの信号が影響を受ける場合があります。ワイヤレスアクセスポイントとは、ルーター、リピーター、ワイヤレスエクステンダー（無線 LAN 中継機）、またはネットワークアクセス用のワイヤレス信号を放出するその他のデバイスのことです。

▶ ルーターを設置する：

1. コンピューターやその他のワイヤレスデバイスが動作するエリアの中心近くで、ワイヤレスデバイスから見通しの良い範囲内に、ルーターを設置します。
2. 電源コンセントに差し込みやすく、有線で接続する場合は LAN ケーブルの接続しやすい場所であることを確認します。
3. ルーターを高い場所に設置して、ルーターとその他のデバイスとの間にある壁や天井の数をできるだけ少なくします。
4. ルーターを次のような電子デバイスから離して設置します。
 - 天井のファン
 - ホームセキュリティシステム
 - 電子レンジ
 - コンピューター
 - コードレス電話機の親機
 - 2.4 GHz のコードレス電話機
5. ルーターを次のような大きな金属面、大きなガラス面、断熱壁から離して設置します。
 - 金属製のドア
 - アルミニウム製の柱
 - 水槽
 - 鏡
 - レンガ
 - コンクリート
6. (オプション) 近くに別のアクセスポイントがある場合は、別の無線周波数チャンネルを使用して干渉を少なくします。

ケーブルの接続

次の図に、ルーターの接続方法を示します。

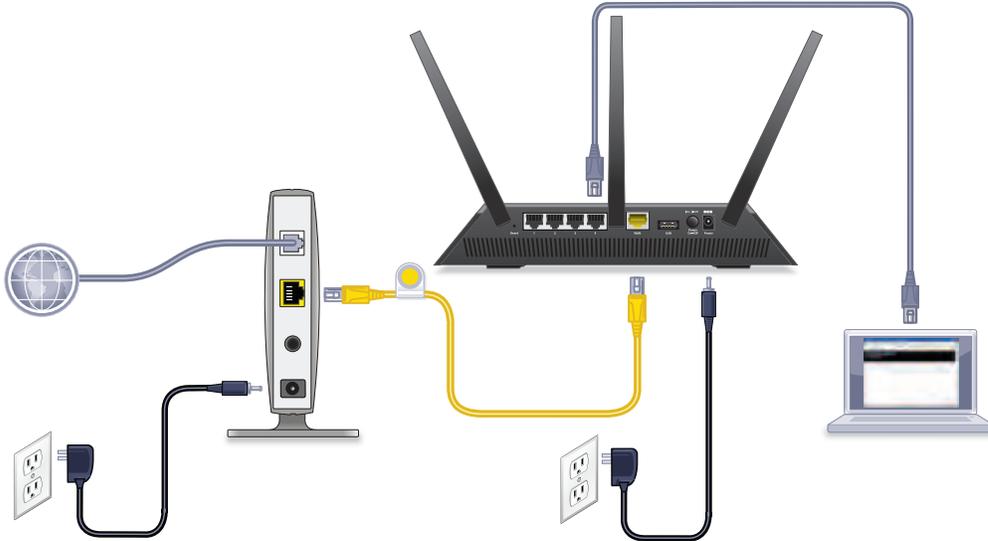


図 4. ルーターの接続方法

➤ ケーブルの接続を行うには：

1. モデムの電源をオフにします。モデムが既に別のルーターに接続されている場合は、モデムとルーターの間に接続されている LAN ケーブルを外します。モデムにはインターネットサービスの壁の差し込み口のみケーブルが接続されているようにします。
2. モデムに電源コードを接続し、電源を入れます。
3. 同梱の LAN ケーブルを使用して、モデムとルーターのインターネットポートを接続します。
4. ルーターに電源コードを接続します。
5. ルーターの背面にある電源オン/オフボタンを押します。

ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

2

この章には次の内容が含まれます。

- ネットワークへの接続
- ログインのタイプ
- ブラウザーからルーター管理画面へのアクセス
- 言語の変更
- デスクトップ NETGEAR genie アプリ

ネットワークへの接続

有線または無線でルーターのネットワークに接続することができます。静的 IP アドレスを使用するようにコンピューターを設定している場合は、DHCP を使用するように設定を変更します。

有線接続

コンピューターとルーターを有線で接続し、ルーターのローカルエリアネットワーク (LAN) に接続することができます。

➤ **コンピューターとルーターを有線で接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. LAN ケーブルをコンピューターの LAN ポートに接続します。
3. LAN ケーブルのもう一方の端をルーターの LAN ポートに接続します。

ワイヤレス接続

ワイヤレスでルーターに接続するには、WPS (Wi-Fi Protected Setup) を使用するか、または手動でルーターのワイヤレスネットワークを選択して接続します。

➤ **WPS を使用してワイヤレスネットワークに接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. コンピューターまたはワイヤレスデバイスの WPS 手順を確認します。
3. ルーターの **WPS** ボタンを押します。
4. 2 分以内に、コンピューターまたはワイヤレスデバイスの **WPS** ボタンを押すか、WPS 接続の手順に従います。

コンピューターまたはワイヤレスデバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。

➤ **手動でワイヤレスネットワークを探して接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. コンピューターまたはワイヤレスデバイスのワイヤレスネットワーク接続から、ルーターのワイヤレスネットワークを見つけて選択します。ワイヤレスネットワーク名は、ルーターのラベルに記載されています。
3. ネットワークキー（パスワード）を入力します。

ネットワークキー（パスワード）は、ルーターのラベルに記載されています。

ワイヤレスデバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。

ラベル

ルーターに貼られているラベルには、ログイン情報、MAC アドレス、シリアルナンバーが記載されています。

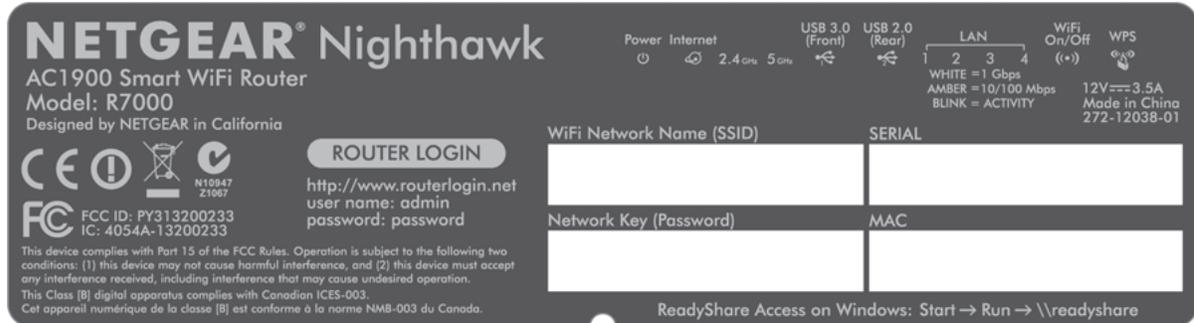


図 5. ルーターのラベル

ログインのタイプ

目的に応じて異なるログインの種類があります。それぞれの違いを理解して、いつどのログインを使用するのかを判断することが重要です。

ログインのタイプ：

- **プロバイダーログイン**：プロバイダーから郵送などで送られてくるログイン情報を使用して、インターネットサービスにログインします。ログイン情報が見つからない場合は、プロバイダーに直接問い合わせてください。
- **ワイヤレスネットワークキーまたはパスワード**：ルーターには、ワイヤレスアクセスのための固有のワイヤレスネットワーク名 (SSID) とパスワードがあらかじめ設定されています。この情報は、ルーターに貼られているラベルに記載されています。
- **ルーターログイン**：ユーザー名 とパスワードを入力して、ルーター管理画面にログインします。

ブラウザからルーター管理画面へのアクセス

インターネットブラウザから『NETGEAR genie』と呼ばれるルーター管理画面にアクセスし、ルーターの設定の確認や変更を行うことができます。ルーターに初めてアクセスするときは、ルーターがインターネットサービスに接続できるかどうかを NETGEAR genie が自動的にチェックします。

NETGEAR genie 自動インターネットセットアップ

ルーターは NETGEAR genie を使用して自動的にセットアップすることも、NETGEAR genie のメニューと画面を使用して手動でセットアップすることもできます。セットアップ手順を

開始する前に、プロバイダー情報を入手し、ネットワーク上のコンピューターやデバイスがここで説明する通りの設定であることを確認します。

インターネットサービスを開始するとき、インターネットに接続するために必要なすべての情報は、通常、プロバイダーから提供されます。DSL サービスの場合は、ルーターをセットアップするために次の情報が必要になることがあります。

- DSL アカウントのプロバイダー設定情報
- プロバイダーのログイン名とパスワード
- 固定または静的 IP アドレス設定（プロバイダーによりごく稀に必要になります）

この情報が確認できない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。インターネット接続が有効であれば、インターネットにアクセスするためにプロバイダーのログインプログラムを起動する必要はなくなります。

インストールおよび基本セットアップは完了するまでに 15 分程度かかります。

➤ NETGEAR genie を使用してルーターをセットアップする：

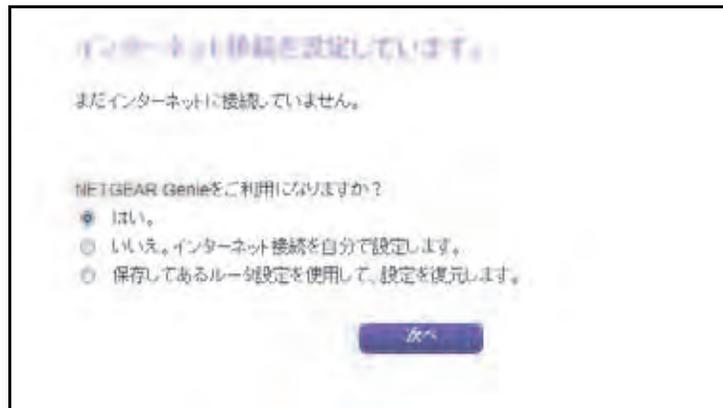
1. 電源オン/オフボタンを押して、ルーターの電源を入れます。
2. コンピューターまたはワイヤレスデバイスが LAN ケーブル（有線）またはワイヤレスでルーターに接続されていること、またワイヤレス接続の場合、ルーターのラベルに記載されているセキュリティ設定が使用されていることを確認します。

注意： ルーターのワイヤレス設定を変更する場合は、有線接続を使用してください。これは、新しいワイヤレス設定が有効になるときにワイヤレス接続が切断されることを避けるためです。

3. インターネットブラウザを開きます。

これまでにルーターにアクセスしたことがあるかどうかによって表示される画面が異なります。

- ルーターのインターネット接続を初めてセットアップするときは、自動的に <http://www.routerlogin.net> に移動して、NETGEAR genie 画面が表示されます。



- ルーターのセットアップが完了している場合は、ブラウザのアドレス欄に <http://www.routerlogin.net> と入力して NETGEAR genie 画面を表示します。

4. 画面に表示される指示に従います。
NETGEAR genie には、ルーターをインターネットに接続する方法が順に示されます。
5. ブラウザーに NETGEAR genie が表示されない場合は、次の操作を実行します。
 - コンピューターがルーターの LAN ポートに有線で接続しているか、またはワイヤレスで接続していることを確認します。
 - ルーターの電源が入っていること、および電源 LED が白で点灯していることを確認します。
 - ブラウザーを閉じて開き直すか、またはブラウザのキャッシュをクリアします。
 - ブラウザーのアドレス欄に正しいアドレスが入力されていることを確認します。
 - コンピューターが静的または固定 IP アドレスに設定されている場合（稀です）、IP アドレスをルーターから自動的に取得するように変更します。
6. ルーターがインターネットに接続していない場合は、次の操作を行います。
 - a. 設定を確認します。適切なオプションを選択していて、すべてを正しく入力していることを確認します。
 - b. プロバイダーに問い合わせ、正しい設定情報を使用していることを確認します。
 - c. [第 14 章、トラブルシューティング](#)を参照してください。問題が解決しない場合は、NETGEAR のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

ルーターへのログイン

ルーターを初めてセットアップするときは、ルーターに接続されているコンピューターでインターネットブラウザを起動すると、NETGEAR genie が自動的に開始されます。ルーターの設定を確認または変更する場合は、NETGEAR genie を使用します。

▶ ルーターにログインする：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

言語の変更

NETGEAR genie の言語を変更することができます。

▶ 言語を変更する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. 右上隅にあるドロップダウンリストから言語を選択します。
5. メッセージが表示されたら、**[OK]** ボタンをクリックします。
選択した言語で画面が更新されます。

デスクトップ NETGEAR genie アプリ

デスクトップ NETGEAR genie アプリは、ホームネットワークの管理、監視、修復を行う使いやすいダッシュボードです。デスクトップ NETGEAR genie アプリを使うと、次のようなことができます。

- ワイヤレスネットワークの一般的な問題を自動的に修復する。
- ライブペアレンタルコントロール、ゲストアクセス、インターネットトラフィックメーター、スピードテストなどのルーター機能に簡単にアクセスする。

▶ デスクトップ NETGEAR genie アプリを使用してルーターにアクセスする：

1. デスクトップ NETGEAR genie のウェブページ
<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/> にアクセスします。
2. 画面に表示される指示に従って、スマートフォンやタブレット、コンピューターなどにアプリをインストールします。
3. デスクトップ NETGEAR genie アプリを起動します。
デスクトップ NETGEAR genie アプリのダッシュボード画面が表示されます。

インターネットの設定

3

ルーターをインターネットに接続するには、NETGEAR genie（ルーター管理画面）を使ってインターネット接続を自動的に検出するのが一番簡単な方法です。また、手動でインターネット設定を行うこともできます。

この章には次の内容が含まれます。

- [インターネット接続セットアップウィザード](#)
- [インターネット接続の手動設定](#)
- [IPv6 インターネット接続](#)
- [MTU サイズの変更](#)

インターネット接続セットアップウィザード

セットアップウィザードを使用してインターネット設定を検出し、自動的にルーターをセットアップできます。セットアップウィザードはルーターに最初に接続してセットアップするときの NETGEAR genie 画面とは異なります。

➤ **セットアップウィザードを使用する：**

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

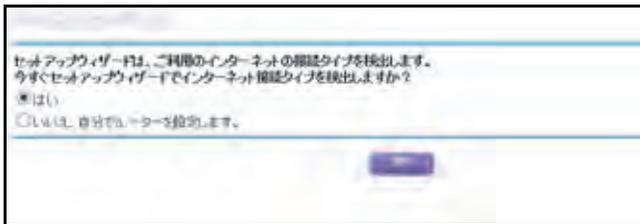
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[高度] > [セットアップウィザード]** を選択します。

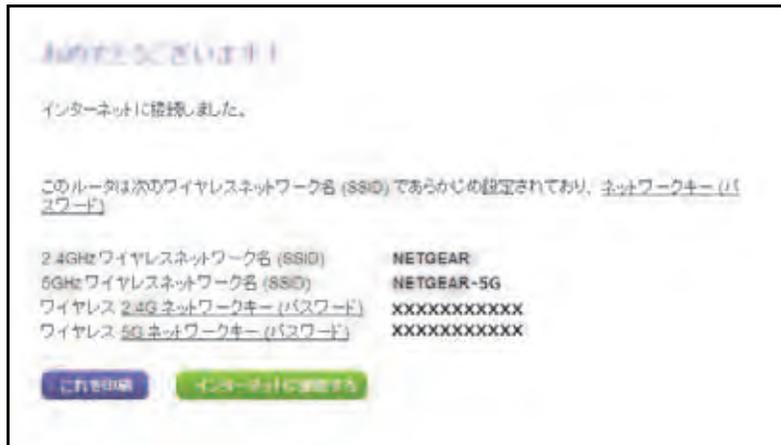


5. **[はい]** ラジオボタンを選択します。

[いいえ、自分でルーターを設定します] を選択した場合、**[インターネット設定]** 画面に切り替わります。([インターネット接続の手動設定](#) を参照)。

6. **[次へ]** をクリックします。

セットアップウィザードはインターネット接続を探し、プロバイダー設定を判断します。



インターネット接続の手動設定

ルーターのインターネット接続設定の参照や変更ができます。

ログインせずにインターネット接続を設定する

▶ インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

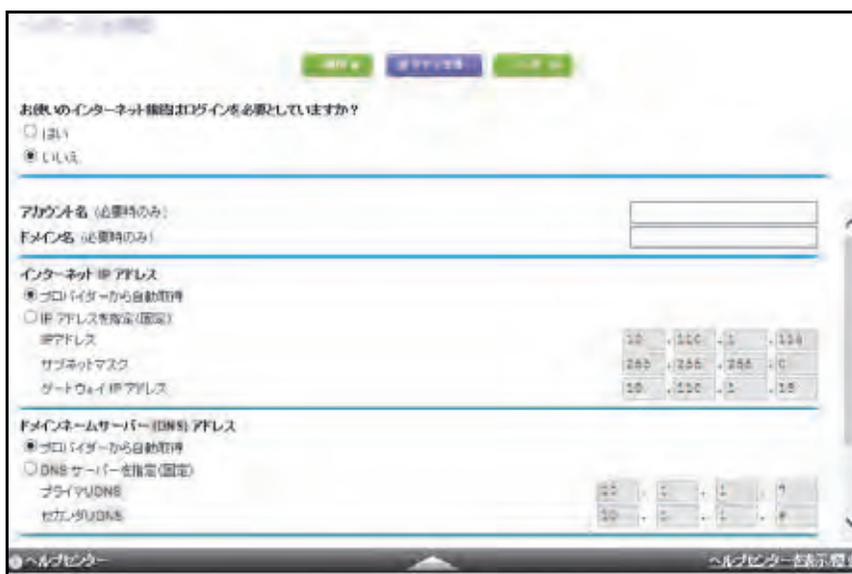
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [インターネット] を選択します。



さらに設定を
表示するには
スクロールし
ます

5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?] の項目は、[いいえ] ラジオボタンが選択された状態のままにしておきます。

6. インターネット接続にアカウント名またはホスト名が必要な場合、[アカウント名 (必要時のみ)] に入力します。

7. インターネット接続にドメイン名が必要な場合、[ドメイン名 (必要時のみ)] に入力します。

この画面の別の項目は、通常デフォルトの設定で問題ありませんが、変更することもできます。

8. インターネット IP アドレスの項目は、次のラジオボタンの中から選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーは DHCP を使用して IP アドレスを自動的に割り当てます。プロバイダーはこれらのアドレスを自動的に割り当てます。
- **IP アドレスを指定 (固定)**：プロバイダーから割り当てられた IP アドレス、IP サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスを入力します。ゲートウェイはルーターが接続するプロバイダー側のルーターです。

9. ドメインネームサーバー (DNS) アドレス設定の項目は、次のラジオボタンの中から選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーは DHCP を使用して DNS サーバーを割り当てます。プロバイダーはこのアドレスを自動的に割り当てます。
- **DNS サーバーを指定 (固定)**：プロバイダーが特定のサーバーを必要とすることが分かっている場合、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリ DNS サーバーを入力してください。セカンダリ DNS サーバーが利用可能なら、それも入力してください。

10. ルーターの MAC アドレス設定の項目は、次のラジオボタンから選択します。

- **デフォルトのアドレスを使う**：デフォルトの MAC アドレスを使用します。

- **コンピューターの MAC アドレスを使用**：ルーターは現在使用中のコンピューターの MAC アドレスを取得し、使用することができます。この場合、プロバイダーに許可されたコンピューターを使用する必要があります。
- **この MAC アドレスを使用**：使用したい MAC アドレスを入力します。

11. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

12. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。

1 分以内に NETGEAR のウェブサイトが表示されない場合は、[第 14 章、トラブルシューティング](#)をご覧ください。

ログインしてインターネット接続を設定する

▶ インターネット設定の確認と変更をする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [インターネット] を選択します。

さらに設定を表示するにはスクロールします

5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?] の項目で [はい] ラジオボタンを選択します。
画面の表示が変更されます。
6. インターネットサービスプロバイダーのドロップダウンリストで、[PPPoE]、または [マルチ PPPoE] を選択します。
7. [ログイン] の欄にプロバイダーから郵送などで送られてくるログイン名を入力します。通常はメールアドレスとなります。
8. [パスワード] の欄にログインするためのパスワードを入力します。
9. プロバイダーからサービス名を提供された場合、[サービス名 (必要時のみ)] の欄に入力します。
10. [接続モード] ドロップダウンリストで、[常時接続]、[必要に応じダイヤル]、[手動接続] のいずれかを選択します。
11. ログインのタイムアウト時間を変更したい場合は [アイドルタイムアウト (分)] の欄に値を分で入力します。
この設定は、LAN からのインターネット接続がない場合、ルーターがインターネット接続を維持しておく時間を設定します。0 (ゼロ) を入力すると、タイムアウトしないことを意味します。
12. インターネット IP アドレスの項目で、次のラジオボタンのいずれかを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーは DHCP を使用して IP アドレスを割り当てます。プロバイダーはこのアドレスを自動的に割り当てます。
 - **DNS サーバーを指定 (固定)**: プロバイダーから割り当てられる IP アドレス、IP サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスを入力します。ゲートウェイはルーターが接続するプロバイダー側のルーターです。
13. [ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] の項目は、次のラジオボタンの中からいずれかを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーは DHCP を使用して DNS サーバーを割り当てます。プロバイダーはこのアドレスを自動的に割り当てます。
 - **DNS サーバーを指定 (固定)**: プロバイダーが特定のサーバーを必要とすることが分かっている場合、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリ DNS サーバーを入力してください。セカンダリ DNS サーバーが利用可能なら、それも入力してください。
14. ルーター MAC アドレスの項目は次のラジオボタンの中からいずれかを選択します。
 - **デフォルトのアドレスを使う**: デフォルトの MAC アドレスを使用します。
 - **コンピューターの MAC アドレスを使用**: ルーターは現在使用中のコンピューターの MAC アドレスを取得し、使用することができます。この場合、プロバイダーに許可されたコンピューターを使用する必要があります。
 - **この MAC アドレスを使用**: 使用したい MAC アドレスを入力します。
15. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
16. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。

1 分以内に NETGEAR のウェブサイトが表示されない場合は、[第 14 章、トラブルシューティング](#)をご覧ください。

IPv6 インターネット接続

NETGEAR genie が自動的にインターネット接続を検出できない場合は、この機能を利用して IPv6 インターネット接続を設定することができます。

▶ IPv6 インターネット接続タイプを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[IPv6]** を選択します。
5. **[インターネット接続タイプ]** リストで、IPv6 接続タイプを選択します。

この情報はプロバイダー (ISP) から提供されます。

- ご利用のプロバイダーが詳細を提供していない場合は、**[6to4 トンネル]** を選択します。
- 分からない場合は、**[自動検出]** を選択し、使用中の IPv6 をルーターに検出させます。
- インターネット接続が PPPoE、DHCP、固定 IP を使用せず IPv6 を使用している場合は、**[自動設定]** を選択します。**[インターネット接続タイプ]** についての詳細は、次のセクションをご覧ください。

6. **[適用]** ボタンをクリックします。

変更内容が有効になります。

IPv6 アドレスの入力要件

IPv6 アドレスは、4 つの 16 進数を一組とした 8 つのグループをコロンで区切って表されます。IPv6 アドレスで 4 桁がゼロのグループは、1 つのゼロにまとめるか、すべて省略することもできます。次のエラーがある IPv6 アドレスは無効になります。

- 4 桁の 16 進数のグループが 8 つ以上ある
- 1 つのグループ内に 16 進数の英数字が 5 つ以上ある
- 1 行にコロンが 3 つ以上ある

IPv6 自動検出

➤ 自動検出で IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[自動検出] を選択します。
画面が次のように変更されます。



ルーターは次の欄の情報を自動的に検出します。

- **接続タイプ**：この欄には、検出された接続タイプが示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)**：この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)**：この欄には、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
6. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。

- **DHCP サーバーを使う**：この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これがデフォルトの設定です。
7. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスにチェックを入れて、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。
- ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。
8. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 の自動設定

▶ 自動設定で IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[自動設定] を選択します。
画面が次のように変更されます。

ルーターは次の欄の情報を自動的に検出します。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)** : この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
- **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)** : この欄には、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。

6. (オプション) [DHCP ユーザークラス (必要時のみ)] の欄にホスト名を入力します。

ほとんどの場合、この項目は設定不要ですが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合は、ここに入力してください。

7. (オプション) [DHCP ドメイン名 (必要時のみ)] の欄にドメイン名を入力します。

IPv6 プロバイダーのドメイン名を入力できます (IPv4 プロバイダーのドメイン名はここに入力しないでください)。例えば、プロバイダーのメールサーバーが mail.xxx.yyy.zzz の場合、ドメイン名に xxx.yyy.zzz と入力します。プロバイダーからドメイン名が提供されている場合は、この欄に入力します (例えば、Earthlink Cable はホームのホスト名が必要であり、Comcast は通常ドメイン名を提供します)。

8. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。

- **DHCP サーバーを使う** : この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定** : これがデフォルトの設定です。

9. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスにチェックを入れて、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。

ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 の 6to4 トンネル

リモートリレールーターとは、ルーターが 6to4 トンネルを設定する相手先のルーターです。IPv6 接続で 6to4 トンネルを適用する前に、IPv4 インターネット接続が機能していることを確認してください。

➤ 6to4 トンネルを使用して IPv6 インターネット接続を設定する :

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[6to4 トンネル] を選択します。
画面が次のように変更されます。



ルーターは [ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)] 欄の情報を自動的に検出します。この欄はルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスを表示します。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。

6. 次のいずれかのボタンを選択して、リモート 6to4 リレールーター設定を指定します。
 - **自動**：ルーターは、インターネット上で利用可能な任意のリモートリレールーターを使用します。これがデフォルトの設定です。
 - **静的 IP アドレス**：リモートリレールーターの静的 IPv4 アドレスを入力します。このアドレスは通常、IPv6 プロバイダーから提供されます。
7. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。
 - **DHCP サーバーを使う**：この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これがデフォルトの設定です。
8. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスにチェックを入れて、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。
ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。
9. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 のパススルー

パススルーモードでは、ルーターは、IPv6 パケット用の 2 つのポート（LAN ポートと WAN ポート）を備えたレイヤー 2 イーサネットスイッチとして機能します。ルーターは IPv6 ヘッダーパケットを処理しません。

➤ パススルー IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[パススルー] を選択します。
画面が次のように変更されます。
6. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 の固定

➤ 固定 IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[固定] を選択します。

画面が次のように変更されます。

6. WAN 接続の固定 IPv6 アドレスを設定します。

- **IPv6 アドレス/プレフィックス長**：ルーターの WAN インターフェイス上の IPv6 アドレスとプレフィックスの長さです。
- **デフォルト IPv6 ゲートウェイ**：ルーターの WAN インターフェイスのデフォルト IPv6 ゲートウェイの IPv6 アドレスです。
- **プライマリ DNS**：ルーターの IPv6 ドメイン名の記録を解決するプライマリ DNS サーバーです。
- **セカンダリ DNS**：ルーターの IPv6 ドメイン名の記録を解決するセカンダリ DNS サーバーです。

注意：DNS サーバーを指定しない場合、ルーターは、[インターネット設定] 画面で IPv4 インターネット接続用に設定された DNS サーバーを使用します。(22 ページの [インターネット接続の手動設定](#) をご覧ください。)

7. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。

- **DHCP サーバーを使う**：この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これがデフォルトの設定です。

8. [IPv6 アドレス/プレフィックス長] の欄に、ルーターの LAN インターフェイスの静的 IPv6 アドレスとプレフィックス長を指定します。

ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。

9. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 DHCP

➤ DHCP サーバーを使って IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
IPv6 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] リストで、[DHCP] を選択します。
画面が次のように変更されます。

ルーターは次の欄の情報を自動的に検出します。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)：** この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)：** この欄には、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
6. (オプション) [DHCP ユーザークラス (必要時のみ)] の欄にホスト名を入力します。

ほとんどの場合、この項目は設定不要ですが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合は、ここに入力してください。

7. (オプション) [DHCP ドメイン名 (必要時のみ)] の欄にドメイン名を入力します。

IPv6 プロバイダーのドメイン名を入力できます (IPv4 プロバイダーのドメイン名はここに入力しないでください)。例えば、プロバイダーのメールサーバーが mail.xxx.yyy.zzz の場合、ドメイン名に xxx.yyy.zzz と入力します。プロバイダーからドメイン名が提供されている場合は、この欄に入力します (例えば、Earthlink Cable はホームのホスト名が必要であり、Comcast は通常ドメイン名を提供します)。

8. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。

- **DHCP サーバーを使う** : この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定** : これがデフォルトの設定です。

9. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスにチェックを入れて、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。

ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

IPv6 PPPoE

➤ **PPPoE IPv6 インターネット接続を設定する :**

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。

2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。

IPv6 画面が表示されます。

5. [インターネット接続タイプ] リストで、[PPPoE] を選択します。

画面が次のように変更されます。

ルーターは次の欄の情報を自動的に検出します。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)** : この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。
- **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)** : この欄には、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスが示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下のアンダーライン () でも示されます。アドレスが取得されない場合は、[利用不可] と表示されます。

6. [ログイン] の欄にプロバイダー接続のログイン情報を入力します。

これは通常メールアドレスで使用する名前です。例えば、メインのメールアカウントが JerAB@ISP.com の場合、この項目には JerAB と入力します。一部のプロバイダー (Mindspring、Earthlink、T-DSL など) では、ログインするときにフルメールアドレスの入力を要求することがあります。その場合は、フルメールアドレスを入力します。

7. [パスワード] の欄にプロバイダー接続のパスワードを入力します。

8. [サービス名] の欄に、このサービス名を入力します。

プロバイダーからサービス名が与えられていない場合は、この欄を空白にしておきます。

注意 : [接続モード] の欄のデフォルト設定は、安定した IPv6 接続を確保するために [常時接続] になっています。ルーターが接続を終了させることはありません。例えばモデムの電源が切れて接続が終了した場合は、ルーターは、PPPoE 接続が再び利用可能になるとすぐに接続の再確立を試みます。

9. ルーターでホームネットワーク (LAN) 上のデバイスに IPv6 アドレスを割り当てる方法を、次のいずれかのラジオボタンを選択して指定します。

- **DHCP サーバーを使う** : この方法は、LAN デバイスに詳細を伝えますが、IPv6 システムの中には DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。

- **自動設定** : これがデフォルトの設定です。
10. (オプション) **[このインターフェイス ID を使う]** チェックボックスにチェックを入れて、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。
- ここで ID を特定しない場合は、ルーターは ID を MAC アドレスから自動的に生成します。
11. **[適用]** ボタンをクリックします。

MTU サイズの変更

MTU は、ネットワークデバイスが転送する最大データパケットを指します。1 つのネットワークデバイスがインターネットを通過して他のデバイスと通信するとき、データパケットは途中のさまざまなデバイスを経由していきます。この経由点にあるデバイスの MTU 設定が他のデバイスよりも低い場合、データパケットは分割されたり、フラグメンテーション化（断片化）されたりして、最小 MTU のデバイスと通信ができるようになります。

NETGEAR 製品の最適な MTU 設定は初期設定です。値を変更すると問題が改善される可能性があります、また別の問題が起きる可能性もあります。下記のような状況がある場合を除き、MTU は変更しないでください。

- プロバイダーや他のインターネットサービスに接続できず、プロバイダーや NETGEAR のテクニカルサポートから MTU 設定の変更を勧められた場合。以下のページを開くときには MTU の変更が必要な場合があります。
 - 安全な Web サイトが開かない、または Web ページの一部分だけが表示される
 - Yahoo メール
 - MSN ポータル
 - AOL の DSL サービス
- VPN を使用しており、深刻なパフォーマンス問題が生じている場合。
- パフォーマンス向上のため MTU を最適化するプログラムを使用し、これにより接続やパフォーマンスに問題が生じた場合

注意 : MTU の設定が正しくないと、インターネットの通信で問題が発生する可能性があります。例えば、特定の Web サイト、Web サイト内のフレーム、安全なログインページ、FTP サーバーや POP サーバーにアクセスできなくなることがあります。

➤ MTU のサイズを変更する :

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。

5. [MTU サイズ] の欄に、64 ~ 1500 の範囲の値を入力します。

6. [適用] ボタンをクリックします。

変更が保存されます。

MTU の問題が懸念される場合は、MTU を 1400 に設定してください。実験してみる場合は、MTU を最大値である 1500 から問題が解決するまで少しずつ下げていくこともできます。以下の表は一般的な MTU サイズとアプリケーションの説明です。

表 2. 一般的な MTU のサイズ

MTU	アプリケーション
1500	最大のイーサネットパケットサイズ。この設定は、PPPoE または VPN を使用しない接続では標準的であり、NETGEAR のルーター、アダプター、スイッチのデフォルト値です。
1492	PPPoE 環境で使われます。
1472	ping に使われる最大サイズです。(大きなパケットは分割されます。)
1468	一部の DHCP 環境で使われます。
1460	大きなメールなどが添付されていないときなどに、AOL で使用可能です。
1436	PPTP 環境で、または VPN で使用します。
1400	AOL DLS の最大サイズ。
576	ダイヤルアップのプロバイダーに接続する場合に一般的な数値です。

パフォーマンスの最適化

4

この章には次の内容が含まれます。

- QoS によるインターネットトラフィックの優先順位付け
- アップストリーム QoS によるインターネットゲームの最適化
- アップストリーム QoS ルールの追加
- ダウンストリーム QoS によるビデオストリーミングの最適化
- Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善
- Wi-Fi マルチメディアの QoS

QoS によるインターネットトラフィックの優先順位付け

QoS を使用して、インターネットゲームやビデオストリーミングに高い優先順位をつけることができます。

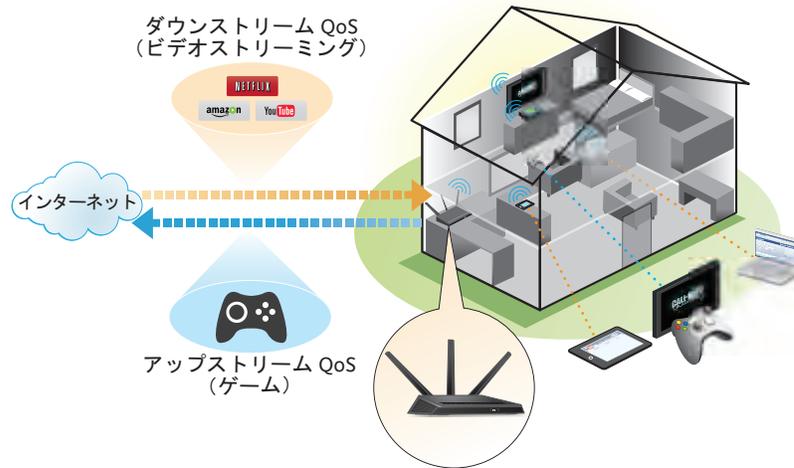


図 6. ダウンストリームトラフィック、アップストリームトラフィック

アップストリーム QoS によるインターネットゲームの最適化

アップストリーム QoS は、Xbox のようなゲームからのインターネットトラフィックに高い優先度を割り当てます。

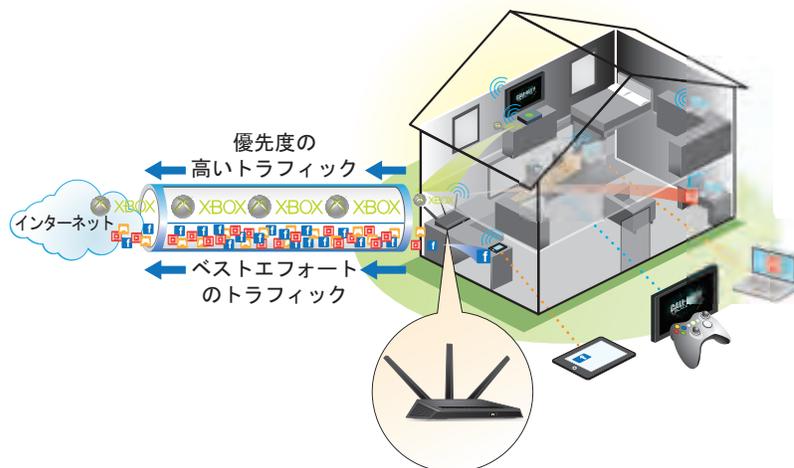


図 7. アップストリーム QoS の優先順位付け

アップストリーム QoS は、インターネットゲームを使用するユーザーのみが有効にすることを推奨します。ゲームをしないユーザーがこの機能を有効にすると、アプリケーションが通常通りに動作しないことがあります。

➤ **アップストリーム QoS を有効にする :**

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度] > [設定] > [QoS 設定] > [アップストリーム QoS]** を選択します。



5. **[インターネットアクセスの QoS を有効にする]** チェックボックスを選択します。
6. インターネット接続のアップリンクの最大帯域幅を指定します。
 - アップリンクの帯域幅が分かっている場合は、**[アップリンクの帯域幅 : 最大]** の欄に入力します。
 - 不明な場合は、**[スピードテスト]** ボタンをクリックします。
[スピードテスト] では、インターネット接続のアップストリーム速度を検証します。**[アップリンクの帯域幅 : 最大]** の欄にテストの結果が表示されます。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
ゲーム機からインターネットへのインターネットトラフィックに高い優先度が割り当てられます。

アップストリーム QoS ルールの追加

次のタイプのトラフィックに対して、優先順位付けをすることができます。

- 特定のアプリケーション
- 特定のオンラインゲーム
- ルーターの個別の LAN ポート

- MAC アドレスで指定する特定のデバイス

トラフィックの優先度を指定するには、QoS ポリシーを作成し、そのポリシーを [QoS 設定] 画面の QoS 優先度ルールリストに追加します。QoS 優先度ルールリストには、QoS 処理によるメリットのある一般的なアプリケーションやオンラインゲームが多く含まれています。

アプリケーションとオンラインゲーム用の QoS 設定

- アプリケーションとオンラインゲーム用に QoS ポリシーを作成する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [アップストリーム QoS] を選択します。
5. [QoS ルールの設定] ボタンをクリックします。
[QoS 優先度ルールリスト] が表示されます。

	QoSポリシー	優先度	説明
<input type="radio"/>	1 MSN Messenger	高	MSNメッセージング アプリケーション
<input type="radio"/>	2 Skype	最高	Skype アプリケーション
<input type="radio"/>	3 Yahoo Messenger	高	Yahoo!メッセージング アプリケーション
<input type="radio"/>	4 IP Phone	最高	IP電話 アプリケーション
<input type="radio"/>	5 Vonage IP Phone	最高	Vonage IP電話 アプリケーション
<input type="radio"/>	6 NetMeeting	高	NetMeeting アプリケーション
<input type="radio"/>	7 AIM	高	AIM アプリケーション
<input type="radio"/>	8 Google Talk	最高	Google Talk アプリケーション
<input type="radio"/>	9 Netgear EVA	最高	Netgear EVA アプリケーション
<input type="radio"/>	10 SSH	高	SSH アプリケーション
<input type="radio"/>	11 Telnet	高	Telnet アプリケーション
<input type="radio"/>	12 VPN	高	VPN アプリケーション
<input type="radio"/>	13 FTP	普通	FTP アプリケーション
<input type="radio"/>	14 SMTP	普通	SMTP アプリケーション
<input type="radio"/>	15 WWW	普通	WWW アプリケーション
<input type="radio"/>	16 DNS	普通	DNS アプリケーション
<input type="radio"/>	17		

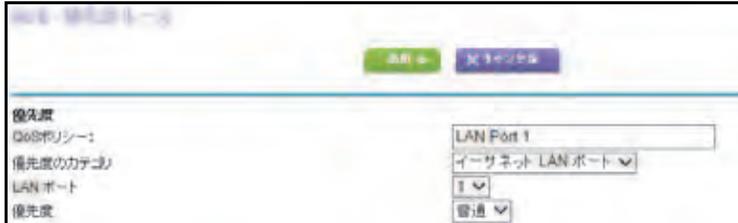
6. 優先度ルールを追加するには、[QoS 設定] 画面の下までスクロールし、[優先度ルールの追加] ボタンをクリックします。

7. [QoS ポリシー] の欄に、アプリケーションまたはゲームの名前を入力します。
8. [優先度のカテゴリ] リストで、[アプリケーション] または [オンラインゲーム] を選択します。
アプリケーションまたはゲームのリストが表示されます。
9. [アプリケーション] リストで、[アプリケーションの追加] または [ゲームの追加] のうち適切なものを選択します。
10. メッセージが表示されたら、[接続タイプ] リストで [TCP]、[UDP]、または [TCP/UDP] (両方) を選択します。アプリケーションまたはゲームで使用するポート番号またはポート番号の範囲を指定します。
11. [優先度] リストで、他のアプリケーションやトラフィックと比較した場合の、このトラフィックのインターネットアクセスの優先度を選択します。[低]、[普通]、[高]、[最高] のオプションがあります。
12. [適用] ボタンをクリックします。
ルールが保存されます。

ルーター LAN ポート用の QoS 設定

- ルーターの LAN ポートに接続しているデバイス用に QoS ポリシーを作成する：
- ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
 - <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 - ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
 - [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [アップストリーム QoS] を選択します。
 - [インターネットアクセスの QoS を有効にする] チェックボックスを選択します。

6. **[QoS ルールの設定]** ボタンをクリックします。
[QoS 優先度ルールリスト] が表示されます。
7. 下にスクロールし、**[優先度ルールの追加]** ボタンをクリックします。
[QoS - 優先度ルール] 画面が表示されます。
8. **[優先度のカテゴリ]** リストで、**[イーサネット LAN ポート]** を選択します。



9. **[LAN ポート]** リストで、LAN ポートを選択します。
10. **[優先度]** リストで、他のアプリケーションやトラフィックと比較した場合の、このポートのトラフィックのインターネットアクセスの優先度を選択します。**[低]**、**[普通]**、**[高]**、**[最高]** のオプションがあります。
11. **[適用]** ボタンをクリックします。
ルールが QoS ポリシーリストに保存されます。

MAC アドレス用の QoS 設定

▶ 特定 MAC アドレスからのトラフィック用に QoS ポリシーを作成する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[設定]** > **[QoS 設定]** > **[アップストリーム QoS]** を選択します。
5. **[QoS ルールの設定]** ボタンをクリックします。
[QoS 優先度ルールリスト] が表示されます。
6. 下にスクロールし、**[優先度ルールの追加]** ボタンをクリックします。
[QoS - 優先度ルール] 画面が表示されます。

7. [優先度のカテゴリ] リストで、[MAC アドレス] を選択します。

The screenshot shows a web interface for configuring QoS. The 'Priority Category' dropdown is set to 'MAC Address'. Below it is a table titled 'MAC Device List' with columns for 'QoS Policy', 'Priority', 'Device Name', and 'MAC Address'. The first row shows 'Priority MAC_Ethernet' with a radio button selected, '普通' (Normal) priority, 'PC' device name, and 'XX:XX:XX:XX:XX:XX' MAC address. Below the table are input fields for 'MAC Address', 'Device Name', and 'Priority'.

8. デバイスが[MAC デバイスリスト]に載っている場合は、そのラジオボタンを選択します。
[MAC デバイスリスト] からの情報で、QoS ポリシー名、MAC アドレス、デバイス名の欄が設定されます。デバイスが MAC デバイスリストに載っていない場合は、[更新] ボタンをクリックします。それでも表示されない場合は、これらの欄に入力します。
9. [優先度] リストで、他のアプリケーションやトラフィックと比較した場合の、このポートのトラフィックのインターネットアクセスの優先度を選択します。[低]、[普通]、[高]、[最高] のオプションがあります。
10. [適用] ボタンをクリックします。
ルールが保存されます。

アップストリーム QoS ポリシーの編集

▶ QoS ポリシーを編集する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [アップストリーム QoS] を選択します。
5. [QoS ルールの設定] ボタンをクリックします。
6. QoS 優先度ルールリストから、編集する QoS ポリシーのラジオボタンを選択します。
7. 下にスクロールし、[編集] ボタンをクリックします。
8. ポリシー設定を編集します。
9. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

アップストリーム QoS ポリシーの削除

▶ QoS ポリシーを削除する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [アップストリーム QoS] を選択します。
5. [QoS ルールの設定] ボタンをクリックします。
6. QoS 優先度ルールリストから、削除する QoS ポリシーのラジオボタンを選択します。
7. [削除] ボタンをクリックします。
QoS ポリシーがリストから削除されます。

ダウンストリーム QoS によるビデオストリーミングの最適化

ダウンストリーム QoS を使用して、YouTube や Netflix といったウェブサイトからのインターネットビデオストリーミングに高い優先度をつけることができます。

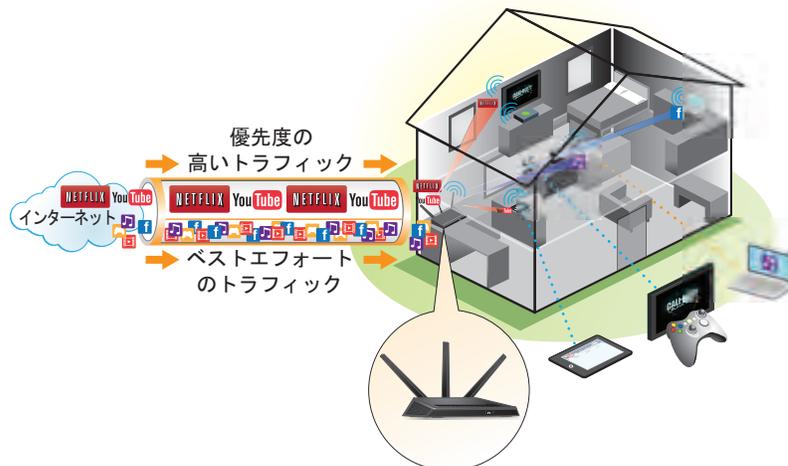


図 8. ダウンストリーム QoS の優先順位付け

ダウンストリーム QoS はインターネットビデオをストリーミングする場合のみ有効にすることを推奨します。ダウンストリーム QoS がビデオストリーミングに高い優先度を割り当てると、同時に残りのインターネットトラフィックの優先順位が低くなります。つまり、インターネットからのコンテンツダウンロードといった他のタスクに時間がかかるようになります。

➤ **ダウンストリーム QoS を有効にする :**

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

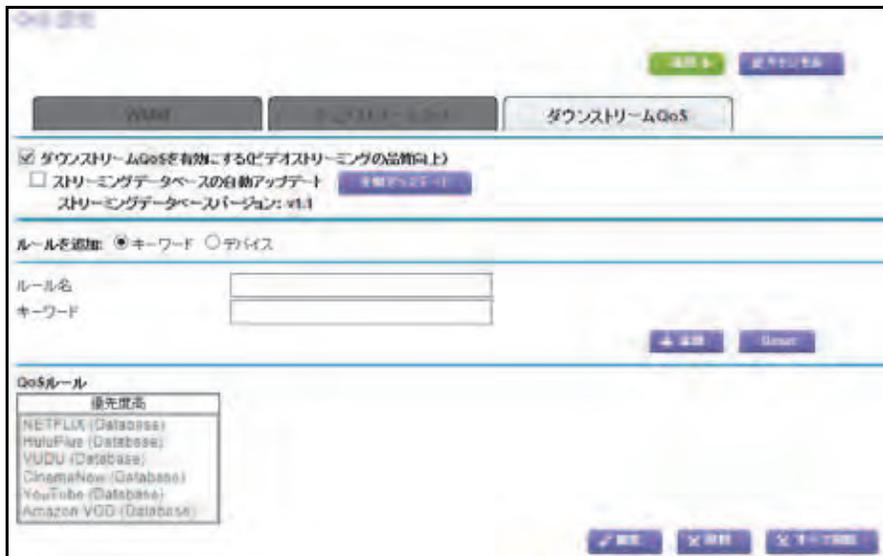
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [ダウンストリーム QoS] を選択します。



5. [ダウンストリーム QoS を有効にする (ビデオストリーミングの品質向上)] チェックボックスを選択します。
6. (オプション) [ストリーミングデータベースの自動アップデート] チェックボックスを選択します。

ルーターはストリーミングデータベースのアップデートを自動的に確認し、ダウンロードしてインストールします。

7. [適用] ボタンをクリックします。

インターネットトラフィックからのビデオストリーミングに高い優先度が割り当てられます。

キーワード別のダウンストリーム QoS ルールの追加

▶ キーワード別にダウンストリーム QoS ルールを追加する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [ダウンストリーム QoS] を選択します。
5. [ダウンストリーム QoS を有効にする (ビデオストリーミングの品質向上)] チェックボックスを選択します。
6. [ルールを追加] セクションで、[キーワード] ラジオボタンが選択されたままにします。
7. [ルール名] の欄に、ルールの名前を入力します。
8. [キーワード] の欄に、キーワードを入力します。
9. [追加] ボタンをクリックします。
ルールが [QoS ルール] に追加されます。キーワードと一致するサーバーからのインターネットトラフィックに高い優先度が割り当てられます。

デバイス別のダウンストリーム QoS ルールの追加

▶ デバイス別にダウンストリーム QoS ルールを追加する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] > [ダウンストリーム QoS] を選択します。
5. [ダウンストリーム QoS を有効にする (ビデオストリーミングの品質向上)] チェックボックスを選択します。
6. [ルールを追加] セクションで、[デバイス] ラジオボタンを選択します。
画面更新されます。

7. **MAC デバイスリスト**で、デバイスのラジオボタンを選択します。
8. **[追加]** ボタンをクリックします。

インターネットから指定したデバイスへのストリーミングトラフィックに高い優先度が割り当てられます。

Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善

UPnP (Universal Plug and Play) は、インターネット機器やコンピューターなどのデバイスをネットワークやその他のコンピューターデバイスなどに接続するための技術です。UPnP デバイスは、ネットワーク上のその他の登録済み UPnP デバイスから自動的にサービスを検出することができます。

マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス (Windows XP の機能) といったリアルタイム通信のアプリケーションを使用する場合は、UPnP を有効にしてください。

➤ UPnP を有効にする :

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[UPnP]** を選択します。
[UPnP] 画面が表示されます。
5. **[UPnP 起動]** チェックボックスを選択します。
デフォルトではこのチェックボックスは選択されています。UPnP の自動デバイス設定を有効、または無効に設定することができます。[UPnP 起動] チェックボックスのチェックを外すと、ルーターは他のデバイスに対し、ルーターのポート転送 (マッピング) などのリソース自動制御を許可しません。
6. 通知間隔 (分) を入力します。
通知間隔では、ルーターが UPnP 情報をブロードキャストする頻度を指定します。1 ~ 1440 分の間で設定してください。デフォルトは 30 分に設定されています。間隔を短く設定すると、ネットワークトラフィックは増加しますが、デバイスの状態を最新に保つことができます。間隔を長く設定すると、デバイスの状態の更新間隔は長くなりますが、ネットワークトラフィックを大幅に削減することができます。
7. 通知の有効期限をホップ数で入力します。

通知の有効期限は各 UPnP パケットが送信するホップ（ステップ）数で表します。ホップ数とは、パケットがルーター間を経由するステップ数です。ホップ数は 1 ~ 255 の間で設定します。デフォルトの通知の有効期限は 4 ホップに設定されており、ほとんどのホームネットワークでは問題ありません。

8. [適用] ボタンをクリックします。

UPnP ポートマップテーブルには、ルーターにアクセスしている UPnP デバイスの IP アドレスとデバイスが開いているポート（内部および外部）が表示されます。UPnP ポートマップテーブルにはどのタイプのポートが開いており、ポートが各 IP アドレスに対しアクティブであるかどうかも表示します。

9. UPnP ポートマップテーブルの情報を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

Wi-Fi マルチメディアの QoS

Wi-Fi マルチメディア QoS (WMM QoS) は、ワイヤレス接続におけるワイヤレス音声およびビデオトラフィックを優先順位付けします。WMM QoS は、ルーターで自動的に有効になります。

WMM QoS は、音声、ビデオ、ベストエフォート、バックグラウンドという 4 種類のアクセスカテゴリに基づき、さまざまなアプリケーションからのワイヤレスデータパケットを優先順位付けします。WMM QoS を利用するには、アプリケーション自身とそのアプリケーションを実行するクライアントの両方で WMM が有効になっている必要があります。WMM に対応していない従来からのアプリケーションや QoS を必要としないアプリケーションは、ベストエフォートカテゴリに分類され、音声やビデオよりも低い優先度が割り当てられます。

➤ WMM QoS を無効にする :

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS 設定] を選択します。
5. [WMM (Wi-Fi マルチメディア) 設定を有効にする (2.4 GHz b/g/n)] チェックボックスのチェックを外します。
6. [WMM (Wi-Fi マルチメディア) 設定を有効にする (5 GHz b/g/n)] チェックボックスのチェックを外します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

インターネット接続の設定

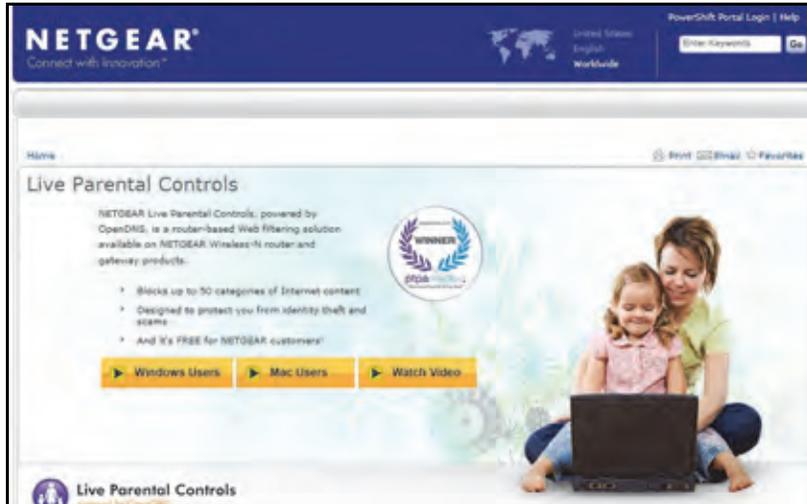
5

この章には次の内容が含まれます。

- ペアレンタルコントロール
- ネットワークのアクセスブロック
- キーワードを使用したインターネットサイトのブロック
- ブロックサービス
- インターネットサイトやサービスブロックのスケジュール
- 信頼できるコンピューターを指定する
- セキュリティイベントのメール通知を設定する

ペアレンタルコントロール

初めて基本ホーム画面でペアレンタルコントロールを選択すると、自動的にインターネットに接続し、次のような画面が表示されます。ここで、ライブペアレンタルコントロールに関する情報を確認したり、アプリケーションをダウンロードすることができます。



▶ ライブペアレンタルコントロールを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [ペアレンタルコントロール] を選択します。
5. [Windows Users (Windows ユーザー)] ボタンまたは [Mac Users (Mac ユーザー)] ボタンをクリックします。
6. 画面の指示に従って、NETGEAR Live Parental Controls Management ユーティリティをダウンロードしてインストールします。

インストール後に、ライブペアレンタルコントロールが自動的に開始されます。



7. [Next (次へ)] をクリックします。
8. 再度 [Next (次へ)] をクリックして続行します。

Live Parental Controls は無料の OpenDNS アカウントを使用するので、ログインするか、または無料のアカウントを作成するよう表示されます。

9. 当てはまるほうのラジオボタンを選択します。
 - OpenDNS アカウントがすでにある場合は、[Yes (はい)] ラジオボタンを選択します。
 - OpenDNS アカウントがない場合は、[No (いいえ)] ラジオボタンを選択します。
10. [Next (次へ)] をクリックします。

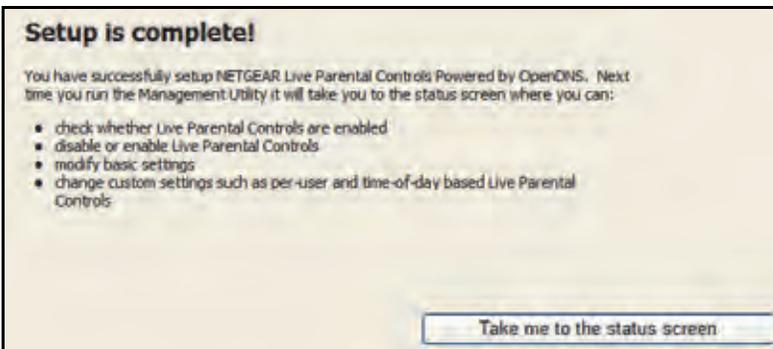
アカウントを作成する場合は、次の画面が表示されます。

11. 欄に入力し、[Next (次へ)] をクリックします。

ログインまたはアカウント作成後に、フィルタリングレベルの画面が表示されます：



12. 設定するフィルタリングレベルのラジオボタンを選択し、[Next (次へ)] をクリックします。



13. [Take me to the status screen (ステータス画面に移動する)] ボタンをクリックします。

ペアレンタルコントロールがルーターに設定されました。ダッシュボードにペアレンタルコントロールが有効と表示されます。

ネットワークのアクセスブロック

ネットワークへのアクセスをブロックするには、アクセス制御を使用します。

➤ **アクセス制御を設定する：**

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

- [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。

- [アクセス制御を有効にする] チェックボックスにチェックを入れます。

アクセスルールを指定したり、[許可] や [禁止] ボタンを押す前にこのチェックボックスにチェックを入れる必要があります。このチェックボックスの選択を解除すると、デバイスがブロックリストに入っている場合でも、すべてのデバイスの接続が許可されます。

- 次のいずれかのラジオボタンを選択してアクセスルールを指定します。

- **すべての新しいデバイスの接続を許可**：この設定では、新しく接続するデバイスはネットワークに接続できます。この画面で MAC アドレスを登録する必要はありません。NETGEAR はこのラジオボタンを選択したままにしておくことを推奨します。
- **すべての新しいデバイスの接続を禁止**：この設定では、新しく接続するデバイスがネットワークに接続するには許可のリストにインターネット接続とワイヤレス接続の MAC アドレスを入力する必要があります。

アクセスルールは、以前に禁止 / 許可されたデバイスには影響しません。このルールは、設定を有効にした後にネットワークに追加されるデバイスにのみ適用されます。

- 現在使用しているコンピューターやデバイスのネットワークアクセスを変更するには、該当するコンピューターやデバイスのチェックボックスを選択して [許可] ボタンや [禁止] ボタンをクリックします。
- [適用] をクリックします。

変更が有効になります。

キーワードを使用したインターネットサイトのブロック

キーワードブロックを使い、特定の HTTP トラフィックがネットワークにアクセスするのを防ぎます。ブロック機能は、常に有効にしたり、スケジュールに基づいて有効にしたりできます。

➤ キーワードブロックを設定する：

- ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
- アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。



5. キーワードブロックオプションを選択します。
- **スケジュール指定**: 画面のスケジュール設定に基づいたキーワードブロックを有効にします。(57 ページの [インターネットサイトやサービスブロックのスケジュール](#) を参照。)
 - **常にブロック**: スケジュールとは関係なく、常にキーワードブロックを有効にします。
6. キーワードの欄にブロックしたいキーワードまたはドメインを入力します。

例 :

- XXX のように URL の一部を指定すると <http://www.badstuff.com/xxx.html> を禁止することができます。
- .com や .gov などのドメインを持つサイトのみを許可する場合は、.com 等のドメインを指定します。
- すべてのインターネット閲覧アクセスを禁止するには、ピリオド (.) を入力します。

7. [キーワードの追加] ボタンをクリックします。

キーワードがキーワードリストに追加されます。キーワードリストには最大 32 個まで入力することができます。

8. [適用] をクリックします。

キーワードブロックが有効になります。

➤ リストからキーワードを削除する :

1. 次のいずれかを行います。

- 1 つのキーワードを削除するには、キーワードを選択して [キーワードの削除] をクリックします。

リストからキーワードが削除されます。

- リストからすべてのキーワードを削除するには、[リストのクリア] をクリックします。
すべてのキーワードがリストから削除されます。

2. [適用] をクリックします。

設定が保存されます。

ブロックサービス

サービスのタイプに基づいてネットワーク上のインターネットサービスをブロックできます。サービスは常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

➤ サービスをブロックする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサービス] を選択します。

5. サービスをいつブロックするかを指定します。

- サービスを常にブロックするには、[常にブロック] ラジオボタンを選択します。
- サービスをスケジュールに基づいてブロックするには、[スケジュール指定] ラジオボタンを選択します。

スケジュールを指定するには、57 ページの [インターネットサイトやサービスブロックのスケジュール](#) を参照します。

6. [追加] ボタンをクリックします。

ブロックサービスの設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Block Service' configuration page. It includes a 'Service Type' dropdown menu, a 'Protocol' dropdown menu (set to TCP), and input fields for 'Start Port' and 'End Port' (both set to 8080). There are two radio buttons: 'Always Block' (selected) and 'Schedule Based'. Below these are two rows of IP address selection fields, each with '192', '168', and '1' in the first three columns, and a 'から' (from) label and an empty field in the last column. At the bottom left, there is a checkbox for 'Block all IP addresses'.

7. リストから**サービスタイプ**を選択します。
サービスの設定が自動的に表示されます。
8. リストにないサービスやアプリケーションを追加するには、**[ユーザー定義]** を選択します。
 - a. アプリケーションが TCP か UDP のどちらを使用するか分かる場合は、**[プロトコル]** のリストでどちらか適切なほうを選択してください。分からない場合は、**[TCP/UDP]** を選択します。
 - b. 開始ポートの番号と終止ポートの番号を入力します。
 - アプリケーションがシングルポート番号を使用している場合は、同じ番号を両方の欄に入力してください。
 - サービスまたはアプリケーションがどのポート番号を使用するか情報は、アプリケーションの発行元に問い合わせるか、ユーザーグループやニュースグループにアクセスするか、またはインターネットで調べることができます。
9. 次のラジオボタンから選択してサービスをブロックするコンピューターを指定します。
 - **この IP アドレスのみ**：1 台のコンピューターで指定のサービスをブロックします。
 - **IP アドレス範囲**：ネットワーク上の連続する IP アドレスの範囲で指定のサービスをブロックします。
 - **すべての IP アドレス**：ネットワーク上のすべてのコンピューターで指定のサービスをブロックします。
10. **[追加]** ボタンをクリックします。
変更が保存されます。

インターネットサイトやサービスブロックのスケジュール

ブロックサイトとブロックサービスは同じスケジュールに基づいて行われます。ブロックサイトやブロックサービスの設定は、54 ページの **キーワードを使用したインターネットサイトのブロック** や 56 ページの **ブロックサービス** をご覧ください。

▶ ブロックスケジュールを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に **http://www.routerlogin.net** または **http://www.routerlogin.com** と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[セキュリティ]** > **[スケジュール]** を選択します。

5. キーワードやサービスをブロックするスケジュールを指定します。
 - **ブロックする曜日**：キーワードをブロックする曜日のチェックボックスを選択するか、**[毎日]** チェックボックスを選択してすべての曜日のチェックボックスを自動的に選択します。
 - **ブロックする時間帯**：24 時間表記で開始時刻と終了時刻を選択するか、**[終日]** を選択して 24 時間ブロックします。
6. リストからタイムゾーンを選択します。
7. 夏時間を使用するには、**[夏時間に自動調整する]** チェックボックスを選択します。
8. **[適用]** をクリックします。
設定が保存されます。

信頼できるコンピューターを指定する

信頼できるコンピューター 1 台にブロックサイトへのアクセスを許可できます。そのコンピューターには固定 IP アドレスが必要です。IP アドレスを指定するには、予約 IP アドレス機能を使用します。102 ページの [LAN IP アドレスの予約](#) をご覧ください。

▶ 信頼できるコンピューターを指定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に **http://www.routerlogin.net** または **http://www.routerlogin.com** と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[セキュリティ]** > **[ブロックサイト]** を選択します。
5. **[信頼できる IP アドレスにブロックサイトへのアクセスを許可する]** チェックボックスを選択します。
6. **[信頼できる IP アドレス]** の欄に、信頼できるコンピューターの IP アドレスを入力します。
7. **[適用]** をクリックします。
変更が保存されます。

セキュリティイベントのメール通知を設定する

ルーターアクティビティのログをメールで通知することができます。ログはブロックサイトやサービスへのアクセス試行などのルーターアクティビティやセキュリティイベントを含みます。

➤ メール通知の設定：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [メール] を選択します。

The screenshot shows the 'Email' configuration page in the router's web interface. At the top, there are two buttons: '有効にする' (Enable) in green and '無効にする' (Disable) in purple. Below this, there are several sections:

- A checkbox labeled 'メール通知を有効にする' (Enable email notifications) which is currently unchecked.
- A section titled '警告とログをメール送信する' (Send warnings and logs via email) with a sub-label '送信メールサーバー' (SMTP mail server). It includes input fields for 'このメールアドレスに送る' (Send to this email address), '送信メールサーバーホスト番号' (SMTP host number), and 'メールサーバーの認証' (SMTP authentication).
- Input fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password).
- A checkbox labeled 'すぐに警告を送信' (Send warnings immediately) which is checked. Below it is the text '誰かがブロックサイトにアクセスしようとしたとき' (When someone tries to access a blocked site).
- A section titled 'スケジュールに基づきログを送信' (Send logs based on schedule) with a dropdown menu set to 'なし' (None).
- Time selection fields for '日' (Day) and '時刻' (Time), with the time set to 12:00 and a range from 5am to 10pm.

5. [メール通知を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. [送信メールサーバー] の欄に、プロバイダーの送信 (SMTP) メールサーバーの名前を入力します (mail.myISP.com など)。

メール送信サーバーに関する情報は、メールソフトの設定画面に記載されています。この欄を空欄にすると、ログと警告のメッセージはメール送信されません。

7. [このメールアドレスに送る] の欄に、ログと警告を送信するメールアドレスを入力します。このメールアドレスが差出人アドレスとなります。この欄を空欄にすると、ログと警告のメッセージはメール送信されません。

8. メール送信時に認証が必要な場合は、**[メールサーバーの認証]** チェックボックスを選択します。
 - a. **[ユーザー名]** の欄に、送信メールサーバーのユーザー名を入力します。
 - b. **[パスワード]** の欄に、送信メールサーバーのパスワードを入力します。
9. (オプション) **[すぐに警告を送信]** チェックボックスを選択します。

誰かが禁止サイトにアクセスしようとする時、すぐにメール警告が送信されます。
10. スケジュールに基づきログを送信するには、次の設定を行います。
 - **[スケジュールに基づきログを送信]** ドロップダウンリストから、スケジュールのタイプを選択します。
 - **[日]** ドロップダウンリストから、曜日を選択します。
 - **[時刻]** ドロップダウンリストから時間を選択し、**[am]** または **[pm]** ラジオボタンを選択します。
11. **[適用]** をクリックします。

設定が保存されます。

ログは自動的に送信されます。指定した時間の前にログがいっぱいになると、ログがメールで送信されます。ログが送信されると、ログはルーターのメモリから消去されます。もしルーターがログファイルをメール送信できない場合、ログバッファがいっぱいになる可能性があります。この場合は、ログは上書きされ、過去の内容は破棄されます。

ルーターに接続された USB ドライブの共有

6

この章では、ルーターに接続された USB ストレージドライブにアクセスして設定する方法について説明します。ルーターの USB ポートは、フラッシュドライブやハードドライブといった USB ストレージデバイス、またはプリンターを接続するためにのみ使用できます。コンピューター、USB モデム、CD ドライブ、または DVD ドライブをルーターの USB ポートに接続しないでください。

この章には次の内容が含まれます。

- *USB ドライブの要件*
- *ネットワーク上の USB ドライブへのアクセス*
- *ReadySHARE Vault を使用した Windows コンピューターのバックアップ*
- *Time Machine を使用した Mac コンピューターのバックアップ*
- *USB ドライブへのアクセス制御*
- *ネットワーク内での FTP の使用*
- *USB ドライブ上のネットワークフォルダーの追加*
- *USB ドライブ上のネットワークフォルダーの編集*
- *USB ドライブの承認*
- *USB ドライブの安全な取り外し*

ReadySHARE の機能の詳細については、<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readystatechange/> を参照してください。

USB ドライブの要件

R7000 ルーターでは、ほとんどの USB 対応の外付けフラッシュドライブおよびハードドライブを使用できます。サポートされる USB ドライブの最新リストについては、<http://kbserver.netgear.com/readyspace> を参照してください。

一部の USB フラッシュドライブおよびハードドライブは、アクセスするためにコンピューターにドライバーをロードする必要があります。そのような USB ドライブは、ルーターで使用できません。

読み書きのフルアクセスは、次のファイルシステムで対応しています。

- FAT16、FAT32
- NTFS
- NTFS（圧縮形式が有効）
- Ext2、Ext3、Ext4
- XFS
- HFS
- HFS+

ネットワーク上の USB ドライブへのアクセス

ReadySHARE を使うと、ルーターの USB ポートに接続された USB ドライブにアクセスして共有することができます。（専用のドライバーを必要とする USB ドライブとは互換性がなく、使用できません。）



図 9. ルーター前面の USB 3.0 ポート

➤ **USB ドライブを接続する：**

1. USB ストレージドライブをルーター前面にある青色の USB 3.0 ポートに差し込みます。
2. USB ドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続する際に別途電源コンセントに差し込む必要があります。

USB ドライブをルーターの USB ポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分かかることがあります。デフォルトでは、LAN 上のすべてのコンピューターから USB ドライブを利用できます。

➤ **Mac から USB ドライブにアクセスする：**

1. [移動] > [サーバへ接続] を選択します。
2. サーバーのアドレスとして「**smb://readyshare**」と入力します。
3. [接続] ボタンをクリックします。

➤ **Windows コンピューターから USB ドライブにアクセスする：**

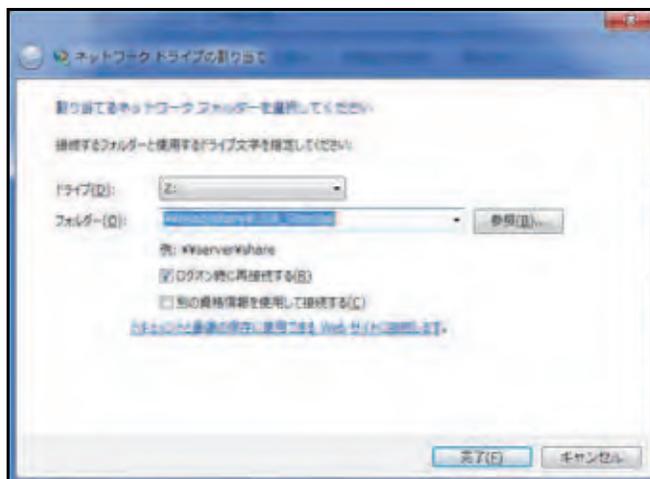
1. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. ダイアログボックスに「***readyshare**」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

➤ **USB ドライブを Windows ネットワークドライブに割り当てる：**

1. <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readyshare/> にアクセスします。
2. [ReadySHARE USB ストレージアクセス] のカテゴリで、[Windows 用ユーティリティ] をクリックします。

画面の指示に従って、readyshareconnect.exe ファイルをダウンロードし、解凍します。

3. readyshareconnect.exe を起動します。



4. ネットワークフォルダーに割り当てるドライブ文字を選択します。
5. (オプション) 別のユーザーとして USB ドライブに接続するには、[別の資格情報を使用して接続する] チェックボックスを選択します。

- a. ユーザー名とパスワードを入力します。
 - b. [OK] ボタンをクリックします。
6. [完了] ボタンをクリックします。
- 指定したドライブ文字に USB ドライブが割り当てられます。

ReadySHARE Vault を使用した Windows コンピューターのバックアップ

R7000 ルーターには Windows コンピューター対応の無料のバックアップソフトウェア『ReadySHARE Vault』が付属しています。ReadySHARE Vault を使うと、ルーターの USB ポートに接続した USB ドライブにご家庭内の Windows コンピューターをバックアップできます。

➤ Windows コンピューターをバックアップする：

1. USB ドライブをルーターの USB ポートに接続します。
ルーター前面にある青色の USB 3.0 ポートは、ルーター背面にある USB 2.0 ポートよりも高速です。
2. ReadySHARE Vault を <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readysshare/> からダウンロードし、各 Windows コンピューターにインストールします。
3. ReadySHARE Vault を起動します。
4. Dashboard (ダッシュボード) または [Backup (バックアップ)] タブを使用して、バックアップを設定および実行します。
5. (オプション) ReadySHARE Vault は、デスクトップ NETGEAR genie アプリからもアクセスできます。
各コンピューターにデスクトップ NETGEAR genie アプリをダウンロードするには、<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/> にアクセスしてください。

Time Machine を使用した Mac コンピューターのバックアップ

R7000 ルーターは Mac の Time Machine に対応しており、ルーターの USB ポートに接続されている USB ドライブに Mac をバックアップできます。ルーターに有線またはワイヤレスで接続されている Mac から、USB ドライブにアクセスできます。

Mac での USB ハードドライブの設定

初めて Time Machine バックアップを実行するときは、新しい USB ドライブを使用するか、古い USB ドライブをフォーマットすることを推奨します。空のパーティションを使用すると、Time Machine を使用したバックアップ中に発生する一部の問題を回避することができます。ルーターは、GUID または MBR パーティションをサポートします。

➤ **USB ハードドライブをフォーマットしてパーティションを指定する：**

1. USB ハードドライブを Mac に接続します。
2. Mac のデスクトップで右上の虫眼鏡のマークの欄に「ディスクユーティリティ」と入力して検索します。
3. USB ドライブをフォーマットするには、ディスクユーティリティを開き、[消去] タブをクリックし、[消去] ボタンをクリックします。
4. [パーティション] タブをクリックします。
5. [パーティションのレイアウト] をクリックし、使用するパーティションの数を設定します。
6. [オプション] ボタンをクリックします。
パーティションのオプションが表示されます。
7. [GUID パーティションテーブル] または [マスター・ブート・レコード] ラジオボタンを選択します。
8. フォーマットは [Mac OS 拡張 (ジャーナリング)] を選択します。
9. [OK] ボタンをクリックします。
10. [適用] ボタンをクリックします。

大量のデータのバックアップ準備

Time Machine を使用して大量のデータをバックアップする前に、次の手順に従うことを推奨します。

➤ **大量のデータをバックアップする準備をする：**

1. Mac の OS をアップグレードします。
2. バックアップディスクとローカルディスクを確認し修復します。
3. ローカルディスクのアクセス権を検証、修復します。
4. 省エネルギーを設定します。
 - a. Apple メニューで、[システム環境設定] を選択します。
 - b. [表示] メニューで、[省エネルギー] を選択します。
 - c. [電源アダプタ] タブを選択します。
 - d. [Wi-Fi ネットワークアクセスによるスリープ解除] チェックボックスを選択します。
 - e. 戻る矢印をクリックして変更を保存し、この画面を終了します。
5. セキュリティ設定を変更します。
 - a. Apple メニューで、[システム環境設定] を選択します。
 - b. [表示] メニューで、[セキュリティ] を選択し、画面下部にある [詳細] ボタンをクリックします。
 - c. [使用しない状態が〇分間続いたらログアウト] チェックボックスの選択が解除されたままにします。

Time Machine を使用した USB ドライブへのバックアップ

Time Machine を使用すると、ルーターの USB ポートに接続されている USB ドライブに Mac コンピューターをバックアップできます。

➤ Mac を USB ドライブにバックアップする：

1. USB ドライブを互換性のあるフォーマットとパーティションで準備します（64 ページの *Mac での USB ハードドライブの設定* を参照）。
2. 大量のデータをバックアップしようとしている場合は、65 ページの *大量のデータのバックアップ準備* を参照してください。
3. USB ドライブをルーターの USB ポートに差し込みます。

注意： USB ドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

ルーター前面にある青色の USB 3.0 ポートは、ルーター背面にある USB 2.0 ポートよりも高速です。

USB ドライブをルーターの USB ポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分程かかります。デフォルトでは、LAN 上にあるすべてのコンピューターから USB ドライブを利用できます。

4. Mac で **[移動] > [サーバに接続]** を選択し、「**afp://routerlogin.net**」と入力します。
5. 名前とパスワードを入力するように求めるメッセージが表示されたら、**[ゲスト]** ラジオボタンを選択します。
6. **[接続]** ボタンをクリックします。
接続されているデバイスのリストが表示されます。admin としてログインしているときは、このリストに名前「admin」が含まれます。
7. **アップルメニュー**で、**[システム環境設定]** を選択します。
8. **[Time Machine]** を開きます。
9. **[ディスクを選択]** ボタンをクリックし、リストから USB ドライブを選択します。
10. **[ディスクを使用]** ボタンをクリックします。

注意： Time Machine のディスクリストに USB パーティションが表示されない場合は、Mac の Finder に移動し、その USB パーティションをクリックしてください。これで、Time Machine のリストに表示されるようになります。

11. 名前とパスワードを入力するように求めるメッセージが表示されたら、**[ゲスト]** ラジオボタンを選択し、**[接続]** ボタンをクリックします。

設定が完了すると、フルバックアップが自動的にスケジュール設定されます。必要に応じて、すぐにバックアップすることもできます。

USB ドライブへのアクセス制御

USB ドライブのデバイス名、ワークグループ、ネットワークフォルダーを指定することができます。

➤ USB のアクセス設定を指定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [USB ストレージ] > [詳細設定] を選択します。

有効	アクセス方法	リンク	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	ネットワーク接続	/readysare	-
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	http://readysare.routerlogin.net/shares	80
<input type="checkbox"/>	HTTPS (インターネット経由)	https://192.110.1.118/shares	443
<input type="checkbox"/>	FTP	ftp://readysare.routerlogin.net/shares	21
<input type="checkbox"/>	FTP (インターネット経由)	ftp://192.110.1.118/shares	21

利用可能なネットワークフォルダー	共有名	リーダアクセス	ライタアクセス	フォルダー名	ホーム名	合計の容量	使用容量
<input checked="" type="checkbox"/>	/readysare/USB Storage	すべてパスワードなし	すべてパスワードなし	なし	名称未設定	978.0M	945.5M

5. USB ドライブへのアクセスを指定します。

- **USB デバイスへのアクセス**：ルーターに接続されている USB デバイスへのアクセスに使用する名前です。デフォルトは **readysare** です。
- **ワークグループ**：ドメインではなく Windows ワークグループを使用している場合は、ここにワークグループ名が表示されます。この名前は、Microsoft Windows などの NetBIOS をサポートする OS のみで使用されます。
- **アクセス方法**：希望するアクセス方法のチェックボックスを選択します。
 - **ネットワーク接続**：デフォルトで有効です。
 - **HTTP**：デフォルトで有効です。「<http://readysare.routerlogin.net/shares>」と入力することで、USB ドライブにアクセスできます。

- **HTTP (インターネット経由)** : デフォルトで無効です。この機能を有効にした場合、リモートユーザーは「**http://<public IP address/shares>**」(例えば「**http://1.1.10.102/shares**」) または URL ドメイン名を入力することで、USB ドライブにインターネット経由でアクセスできます。この機能では、ファイルのアップロードのみをサポートします。
 - **FTP** : デフォルトで無効です。
 - **FTP (インターネット経由)** : デフォルトで無効です。このチェックボックスを選択した場合、リモートユーザーはインターネット経由の FTP で USB ドライブにアクセスできます。この機能では、ファイルのダウンロードとアップロードの両方に対応しています。
6. 設定を変更した場合は、**[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ネットワーク内での FTP の使用

ファイル転送プロトコル (FTP) を使用すると、容量の大きなファイルを高速で送受信できます。

▶ FTP アクセスを設定する :

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. **http://www.routerlogin.net** または **http://www.routerlogin.com** と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [USB ストレージ] > [詳細設定] を選択します。

USBデバイスへのアクセス: readyshare

ワークグループ: Workgroup

有効	アクセス方法	リンク	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	ネットワーク接続	\\\\readyshare	-
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	http://readyshare.routerlogin.net/shares	80
<input type="checkbox"/>	HTTPS (インターネット経由)	https://192.110.1.118/shares	443
<input type="checkbox"/>	FTP	ftp://readyshare.routerlogin.net/shares	21
<input type="checkbox"/>	FTP (インターネット経由)	ftp://192.110.1.118/shares	21

利用可能なネットワークフォルダー

	共有名	リーダアクセス	ライタアクセス	フォルダー名	ボリューム名	合計の容量	使用容量
<input checked="" type="checkbox"/>	\\\\readyshare\\USB Storage	すべてパスワードなし	すべてパスワードなし	なし	名称未設定 1	979.0M	445.5M

5. [FTP] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

USB ドライブ上のネットワークフォルダーの表示

USB ドライブ上のネットワークフォルダーの表示または変更を行うことができます。

➤ ネットワークフォルダーを表示する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [USB ストレージ] > [詳細設定] を選択します。

USBデバイスへのアクセス:

ワークグループ:

有効	アクセス方法	リンク	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	ネットワーク接続	readyshare	-
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	http://readyshare.routerconfig.net/shares	80
<input type="checkbox"/>	HTTPS (インターネット経由)	https://192.118.1.118/shares	443
<input type="checkbox"/>	FTP	ftp://readyshare.routerconfig.net/shares	21
<input type="checkbox"/>	FTP (インターネット経由)	ftp://192.118.1.118/shares	21

利用可能なネットワークフォルダー

	共有名	リーダアクセス	ライトアクセス	フォルダー名	ボリューム名	合計の容量	空き容量
<input checked="" type="checkbox"/>	readyshare/USB Storage	すべて(パスワードなし)	すべて(パスワードなし)	なし	名前未設定 1	979.0M	945.5M

共有名をクリックするか、ウェブブラウザのアドレス欄に名前を入力します。共有が表示されない場合は、デフォルトの共有が削除され、ルートフォルダーにその他の共有が存在しないことを意味します。この設定を変更するには、リンクをクリックします。

リーダアクセス/ライトアクセス: ネットワークフォルダーのアクセス権とアクセス制御を示します。[すべてパスワードなし] (デフォルト) は、すべてのユーザーがネットワークフォルダーにアクセスできます。admin のパスワードは、ルーターへのログインに使用するパスワードと同じです。

フォルダー名: ネットワークフォルダーのフルパスです。

ボリューム名: ストレージデバイス (USB ドライブまたは HDD) のボリューム名です。

[合計の容量] と [空き容量]: ストレージデバイスの現在の利用状況を示します。

5. 画面の [利用可能なネットワークフォルダー] の欄までスクロールします。

- 共有名: デバイスが 1 台だけしか接続されていない場合、デフォルトの共有名は USB_Storage です。

名前をクリックするか、ウェブブラウザのアドレス欄に名前を入力します。共有が表示されない場合は、デフォルトの共有が削除され、ルートフォルダーにその他の共有が存在しないことを意味します。この設定を変更するには、リンクをクリックします。

- リーダアクセス/ライトアクセス: ネットワークフォルダーのアクセス権とアクセス制御を示します。[すべてパスワードなし] (デフォルト) は、すべてのユーザーがネットワークフォルダーにアクセスできます。admin のパスワードは、ルーターへのログインに使用するパスワードと同じです。
- フォルダー名: ネットワークフォルダーのフルパスです。
- ボリューム名: ストレージデバイス (USB ドライブまたは HDD) のボリューム名です。
- [合計の容量] と [空き容量]: ストレージデバイスの現在の利用状況を示します。

USB ドライブ上のネットワークフォルダーの追加

USB ドライブにネットワークフォルダーを追加できます。

▶ ネットワークフォルダーを追加する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ReadySHARE]** を選択します。
5. **[編集]** ボタンをクリックします。
6. **[新規フォルダーの作成]** ボタンをクリックします。

接続デバイス	U: (名称未設定 1)
ファイルシステム	MAC OS Extended
フォルダー	U:\ <input type="button" value="選択"/>
共有名	<input type="text" value="USB_Storage"/>
リーダアクセス	<input type="text" value="すべてパスワードなし"/>
ライトアクセス	<input type="text" value="すべてパスワードなし"/>
<input type="button" value="適用"/>	
<input type="button" value="キャンセル"/>	

この画面が表示されない場合は、ウェブブラウザでポップアップブロック機能が有効になっている可能性があります。その場合は、ポップアップを許可するようにブラウザ設定を変更してください。

7. **[USB デバイス]** リストで、USB ドライブを選択します。
8. **[参照]** ボタンをクリックし、**[フォルダー]** の欄でフォルダーを選択します。
9. **[共有名]** の欄に、共有の名前を入力します。
10. **[リーダアクセス]** リストと **[ライトアクセス]** リストで、希望する設定を選択します。
[すべてパスワードなし] のユーザー名 (アカウント名) は **guest** です。[ルーター管理者] のパスワードは、ルーターへのログインに使用するパスワードと同じです。デフォルトは **password** です。
11. **[適用]** ボタンをクリックします。
フォルダーが USB ドライブに追加されます。

USB ドライブ上のネットワークフォルダーの編集

USB ドライブにネットワークフォルダーを追加できます。

▶ ネットワークフォルダーを編集する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ReadySHARE]** を選択します。
5. **[編集]** ボタンをクリックします。
[利用可能なネットワークフォルダー] の欄で、**[編集]** をクリックします。
6. 必要に応じて設定を変更します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

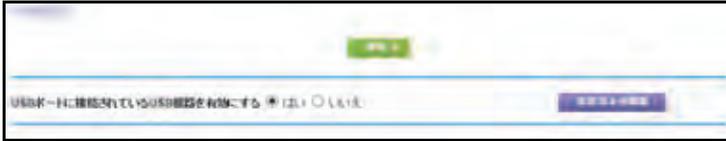
USB ドライブの承認

セキュリティを高めるため、承認した USB ドライブのみを共有するようにルーターを設定できます。

▶ USB ドライブを承認する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [USB 設定] を選択します。



デフォルトで、[USB ポートに接続されている USB 機器を有効にする] ラジオボタンが [はい] になっています。この設定により、すべての USB ドライブに接続し、アクセスできます。

5. [いいえ] ラジオボタンを選択します。
6. [承認済みの機器] ボタンをクリックします。



この画面には承認済みで利用可能な USB ドライブが表示されます。

7. [利用可能な USB 機器] リストで、承認するドライブを選択します。
8. [追加] ボタンをクリックします。
9. [承認済み機器のみ許可] チェックボックスを選択します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
変更が有効になります。
11. 別の USB ドライブを使用するには、まず、[USB デバイスの安全な取り外し] ボタンをクリックし、現在接続されている USB ドライブを取り外してください。他の USB ドライブを接続し、このプロセスを繰り返します。

USB ドライブの安全な取り外し

USB ドライブをルーターの USB ポートから物理的に取り外す場合は、まずルーターにログインし、ドライブをオフラインにします。

➤ USB ドライブを安全に取り外す：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ReadySHARE]** を選択します。
5. **[USB デバイスの安全な取り外し]** ボタンをクリックします。
ドライブがオフラインになります。
6. ルーターから USB ドライブを取り外します。

インターネットからのルーターの USB ドライブへのアクセス

7

ダイナミック DNS を使用すると、外出先でも、ルーターの USB ポートに接続されている USB ハードドライブにインターネットを使用してアクセスできます。この章には次の内容が含まれます。

- [インターネットからの USB ドライブへのアクセス](#)
- [ダイナミック DNS](#)
- [個人用 FTP サーバー](#)
- [個人用 FTP サーバーの設定](#)

USB ドライブの接続と設定の指定方法については、[第 6 章、ルーターに接続された USB ドライブの共有](#)を参照してください。

インターネットからの USB ドライブへのアクセス

外出先にいるときでも、インターネットから USB ドライブにアクセスできます。

▶ リモートコンピューターから USB ドライブにアクセスする：

1. ホームネットワーク上にないコンピューターからウェブブラウザを起動します。
2. 自宅のルーターに接続します。

- ダイナミック DNS を使用して接続するには、DNS 名を入力します。

ダイナミック DNS アカウントを使用するには、[ダイナミック DNS] 画面にアカウント情報を入力する必要があります。78 ページの [ダイナミック DNS](#) を参照してください。

- ダイナミック DNS を使用せずに接続するには、ルーターのインターネットポートの IP アドレスを入力します。

アドレスは、基本ホーム画面で確認できます。

FTP を使用して、ルーターに接続されている USB ドライブ上のファイルを共有できます。

インターネットからの FTP アクセスの設定

▶ FTP アクセスを設定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [USB ストレージ] > [詳細設定] を選択します。

The screenshot shows the 'USB Storage' configuration page. At the top, there are '適用' (Apply) and '編集' (Edit) buttons. Below, there are input fields for 'USBデバイスへのアクセス:' (readyshare) and 'ワークグループ:' (Workgroup). A table lists access methods with checkboxes and ports:

有効	アクセス方法	リンク	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	ネットワーク接続	readyshare	-
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	http://readyshare.routerlogin.net/shares	80
<input type="checkbox"/>	HTTPS (インターネット経由)	https://10.110.1.118/shares	443
<input type="checkbox"/>	FTP	ftp://readyshare.routerlogin.net/shares	21
<input type="checkbox"/>	FTP (インターネット経由)	ftp://10.110.1.118/shares	21

Below the table is a section for '利用可能なネットワークフォルダー' (Available network folders) with a table:

	共有名	リーダアクセス	ライトアクセス	フォルダー名	ボリューム名	合計の容量	使用容量
<input checked="" type="radio"/>	readyshare\USB_Storage	すべて(パスワードなし)	すべて(パスワードなし)	U1	名称未設定 1	978.0M	945.5M

Buttons for '適用' (Apply), '共有フォルダーの削除' (Delete share), and 'キャンセル' (Cancel) are at the bottom.

5. [FTP (インターネット経由)] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。
7. アクセスを admin ユーザーに制限するには、[編集] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'USB Storage' configuration page with the following settings:

- USBデバイス: U1 (名称未設定 1)
- ファイルシステム: MAC OS Extended
- フォルダー: U1
- 共有名: USB_Storage
- リーダアクセス: すべてパスワードなし
- ライトアクセス: すべてパスワードなし

Buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) are visible at the bottom.

8. [リーダアクセス] リストで、[ルーター管理者] を選択します。
9. [ライトアクセス] リストで、[ルーター管理者] を選択します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

FTP を使用したインターネットからの USB ドライブへのアクセス

あらかじめ前のセクションで説明したインターネットアクセス経由の FTP を設定しておく必要があります。

- ▶ リモートコンピューターから FTP を使用して USB ドライブにアクセスする：
 1. ダウンロードするには、インターネットブラウザを起動します。

2. アップロードするには、FTP クライアント（FileZilla など）を使用します。
3. ブラウザーのアドレス欄に「ftp://」とインターネットポートの IP アドレスを入力します。
 例えば「ftp://10.1.65.4」と入力します。
 ダイナミック DNS を使用している場合は、DNS 名を入力します。
 例えば、「ftp://MyName.mynetgear.com」と入力します。
4. メッセージが表示されたら、ログインします。
 - admin としてログインするには、ユーザー名の欄に「admin」と入力し、パスワードの欄にルーターへのログインに使用するパスワードと同じものを入力します。
 - guest としてログインするには、ユーザー名の欄に「guest」と入力します。
 guest ユーザー名にはパスワードがありません。admin ユーザーのみがアクセスできるように設定し、USB ドライブへのアクセスを制限することができます。67 ページの [USB ドライブへのアクセス制御](#) を参照してください。
 アカウントがアクセスできる USB ドライブのファイルとフォルダーが表示されます。例えば、share/partition1/directory1 のように表示されます。

ダイナミック DNS

プロバイダーは、各インターネットアカウントを識別するために、IP アドレスと呼ばれる番号を割り当てます。ほとんどのプロバイダーは動的に割り当てられた IP アドレスを使用します。つまり、IP アドレスはいつでも変更される可能性があるということです。IP アドレスを使用してネットワークにリモートアクセスすることはできますが、大半のユーザーは、自分の IP アドレスが何か、いつこの番号が変更されるかを知りません。

より簡単に接続できるように、ドメイン名を使用してホームネットワークにアクセスできるようにするダイナミック DNS サービスの無料アカウントを取得することができます。このアカウントを使用するには、ダイナミック DNS を使用するようにルーターを設定します。これで、ルーターの IP アドレスが変更されたときには必ずダイナミック DNS サービスプロバイダーに通知されるようになります。ダイナミック DNS アカウントにアクセスすると、ホームネットワークの現在の IP アドレスが検索され、自動的に接続されます。

プロバイダーがプライベート WAN IP アドレス（192.168.x.x、10.x.x.x など）を割り当てる場合、プライベートアドレスはインターネット上でルーティングされないため、ダイナミック DNS サービスを使用できません。

個人用 FTP サーバー

カスタマイズされた無料の URL を使用すると、外出先にいるときでもダイナミック DNS 経由で FTP を使用してネットワークにアクセスできます。FTP サーバーを設定するには、無

料の NETGEAR ダイナミック DNS (DDNS) サービスアカウントに登録し、ルーターのダイナミック DNS 画面でアカウントを設定する必要があります。

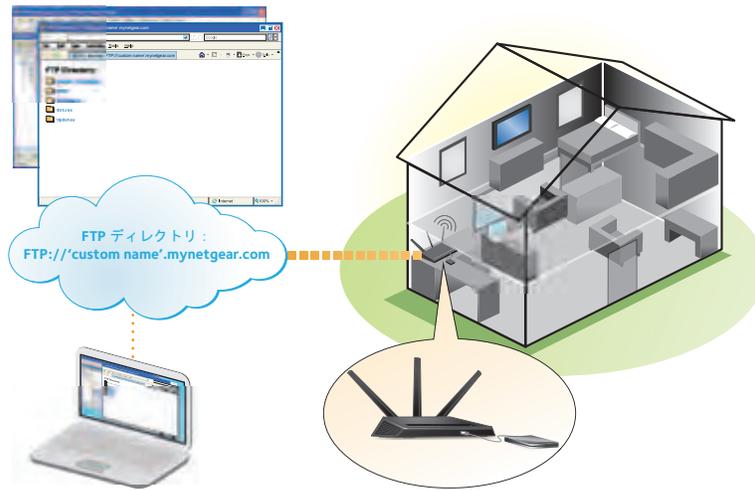


図 10. 外出先からでもインターネット経由でネットワークにアクセス

注意：基本 DDNS とログイン、パスワードのみに対応するルーターは安全でない可能性があります。接続をセキュリティ保護するには、DDNS と VPN トンネルを併用することができます。

新しいダイナミック DNS アカウントの設定

- **ダイナミック DNS を設定し、無料の NETGEAR アカウントに登録する：**
 1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
 2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミック DNS] を選択します。

5. [ダイナミック DNS サービスを利用する] チェックボックスを選択します。
6. [サービスプロバイダ] リストで、[NETGEAR] を選択します。
7. [NETGEAR DDNS アカウントまたは NO-IP DDNS アカウントを持っていますか?] ラジオボタンで [いいえ] を選択します。
8. [ホスト名] の欄に、URL に使用する名前を入力します。
- ホスト名は、ドメイン名と呼ばれることもあります。無料の URL は、指定したホスト名を含み、mynetcgear.com で終わります。例えば、MyName.mynetcgear.com と指定します。
9. [メール] の欄に、アカウントに使用するメールアドレスを入力します。
10. [パスワード (6 ~ 32 文字)] の欄に、アカウントのパスワードを入力します。
11. [登録] ボタンをクリックします。
12. 画面に表示される指示に従って、NETGEAR ダイナミック DNS サービスを登録します。
13. ルーターでダイナミック DNS が有効であることを確認するには、[ステータスを表示] ボタンをクリックします。

DNS のステータスが表示されます。

すでに持っている DNS アカウントの指定

すでにダイナミック DNS アカウントを NETGEAR no-ip、www.no-ip.com、または www.DynDNS.org に持っている場合は、そのアカウントを使用するようにルーターを設定できます。

- **すでにアカウントを持っている場合にダイナミック DNS を設定する：**
1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
 2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[ダイナミック DNS]** を選択します。

5. **[ダイナミック DNS サービスを利用する]** チェックボックスを選択します。
6. **[サービスプロバイダ]** リストで、次のいずれかを選択します。
 - **NETGEAR**
 - **www.no-ip.com**
 - **www.DynDNS.org**
7. **[サービスプロバイダ]** リストで **[NETGEAR]** を選択した場合は **[NETGEAR DDNS アカウントまたは NO-IP DDNS アカウントを持っていますか?]** ラジオボタンで **[はい]** を選択します。
画面が変更され、**[状態を表示]**、**[キャンセル]**、**[適用]** ボタンが表示されます。
8. **[ホスト名]** の欄に、アカウントのホスト名（ドメイン名と呼ばれることもあります）を入力します。
9. www.no-ip または www.DynDNS のアカウントの場合は、**[ユーザー名]** の欄に、アカウントのユーザー名を入力します。
10. NETGEAR アカウントの場合は、**[メール]** の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
11. **[パスワード (6 ~ 32 文字)]** の欄に、DDNS アカウントのパスワードを入力します。
12. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

13. ルーターでダイナミック DNS サービスが有効であることを確認するには、[状態を表示] ボタンをクリックします。
メッセージにダイナミック DNS のステータスが表示されます。

ダイナミック DNS 設定の変更

➤ 設定を変更する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミック DNS] を選択します。
5. 必要に応じて DDNS アカウント設定を変更します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

個人用 FTP サーバーの設定

➤ 個人用アカウントを設定し、FTP を使用する：

1. 無料の NETGEAR ダイナミック DNS ドメイン名を取得します。
78 ページの [個人用 FTP サーバー](#) を参照してください。
2. インターネットに接続していることを確認します。
ルーターがインターネットへの直接接続を使用している必要があります。インターネットにアクセスするために別のルーターに接続することはできません。
3. USB ハードディスクドライブをルーターの USB ポートに接続します。
4. ルーターで FTP アクセスを設定します。
76 ページの [インターネットからの FTP アクセスの設定](#) を参照してください。
5. 外出先などから、<ftp://yourname.mynetgear.com> を使用してルーターに FTP アクセスできます。

メディアサーバーとしてのルーターの使用

8

この章には次の内容が含まれます。

- *ReadyDLNA* メディアサーバーの設定
- *iTunes* サーバーを使用した USB ドライブからの音楽再生

ReadyDLNA メディアサーバーの設定

デフォルトでは、ルーターは ReadyDLNA メディアサーバーとして動作するよう設定されています。ReadyDLNA メディアサーバーを使用すると、Xbox360、Playstation、NETGEAR メディアプレイヤーなどの DLNA/UPnP AV 対応メディアプレイヤーで動画や写真を表示することができます。

▶ メディアサーバー設定を指定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [USB ストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。
5. 設定を指定します。
 - **DLNA メディアサーバーを有効にする**：このデバイスをメディアサーバーとして有効にするには、このチェックボックスを選択します。
 - **iTunes サーバー（音楽のみ）を有効にする**：iTunes サーバーを有効にするには、このチェックボックスを選択します
 - **メディアサーバー名**：メディアサーバーの名前を指定します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

iTunes サーバーを使用した USB ドライブからの音楽再生

iTunes サーバーを使用すると、Windows や Mac の iTunes アプリを使用して、ルーターの USB ポートに接続された USB ドライブから音楽を再生できます。また、iPhone または iPad

で Apple の Remote アプリを使用して、AirPlay デバイス（Apple TV や AirPlay 対応受信デバイスなど）で音楽を再生することもできます。



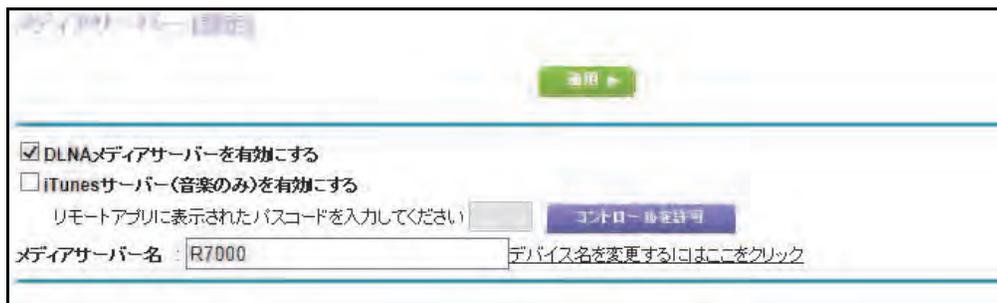
図 11. iTunes を使用して USB ドライブ上の音楽を再生

対応している音楽ファイル形式は、MP3、AAC、FLAC、WAV、WMA3 で、最大で 10,000 の音楽ファイルに対応します。

➤ iTunes サーバー設定を指定する：

1. iPhone または iPad で、ワイヤレスネットワークを探して接続します。
2. Remote アプリを起動します。
3. [iTunes ライブラリを追加] ボタンをクリックします。
パスコードが表示されます。
4. ルーターでパスコードを指定します。
 - a. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
 - b. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 - c. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

- d. [高度] > [USB ストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。



The screenshot shows the 'Media Server' configuration page. At the top, there is a green '適用' (Apply) button. Below it, there are two checkboxes: DLNAメディアサーバーを有効にする and iTunesサーバー(音楽のみ)を有効にする. Under the iTunes checkbox, there is a text input field for a password and a blue 'コントロールを許可' (Allow Control) button. At the bottom, there is a text input field for the media server name, which contains 'R7000', and a link that says 'デバイス名を変更するにはここをクリック' (Click here to change device name).

- e. [iTunes サーバー (音楽のみ) を有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
- f. パスコードを入力し、[コントロールを許可] ボタンをクリックします。
- g. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

iPhone または iPad の Remote アプリに、ReadySHARE 音楽ライブラリが表示されます。
この音楽を AirPlay デバイスで再生できます。

USB プリンターの共有

9

ReadySHARE プリントを使うと、ルーターの USB ポートに接続された USB プリンターを共有できます。この USB プリンターはネットワーク上の Windows および Mac コンピューターの間で共有できます。

この章には次の内容が含まれます。

- *プリンタードライバーのインストールとプリンターの接続*
- *ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード*
- *ReadySHARE プリントユーティリティのインストール*
- *共有プリンターの使用*
- *プリンターのステータスの確認と変更*
- *多機能 USB プリンターのスキャン機能の使用*
- *USB Control Center 設定の変更*

プリンタードライバーのインストールとプリンターの接続

一部の USB プリンター（HP や Lexmark プリンターなど）では、インストールソフトウェアで指示があるまでは USB ケーブルを接続しないよう要求されることがあります。

▶ ドライバーのインストールとプリンターの接続をする：

1. USB プリンターを共有するネットワーク上の各コンピューターで、USB プリンターのドライバーソフトウェアをインストールします。

プリンタードライバーが無い場合は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

2. USB プリンターケーブルを使って USB プリンターをルーターの USB ポートに接続します。



ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード

ユーティリティは Windows または Mac コンピューターで動作します。

▶ ユーティリティをダウンロードする：

1. <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readystatechange/> にアクセスします。



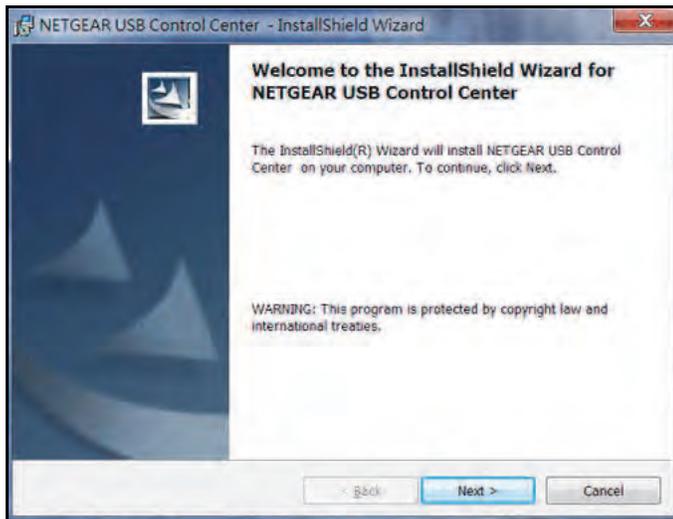
2. ReadySHARE プリントのカテゴリで、[Windows 用ユーティリティ] または [Mac 用ユーティリティ] のリンクをクリックします。
3. 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。

ReadySHARE プリントユーティリティのインストール

プリンターを共有する各コンピューターに ReadySHARE プリントユーティリティをインストールします。インストール後にユーティリティはコンピューター上で NETGEAR USB Control Center と表示されます。

➤ ユーティリティをインストールする：

1. USB プリンターを共有するネットワーク上の各コンピューターで、ダウンロードした ReadySHARE プリントユーティリティのセットアップファイルをダブルクリックします。
ウィザードが表示されます。

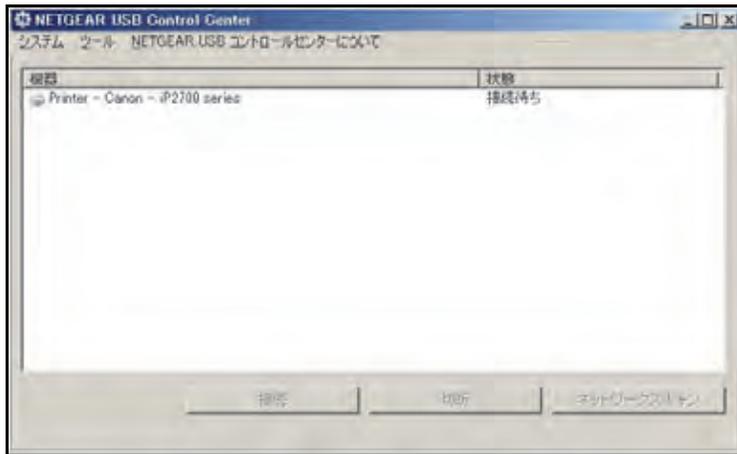


2. ウィザードの指示に従って NETGEAR USB コントロールセンターをインストールします。
インストールが完了すると、NETGEAR USB Control Center の言語を選択する画面が表示されます。



3. リストから言語を選択して [OK] ボタンをクリックします。

NETGEAR USB Control Center のメイン画面が表示されます。



Comodo などのファイアウォールソフトを使用していると、NETGEAR USB Control Center が USB プリンターにアクセスするのをブロックしてしまう場合があります。ユーティリティに USB プリンターが表示されていない場合、一時的にファイアウォールを無効にし、ユーティリティが機能するよう設定してください。

4. プリンターを選択し、**[接続]** ボタンをクリックします。

接続が確立されると、ステータスが *[Manually connected by (コンピューター名)]* に変わります。これで、お使いのコンピューターでのみプリンターが使えるようになります。

5. 接続を解除するには、**[切断]** ボタンをクリックします。

ステータスが **[使用可]** に変わります。これでネットワーク上のすべてのコンピューターでプリンターを使用できます。

6. ユーティリティを終了するには、**[システム]** > **[終了]** を選択します。

共有プリンターの使用

各コンピューターで、**[接続]** ボタンや **[切断]** ボタンをクリックすると、ユーティリティが自動的に印刷キューを処理します。デフォルトでは、ユーティリティは Windows にログインするとバックグラウンドで自動的に開始します。

▶ 手動で接続して印刷する：

1. NETGEAR USB Control Center アイコン  をクリックします。

メイン画面が表示されます。

2. **[接続]** ボタンをクリックします。

プリンターステータスが *[Manually connected by (コンピューター名)]* に変更されます。これで、お使いのコンピューターでのみプリンターが使えるようになります。

3. アプリケーションの印刷機能を使ってドキュメントを印刷します。

4. 接続を解除してネットワーク上のすべてのコンピューターでプリンターが使えるようにするには、[切断] ボタンをクリックします。

➤ ネットワーク上のコンピューターからプリンターに接続する：

1. ドキュメントを印刷するには、アプリケーションの印刷機能を使用します。
USB Control Center は自動的にコンピューターと USB プリンターを接続してドキュメントを印刷します。別のコンピューターがプリンターに接続されている場合は、プリントジョブは印刷待ちのキューに入ります。
2. ドキュメントが印刷されない場合は、USB Control Center でステータスを確認します。

プリンターのステータスの確認と変更

➤ ステータスの確認と変更をする：

1. USB Control Center アイコン  をクリックします。

メイン画面が表示されます。



ステータスの項目には、各デバイスのステータスが表示されます。

- **使用可**：進行中のプリントジョブはありません。ネットワーク上のすべてのコンピューターから USB プリンターを使用できます。
 - **接続済み**：コンピューターがプリンターに接続されており、プリントジョブが完了すると切断されます。
 - **Manually Connected by**：接続されたコンピューターのみプリンターを使用できます。
 - **接続待ち**：コンピューターは共有プリンターに接続されていません。
2. ステータスに [Manually connected by (別のコンピューター)] と表示されており、お使いのコンピューターから印刷したい場合は、[切断] ボタンをクリックします。
プリンターの接続が切断され、ステータスが [使用可] に変更されます。
 3. ステータスに [接続待ち] と表示される場合にお使いのコンピューターから印刷するには：
 - a. [接続] ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが [Manually connected by (コンピューター名)] に変更され、お使いのコンピューターからのみプリンターを使用できます。
 - b. プリンターの共有を許可するには、[切断] ボタンをクリックします。
プリンターの接続が切断され、ステータスが [使用可] に変更されます。

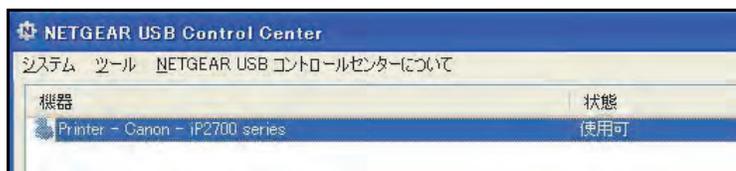
多機能 USB プリンターのスキャン機能の使用

USB プリンターがスキャン機能に対応している場合、USB プリンターを使ってスキャンを行うことができます。例えば、Windows の [プリンターと Fax] に表示される USB プリンターが印刷ジョブを処理できる状態になります。



➤ 多機能 USB プリンターでスキャン機能を使用する :

1. USB Control Center を開きます。
2. プリンターのステータスが [使用可] になっていることを確認します。
3. [ネットワークスキャン] ボタンをクリックします。



スキャナーウィンドウが起動し、USB プリンターをスキャンに使用することができます。

USB Control Center 設定の変更

Windows にログインしたときに USB Control Center が自動的に起動しないように設定できます。また、言語を変更したり、プリンターの接続を切断するタイムアウトの時間を変更することができます。

➤ USB Control Center の自動起動をオフにする：

1. [ツール] > [設定] を選択します。



2. [Windows ログオン時に自動で 実行する] チェックボックスの選択を解除します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

変更が保存されます。

➤ 言語を変更する：

1. [ツール] > [設定] を選択します。
2. [言語] のリストから、言語を選択します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

次回 USB Control Center を起動すると、言語が変更されています。

➤ タイムアウトの指定：

1. [ツール] > [設定] を選択します。
2. [タイムアウト] の欄に、タイムアウトの時間（分）を入力します。

タイムアウトはしばらく使用しないときに、コンピューターがプリンターへの接続を維持する時間を指定します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

変更が保存されます。

この章には次の内容が含まれます。

- LED の点滅を無効にする、またはLED をオフにする
- WAN 設定
- デフォルト DMZ サーバーの設定
- ルーターのデバイス名の変更
- LAN TCP/IP 設定の変更
- ルーターが割り当てる IP アドレスの指定
- ルーターの DHCP サーバー機能の無効化
- LAN IP アドレスの予約
- WPS ウィザードの使用
- 基本ワイヤレス設定
- ワイヤレスセキュリティオプションの変更
- ゲストネットワークの設定
- ルーターがワイヤレスクライアントを管理する方法
- ワイヤレスのオン/オフ
- ワイヤレススケジュールの設定
- WPS 設定
- ルーターをワイヤレスアクセスポイントとして使用
- ルーターのブリッジモードの設定
- WDS (Wireless Distribution System)

LED の点滅を無効にする、または LED をオフにする

ルーター天面の LED はルーターのアクティビティを示します。LED の点滅を無効にしたり、電源 LED 以外のすべての LED をオフにすることができます。

➤ LED の点滅を無効にするまたは LED をオフにする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. アドレス欄に <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

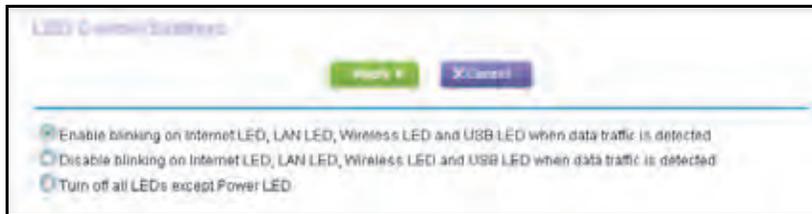
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を区別します。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[高度] > [高度な設定] > [LED コントロール設定]** を選択します。



デフォルトでは一番上のラジオボタンが選択されており、LED は通常通り動作します。通常の LED の点滅について詳しくは、10 ページの [表 1、LED とボタンの説明](#) をご覧ください。

5. **データトラフィック検出時のインターネット LED、LAN LED、ワイヤレス LED の点滅を無効にする**：点滅を無効にするには、このラジオボタンを選択します。
6. **電源 LED 以外のすべての LED をオフにする**：すべての LED をオフにするには、このラジオボタンを選択します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

WAN 設定

WAN 設定を表示または設定できます。非武装地帯 (DMZ) サーバーの設定、MTU サイズの変更、WAN (インターネット) ポートに対する ping への応答有効化などを行うことができます。

➤ WAN 設定を表示する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。

2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。

次の設定が表示されます。

- **ポートスキャンと DoS 保護を無効にする** : DoS 保護では、SYN flood 攻撃、Smurf 攻撃、Ping of Death (PoD)、その他多くの攻撃から LAN を保護します。特殊な状況でのみ、このチェックボックスを選択してください。
- **デフォルト DMZ サーバー** : この機能は、オンラインゲームまたはビデオ会議で役立つことがあります。ファイアウォールのセキュリティが低下します。97 ページの [デフォルト DMZ サーバーの設定](#) を参照してください。
- **インターネットポートへの Ping に応答する** : ルーターの検出を許可します。診断ツールとしてのみ、または特別な理由がある場合のみ、この機能を使用してください。
- **IGMP プロキシを無効にする** : IGMP プロキシを使用すると、ローカルエリアネットワーク (LAN) 上のコンピューターが、対象となるマルチキャストトラフィックをインターネットから受信できるようになります。この機能が不要な場合は、このチェックボックスを選択して無効にすることができます。
- **MTU サイズ (バイト)** : ほとんどのイーサネットネットワークの場合、通常の MTU 値は 1500 バイト、PPPoE 接続の場合は 1492 バイトです。プロバイダー接続で必要なことが確実な場合のみ、MTU を変更してください。36 ページの [MTU サイズの変更](#) を参照してください。
- **NAT フィルタ** : ネットワークアドレス変換 (NAT) は、ルーターが受信トラフィックを処理する方法を決定します。[安全] な NAT は、LAN 上のコンピューターをインターネットからの攻撃から保護しますが、一部のインターネットゲーム、ポイントツーポイントアプリケーション、マルチメディアアプリケーションが動作しなくなることがあります。[オープン] な NAT は、ファイアウォールの安全性が大幅に低下しますが、ほぼすべてのインターネットアプリケーションが動作できます。

5. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

デフォルト DMZ サーバーの設定

デフォルト DMZ サーバー機能は、NAT と互換性のないオンラインゲームやビデオ会議アプリケーションを使用しているときに便利です。ルーターは、このようなアプリケーションの一部を認識して正しく処理するようにプログラムされていますが、正しく機能しないアプリケーションもあります。ローカルコンピューターの IP アドレスをデフォルト DMZ サーバーとして入力していれば、そのコンピューターでアプリケーションを正しく実行できる場合があります。



警告：

DMZ サーバーにはセキュリティ上のリスクがあります。デフォルト DMZ サーバーとして指定されたコンピューターは、ファイアウォールの保護を失い、インターネットの危険にさらされることとなります。万が一障害が発生すると、DMZ サーバーのコンピューターはネットワーク上の他のコンピューターを攻撃するために使われる可能性もあります。

通常、インターネットからの受信トラフィックがローカルコンピューターや、[ポート転送 / ポートトリガー] 画面で設定したサービスに反応しない限り、ルーターはそのトラフィックを検出して破棄します。トラフィックを破棄する代わりに、トラフィックをネットワーク上のコンピューターに転送することができます。そのようなコンピューターは、デフォルト DMZ サーバーと呼ばれます。

▶ デフォルト DMZ サーバーを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。
5. [デフォルト DMZ サーバー] チェックボックスを選択します。
6. IP アドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

ルーターのデバイス名の変更

ルーターのデフォルトのデバイス名は R7000 です。この名前を変更することができます。

➤ ルーターのデバイス名を変更する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
5. [デバイス名] の欄に、新しい名前を入力します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

LAN TCP/IP 設定の変更

ルーターは、LAN 側でプライベート IP アドレスを使用し、DHCP サーバーとして動作するようにあらかじめ設定されています。ルーターのデフォルト LAN IP 設定は次のとおりです。

- **LAN IP アドレス** : 192.168.1.1
- **サブネットマスク** : 255.255.255.0

これらのアドレスは、プライベートネットワーク内で使用する指定プライベートアドレスの範囲内であり、ほとんどのアプリケーションに適しています。ネットワークで別の IP アドレス指定スキームが必要な場合は、設定を変更できます。

ネットワーク上の 1 台以上のデバイスで使用する特定の IP サブネットが必要な場合、または同じ IP スキームを使用する競合サブネットがある場合、これらの設定を変更できます。

➤ LAN TCP/IP 設定を変更する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。

The screenshot shows the LAN configuration interface for a NETGEAR R7000 router. At the top, there are buttons for '戻る' (Back) and '設定をリセット' (Reset Settings). Below that, the 'デバイス名' (Device Name) field is set to 'R7000'. The 'LAN TCP/IP設定' (LAN TCP/IP Settings) section includes:

- 'IPアドレス' (IP Address) field with input boxes for 192, 168, 1, and 1.
- 'サブネットマスク' (Subnet Mask) field with input boxes for 255, 255, 255, and 0.
- 'RIP 通知の方向' (RIP Notification Direction) dropdown menu set to '両方' (Both).
- 'RIPバージョン' (RIP Version) dropdown menu set to '無効' (None).

 The 'DHCPサーバーとして使用する' (Use as DHCP Server) checkbox is checked. Below this, the '開始IPアドレス' (Start IP Address) is 192.168.1.2 and the '終了IPアドレス' (End IP Address) is 192.168.1.254. At the bottom, there is a '予約アドレステーブル' (Reserved Address Table) with columns for #, IPアドレス, デバイス名, and MACアドレス, and buttons for '+ 追加' (Add), 'リセット' (Reset), and '削除' (Delete).

5. [IP アドレス] の欄に、IP アドレスを入力します。

6. [サブネットマスク] の欄に、ルーターのサブネットマスクを入力します。

IP アドレスと組み合わせて、サブネットマスクはどのアドレスがローカルであり、どのアドレスがゲートウェイやルーターを通さなければならないかをデバイスに知らせることができます。

7. RIP 設定を変更します。

RIP は、ルーター同士のルーティング情報のやり取りを可能にします。

- a. [RIP 通知の方向] リストで、次のいずれかを選択します。

- **両方**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストし、受信する情報を追加します。
- **送信のみ**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストします。
- **受信のみ**：ルーターは、受信する RIP 情報を追加します。

- b. [RIP バージョン] リストで、次のいずれかを選択します。

- **無効**：これはデフォルトの設定です。
- **RIP バージョン 1**：この形式は、ユニバーサルにサポートされています。正常なネットワーク設定がされている場合、ほとんどのネットワークで利用できます。
- **RIP バージョン 2**：この形式では、より多くの情報を伝送します。RIP バージョン 2 (ブロードキャスト) と RIP バージョン 2 (マルチキャスト) はどちらも RIP バージョン 2 形式でルーティングデータを送信します。RIP バージョン 2 (ブロードキャスト) はサブネットブロードキャストを使用します。RIP バージョン 2 (マルチキャスト) はマルチキャストを使用します。

8. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

ルーターの LAN IP アドレスを変更した場合は、この変更が有効になると接続が切断されます。

9. 再接続するには、ブラウザを閉じてから再起動し、ルーターにログインします。

ルーターが割り当てる IP アドレスの指定

デフォルトで、ルーターは DHCP サーバーとして動作します。ルーターは、LAN に接続しているすべてのコンピューターに対して、IP アドレス、DNS サーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

これらのアドレスは、ルーターの LAN IP アドレスと同じ IP アドレスサブネットに属している必要があります。デフォルトのアドレス割り当て方式を使用した場合は 192.168.1.2 から 192.168.1.254 の範囲を指定しますが、固定アドレスを使用するデバイス用に範囲の一部を確保しておくことができます。

▶ ルーターが割り当てる IP アドレスのプールを指定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。

2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。

5. [ルーターを DHCP サーバーとして使用する] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ルーターが割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。
- [開始 IP アドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内で IP アドレスプールの開始アドレスを入力します。
 - [終了 IP アドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内で IP アドレスプールの終了アドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
- 設定が保存されます。

ルーターは、DHCP を要求するすべての LAN デバイスに対して、次のパラメーターを配信します。

- 指定した範囲内の IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイの IP アドレス (ルーターの LAN IP アドレス)
- DNS サーバーの IP アドレス (ルーターの LAN IP アドレス)

ルーターの DHCP サーバー機能の無効化

デフォルトで、ルーターは DHCP サーバーとして動作します。ルーターは、LAN に接続しているすべてのコンピューターに対して、IP アドレス、DNS サーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

ネットワーク上の別のデバイスを DHCP サーバーとして使用したり、すべてのコンピューターのネットワーク設定を指定したりすることもできます。

➤ ルーターの DHCP サーバー機能を無効にする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
5. [ルーターを DHCP サーバーとして使用する] チェックボックスのチェックを外します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
7. (オプション) このサービスが無効のときに、ネットワーク上に他の DHCP サーバーがない場合は、コンピューターの IP アドレスを手動で設定してコンピューターがルーターにアクセスできるようにします。

LAN IP アドレスの予約

LAN 上でコンピューターに予約 IP アドレスを指定した場合、そのコンピューターはルーターの DHCP サーバーにアクセスするたびに同じ IP アドレスを受信します。予約 IP アドレスは永久 IP 設定の必要なコンピューターまたはサーバーに割り当てます。

➤ IP アドレスを予約する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
5. 画面の [予約アドレステーブル] のカテゴリで、[追加] ボタンをクリックします。
6. [IP アドレス] の欄に、コンピューターまたはサーバーに割り当てる IP アドレスを入力します。
IP アドレスはルーターの LAN サブネット（192.168.1.x など）から選択してください。
7. コンピューターまたはサーバーの MAC アドレスを入力します。

ヒント：すでにコンピューターがネットワーク上にある場合は、そのMACアドレスを [接続デバイス] 画面からコピーしてここに貼り付けることができます。

8. **[適用]** ボタンをクリックします。

予約アドレスが表に入力されます。

予約アドレスは、このコンピューターがルーターの DHCP サーバーに次回アクセスするまで割り当てられません。コンピューターを再起動するか、またはコンピューターの IP 設定にアクセスして強制的に DHCP をリリースして更新します。

➤ **予約アドレスエントリを編集する**：

1. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
2. **[編集]** ボタンをクリックします。
3. 設定を変更します。
4. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

➤ **予約アドレスエントリを削除する**：

1. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
2. **[削除]** ボタンをクリックします。
アドレスが削除されます。

WPS ウィザードの使用

WPS ウィザードを使用すると、ワイヤレスパスワードを入力しなくても、ワイヤレスコンピューターまたはデバイスをワイヤレスネットワークに追加できます。

➤ **WPS ウィザードを使用する**：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[WPS ウィザード]** を選択します。
5. **[次へ]** ボタンをクリックします。
6. 使用する設定方法のラジオボタンを選択します。

- **プッシュボタン**：画面に表示される **[WPS]** ボタンのアイコンをクリックします。
 - **PIN**：画面が切り替わります。クライアントの PIN を入力し、**[次へ]** ボタンをクリックします。
7. 2 分以内に、クライアントデバイスで WPS ソフトウェアを使用してワイヤレスネットワークに接続します。

接続すると、WPS プロセスによってワイヤレスコンピューターにネットワークパスワードが自動的に設定されます。ルーターの WPS 画面に、確認メッセージが表示されます。

基本ワイヤレス設定

ルーターには、セキュリティがあらかじめ設定されています。つまり、ワイヤレスネットワーク名 (SSID)、ネットワークキー (パスワード)、セキュリティオプションが工場出荷時に設定されています。デフォルトの SSID とパスワードは、ルーターのラベルで確認できます。

注意：セキュリティを高めるため、デフォルトの SSID とパスワードは、デバイスごとに一意です。

デフォルトのセキュリティ設定は変更しないことを推奨します。デフォルトのセキュリティ設定を変更する場合は、新しい設定をメモしておき、簡単に探せる安全な場所に保管してください。

ワイヤレスコンピューターを使用してワイヤレスネットワーク名 (SSID) またはその他のワイヤレスセキュリティ設定を変更する場合、**[適用]** ボタンをクリックすると接続が切断されます。この問題を回避するため、有線接続でルーターにアクセスしてください。

➤ 基本ワイヤレス設定を指定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ワイヤレス] を選択します。

5. [地域] リストは、ルーターが使われている場所を示します。この項目は変更できません。
6. SSID ブロードキャストを管理するには、[SSID ブロードキャストを有効にする] チェックボックスを選択、またはチェックを外します

このチェックボックスが選択されている場合、ルーターはネットワーク名をブロードキャストします。コンピューターまたはワイヤレスデバイスでローカルワイヤレスネットワークをスキャンしたときにネットワーク名 (SSID) が表示されるようになります。

7. ネットワーク名 (SSID) はデフォルトのままにしておくことを推奨します。変更するには、新しい名前を [ネットワーク名 (SSID)] の欄に入力します。

名前は 32 文字までで、大文字と小文字を区別します。デフォルトの SSID はランダムに生成され、ルーターのラベルに記載されています。名前を変更する場合は、新しい名前を書き留めて、安全な場所に保管してください。

8. ワイヤレスチャンネルを変更するには、[チャンネル] リストで選択します。

一部の地域では、利用できないチャンネルがあります。干渉（接続が失われたり、データ転送速度が低下したりする）が発生しない限り、チャンネルを変更しないでください。発生する場合は、別のチャンネルを試してみてください。

複数のアクセスポイントを使用する場合は、干渉を抑えるために近隣のアクセスポイントで異なるチャンネルを使用することを推奨します。近隣のアクセスポイント間で推奨されるチャンネル間隔は、4 チャンネルです（例えば、チャンネル 1 と 5 や、6 と 10 を使用します）。

9. モードを変更するには、[モード] リストから選択します。

2.4 GHz の場合は、[最大 600 Mbps] がデフォルト設定です。その他に [最大 289 Mbps] と [最大 54 Mbps] を選択できます。

5 GHz の場合は、[最大 1300 Mbps] がデフォルト設定です。その他に [最大 600 Mbps] と [最大 289 Mbps] を選択できます。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ネットワークにワイヤレス接続していて SSID を変更した場合は、ネットワークから切断されます。

11. ネットワークに新しい設定でワイヤレス接続できることを確認します。

ワイヤレス接続できない場合は、次の点を確認してください。

- ご利用のワイヤレスデバイスがエリア内の別のワイヤレスネットワークに接続していませんか？一部のワイヤレスデバイスは、最初に検出されたネットワークに自動的に接続します。
- ご利用のワイヤレスデバイスが（設定を変更する前の）古い設定でネットワークに接続されていませんか？その場合は、ワイヤレスデバイスのワイヤレスネットワークの選択を更新し、ネットワークの現在の設定と一致させます。

ワイヤレスセキュリティオプションの変更

ルーターには、WPA2 または WPA セキュリティがデフォルトで設定されています。ネットワークに接続するために入力するパスワードは、ルーターごとに一意で、ルーターのラベルに記載されています。デフォルトのセキュリティを使用することを推奨しますが、変更することができます。セキュリティは無効にしないことを推奨します。

▶ WPA 設定を変更する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [基本] > [ワイヤレス] を選択します。
5. [セキュリティオプション] で、次の WPA オプションのうちいずれかのラジオボタンを選択します。
 - WPA-PSK [TKIP]
 - WPA2-PSK [AES]
 - WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]
 - WPA/WPA2 エンタープライズ

WPA2 オプションでは最も強力なセキュリティの最新規格を使用しますが、一部の古いコンピューターやワイヤレスデバイスでは WPA2 を使用できません。**[WPA-PSK[TKIP] + WPA2-PSK [AES]]** は、新旧両方のコンピューターとワイヤレスデバイスで WPA2 または WPA セキュリティを使用してワイヤレスネットワークに接続できます。

[パスフレーズ] の欄が表示されます。

6. [パスフレーズ] の欄に、使用するネットワークキー（パスワード）を入力します。
8 ～ 63 文字のテキスト文字列です。
7. 新しいパスワードをメモしておき、将来参照できるように安全な場所に保管します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ゲストネットワークの設定

ゲストネットワークを使用すると、ゲストユーザーに、ワイヤレスセキュリティキーを知らせずにインターネットを使用してもらうことができます。ゲストネットワークは、2.4 GHz b/g/n と 5.0 GHz a/n の各ワイヤレスネットワークで設定できます。

▶ ゲストネットワークを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ゲストネットワーク] を選択します。



5. 次のワイヤレス設定から選択します。

- **[ゲストネットワークを有効にする]** : このチェックボックスを選択すると、ゲストネットワークが有効になり、ゲストはこのプロファイルの SSID を使用してネットワークに接続できます。
- **[SSID ブロードキャストを有効にする]** : このチェックボックスを選択すると、ルーターはネットワーク名 (SSID) をすべてのワイヤレスステーションにブロードキャストします。
- **[ゲストが相互に表示され、ローカルネットワークにアクセスすることを許可]** : このチェックボックスを選択すると、この SSID に接続する全員がインターネットだけでなくローカルネットワークにもアクセスできます。

6. ゲストネットワークの名前を指定します。

ゲストネットワーク名は、大文字と小文字を区別し、最大 32 文字使用できます。メインの SSID だけでなくゲストネットワーク名を使用するようにネットワーク内のワイヤレスデバイスを手動で設定します。

7. セキュリティオプションのラジオボタンを選択します。

WPA2 オプションでは最も強力なセキュリティの規格を使用しますが、一部の古いコンピューターやワイヤレスデバイスでは WPA2 を使用できません。**[WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]]** ラジオボタンを選択することを推奨します。この設定では、ワイヤレスネットワークを保護し、コンピューターやワイヤレスデバイスが WPA2 または WPA セキュリティを使用してワイヤレスネットワークに接続できます。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ルーターがワイヤレスクライアントを管理する方法

ワイヤレスクライアントとは、ルーターのワイヤレスネットワークに接続する任意のコンピューターまたはワイヤレスデバイスです。ルーターはエアタイムフェアネスと暗示的ビームフォーミングを使用して、ワイヤレスクライアントを管理できます。これらの機能はデフォルトで有効ですが、無効にすることができます。

エアタイムフェアネス

エアタイムフェアネスを有効にすると、すべてのクライアントにネットワーク上で均等に時間を与えます。ネットワークリソースはデータ量ではなく時間で分割されるため、例えば5つのクライアントがある場合は、それぞれがネットワーク時間を1/5ずつ使うことになります。

そのため、速度の最も遅いクライアントによってスループットが低下してしまうことがなくなります。この機能はデフォルトで有効ですが、無効にすることができます。

▶ エアタイムフェアネスを無効にする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
5. 画面の [WPS 設定] セクションの下までスクロールし、[AIRTIME FAIRNESS を有効にする] チェックボックスのチェックを外します。
6. [適用] ボタンをクリックします。

暗示的ビームフォーミング

暗示的ビームフォーミングは、明示的ビームフォーミングとは対照的に、ルーターは積極的にクライアントを追跡し、クライアントに近いルーターアンテナの出力を高めます。これは、クライアントがビームフォーミングに対応しているかどうかに関わらず動作します。暗示的ビームフォーミングでは、ビームフォーミングに対応しているクライアントデバイスからの情報を使用して、ルーターのワイヤレスシグナルを改善します。この機能はデフォルトで有効ですが、無効にすることもできます。

▶ 暗示的ビームフォーミングを無効にする：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。

2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
5. 画面の [WPS 設定] セクションの下までスクロールし、[Implicit BEAMFORMING を有効にする] チェックボックスの選択を解除します。
6. [適用] ボタンをクリックします。

ワイヤレスのオン / オフ

ルーターの 2.4 GHz と 5 GHz ワイヤレスシグナルはデフォルトではオンになっていますが、ワイヤレスをオフにして、LANケーブルを使用してルーターにLAN接続することもできます。

ルーターのワイヤレスのオン / オフを切り替えるには、ワイヤレスオン / オフボタンを使用するか、またはルーターにログインしてワイヤレスを有効化または無効化します。ワイヤレスのオン / オフは、スケジュールに基づいて切り替えることもできます（111 ページの [ワイヤレススケジュールの設定](#) を参照してください）。

ワイヤレスオン / オフボタンの使用

- ▶ ワイヤレスオン / オフボタンを使用してワイヤレスのオン / オフを切り替える：
ルーターの天面にあるワイヤレスオン / オフボタンを 2 秒間押します。
ワイヤレスをオフにすると、ワイヤレスオン / オフ LED と WPS LED が消灯します。ワイヤレスをオンにすると、ワイヤレスオン / オフ LED と WPS LED が点灯します。

ワイヤレスの有効化または無効化

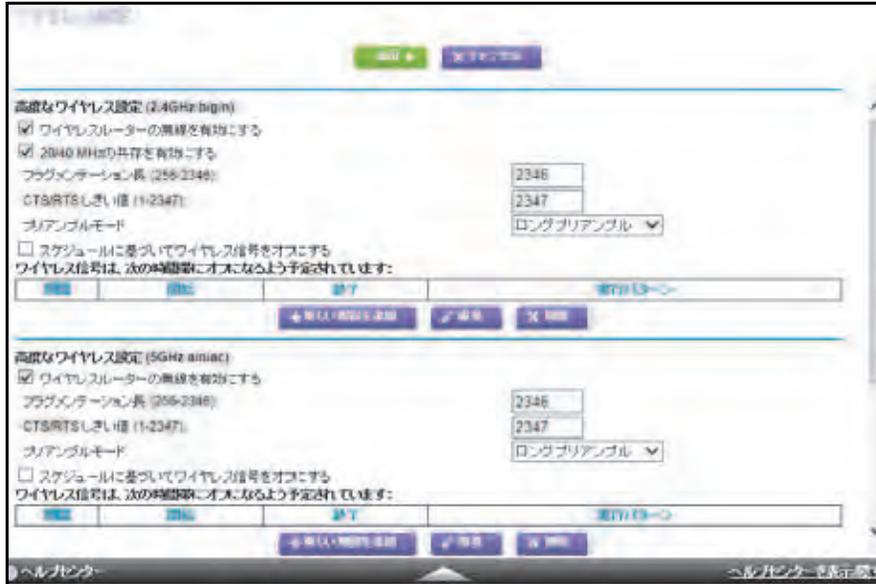
ワイヤレスオン / オフボタンを使用してワイヤレスをオフにした場合は、オンに戻すためにルーターにログインすることはできません。もう一度ワイヤレスオン / オフボタンを 2 秒間押して、ワイヤレスをオンに戻す必要があります。

- ▶ ワイヤレスを有効化または無効化する：
 1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
 2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。



5. 画面の 2.4 GHz と 5 GHz のセクションにある [ワイヤレスルーターの無線を有効にする] チェックボックスを選択、または選択を解除します。

このチェックボックスの選択を解除すると、ルーターのワイヤレス機能がオフになります。

6. [適用] ボタンをクリックします。

2.4 GHz と 5 GHz 両方のワイヤレスをオフにすると、ワイヤレスオン/オフ LED と WPS LED の両方が消灯します。ワイヤレスをオンにすると、ワイヤレスオン/オフ LED と WPS LED が点灯します。

ワイヤレススケジュールの設定

この機能を使用すると、ワイヤレス接続が必要ない時間にルーターからのワイヤレス信号をオフにすることができます。例えば、週末不在にする間にオフにすることができます。

▶ ワイヤレススケジュールを設定する：

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。

高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。

5. [新しい期間を追加] ボタンをクリックします。

6. リスト、ラジオボタン、チェックボックスを使用して、ワイヤレス信号をオフにする期間を設定します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。
8. [スケジュールに基づいてワイヤレス信号をオフにする] チェックボックスを選択してスケジュールを有効にします。
9. [適用] ボタンをクリックします。

WPS 設定

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用すると、ワイヤレスパスワードを入力しなくてもワイヤレスネットワークに参加できます。

▶ WPS 設定を指定する :

1. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。

[ルーターの PIN] の欄に、WPS を利用してルーターのワイヤレス設定を行うためにレジストラ (例: Windows Vista のマイネットワーク) で使用する PIN 番号が表示されます。

5. (オプション) [ルーターの PIN を有効にする] チェックボックスを選択、またはチェックを外します。

WPS 経由でルーターの PIN を使用してルーターのワイヤレス設定に侵入しようとする疑いが検出されると、PIN 機能は一時的に無効になります。PIN 機能を手動で有効にするには、[ルーターの PIN を有効にする] チェックボックスを選択します。

6. (オプション) [既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスを選択、または選択を解除します。

デフォルトでは、[既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスが選択されています。このチェックボックスは選択されたままにすることを推奨します。

このチェックボックスの選択を解除した場合、次に新しいワイヤレスクライアントが WPS を使用してルーターに接続すると、ルーターのワイヤレス設定が変更されて、自動的に生成されたランダムな SSID とネットワークキー (パスワード) になります。

7. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

ルーターをワイヤレスアクセスポイントとして使用

ルーターを別のルーターと同じローカルネットワークのアクセスポイント (AP) として動作するように設定できます。

▶ ルーターを AP として設定する :

1. LAN ケーブルを使用して、このルーターのインターネットポートを別のルーターの LAN ポートに接続します。



2. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
3. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

5. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス AP] を選択します。



6. [AP モードを有効にする] チェックボックスを選択します。

7. 下にスクロールし、使用する IP アドレス設定のラジオボタンを選択します。

- **既存のルーターから自動的に取得**：このルーターが AP モードのときに、ネットワーク上の別のルーターがこのルーターに IP アドレスを割り当てます。
- **このデバイスで固定 IP 設定を有効にする (推奨しません)**：このルーターが AP モードのときに特定の IP アドレスを手動で割り当てる場合は、この設定を使用します。このオプションを使用するには、ネットワークに関する詳しい知識が必要です。

注意： ネットワーク上の他のルーターやゲートウェイとの干渉を避けるため、ルーターごとに異なるワイヤレス設定を使用することを推奨します。他のルーターやゲートウェイのワイヤレスをオフにし、ワイヤレスクライアントアクセス用には R7000 のみを使用することもできます。

8. [適用] ボタンをクリックします。

ルーターの IP アドレスが変更され、切断されます。

9. 再接続するには、ブラウザを閉じてから再起動し、「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ルーターのブリッジモードの設定

ルーターをブリッジモードで使用すると、高速な 802.11ac スピードで複数のデバイスをワイヤレス接続することができます。これには 2 台のワイヤレスルーターが必要です。1 台はルーターとして設定し、もう 1 台はブリッジとして設定します。

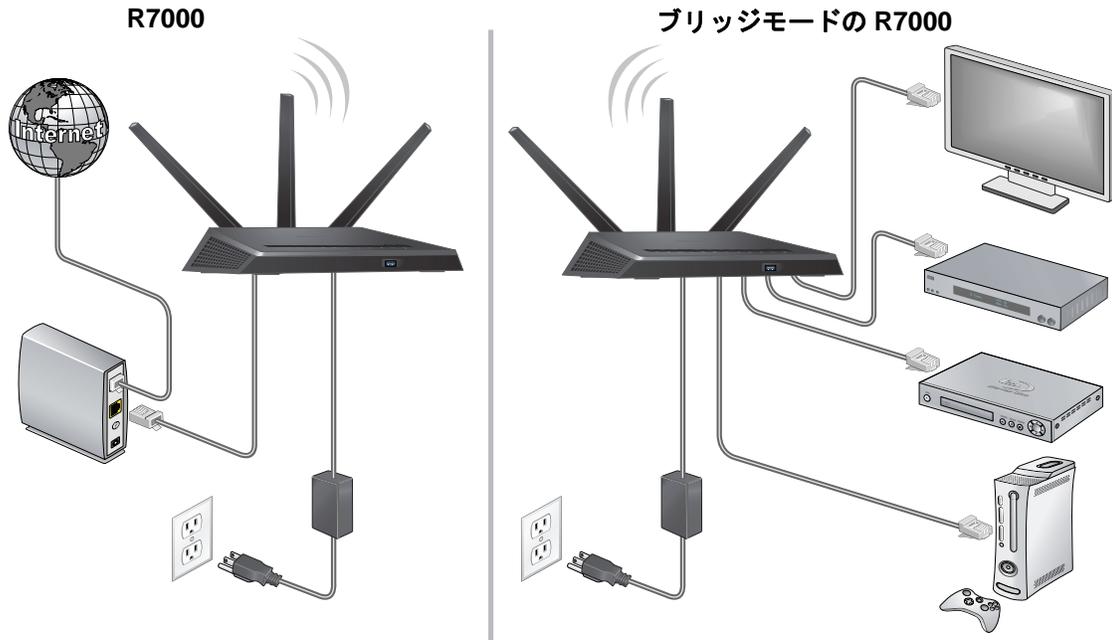


図 12. 802.11ac ワイヤレス接続を使用したブリッジモードのルーター

R7000 をブリッジとして設置するメリットは次のとおりです。

- お使いのデバイスでギガビットワイヤレススピードを利用できます。
- ビデオやゲームなどのアプリケーションでギガビットワイヤレスを使用できます。
- ワイヤレスリンクを使用して NAS、Smart TV、NeoTV、Blu-ray プレイヤー、ゲームコンソールなどの複数のデバイスをギガビットワイヤレススピードで接続できます。
- デバイスごとに個別のワイヤレスアダプターを用意する必要がなくなります。

例えば、インターネット接続が整っているホームオフィスなどの部屋に 1 台目のルーターを設置し、2 台目のルーターをブリッジモードで設定します。続いてこのブリッジモードのルーターをホームエンターテインメントの設備の整った別の部屋に設置します。ブリッジモードのルーターを Smart TV、DVR、ゲーム本体、Blu-ray プレイヤーなどにケーブル接続し、そのルーターから 802.11ac ワイヤレス接続を使用して 1 台目のルーターに接続します。

➤ ブリッジモードを設定する：

1. このルーターが接続する相手のルーターのワイヤレス設定をメモします。

SSID、ワイヤレスセキュリティモード、ネットワークキー（パスワード）、動作周波数（2.4 GHz または 5 GHz）が必要になります。

2. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
3. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. **[高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定]** を選択します。
6. 下にスクロールし、**[ほかのモードを使用]** チェックボックスと **[ブリッジモードを有効にする]** ラジオボタンを選択します。
画面が変更されます。



7. **[ブリッジモードワイヤレス設定をセットアップする]** ボタンをクリックします。
8. このルーターが接続する相手のルーターの設定を指定します。
 - a. ネットワークワイヤレス周波数 (**2.4 GHz** または **5 GHz**) を選択します。
802.11ac モードの場合は、**5 GHz** を選択します。
 - b. **[ネットワーク名 (SSID)]** の欄に、ワイヤレスネットワーク名 (SSID) を入力します。
 - c. **[セキュリティオプション]** セクションで、ラジオボタンを選択します。
 - d. メッセージが表示されたら、パスフレーズ (別のルーターにワイヤレス接続するとき使用するネットワークキー (パスワード)) を入力します。
9. **[適用]** ボタンをクリックします。
相手のルーターの設定が保存され、高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。
10. 高度なワイヤレス設定の画面の **[適用]** ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

WDS (Wireless Distribution System)

ルーターは、WDS (Wireless Distribution System) でルーター、ワイヤレスベースステーション、またはワイヤレスリピーターとして動作することができます。WDS を使用すると、複数のアクセスポイントを使用してワイヤレスネットワークを拡張できます。ワイヤレスベースステーションはインターネットに接続し、有線とワイヤレスのクライアントを接続でき、ワイヤレスリピーターとして機能するアクセスポイントにワイヤレス信号を送信します。ワイヤレスリピーターも、有線とワイヤレスのクライアントを接続できますが、インターネットへの接続にはワイヤレスベースステーションを経由します。次の図は、ワイヤレスリピーター機能を使ったネットワークの様子を示しています。

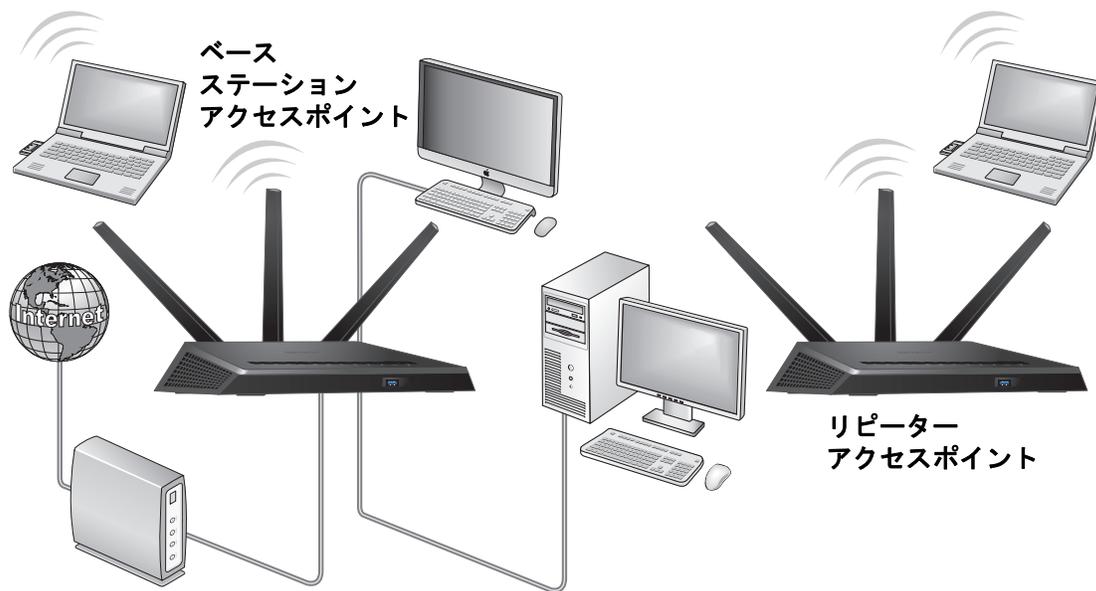


図 13. ワイヤレスリピーターの使用例

注意： ワイヤレスリピーター機能を使用する場合、ルーターでセキュリティを有効にできず、自動チャンネル機能を使用できません。

ワイヤレスベースステーションとワイヤレスリピーターを設定する必要があります。

- **ワイヤレスベースステーション：** ルーターは、ベースステーションアクセスポイント（親機）として動作し、リピーターアクセスポイント（子機）との間でトラフィックをブリッジします。ベースステーションは、ワイヤレスと有線のローカルコンピューターとの接続も処理します。このモードを設定するには、子リピーターアクセスポイントの MAC アドレスが必要です。多くの場合、MAC アドレスは製品ラベルに記載されています。
- **ワイヤレスリピーター：** ルーターは、ローカルのワイヤレスまたは有線コンピューターからのすべてのトラフィックをリモートアクセスポイントに送信します。このモードを設定するには、ベースステーションアクセスポイント（親機）の MAC アドレスが必要です。

ルーターは、一方の無線をオフにしない限り、常にデュアルバンドコンカレント（並行）モードになります。一方の無線帯域でワイヤレスリピーターを有効にした場合、もう一方の無線帯域でワイヤレスベースステーションまたはワイヤレスリピーターを有効にすることはできません。

きません。ただし、ワイヤレスベースステーションを一方の無線帯域で有効にし、もう一方の無線帯域をワイヤレスルーターまたはワイヤレスベースステーションとして使用する場合、デュアルバンドコンカレントモードは影響を受けません。

WDS を使用してワイヤレスネットワークを設定する前に、両方のアクセスポイントが次の条件を満たす必要があります。

- 同じ SSID、ワイヤレスチャンネル、暗号化モードを使用していること。
- 同じ IP サブネット上にあること。つまり、アクセスポイントのすべての IP アドレスが同じネットワーク上にあることを指します。
- すべてのネットワークデバイス（有線およびワイヤレス）が、アクセスポイントと同じネットワークアドレス範囲内で動作するように設定されている。

ベースステーションの設定

ワイヤレスリピーター機能は、ハブおよびスポークモードでのみ動作します。装置をダイジェンチェーンすることはできません。両方の装置のワイヤレス設定を把握している必要があります。リモート装置の MAC アドレスも必要です。先にベースステーションを設定してから、リピーターを設定します。

▶ ベースステーションを設定する：

1. 両方の装置を同じワイヤレス設定にします。

SSID とモードを同じにし、ワイヤレスセキュリティオプションを [なし] に設定する必要があります。

2. ネットワークに接続されたコンピューターやワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。

3. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

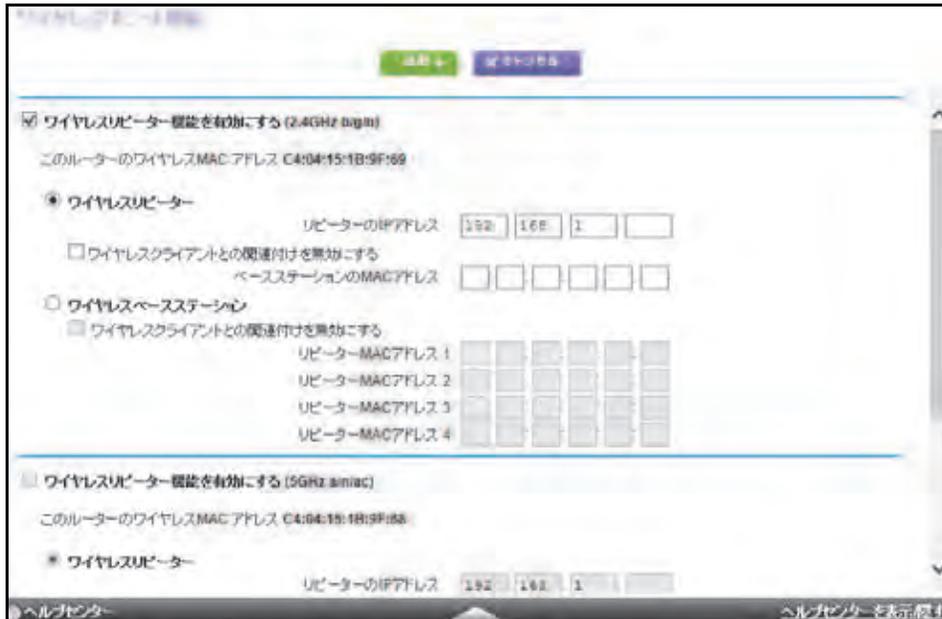
ログイン画面が表示されます。

4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

5. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレスリピーター] を選択します。



6. [ワイヤレスリピーター機能を有効にする] チェックボックスを選択します。
7. [ワイヤレスベースステーション] ラジオボタンを選択します。
8. ワイヤレスクライアントをベースステーションとは関連付けず、LAN クライアントとの関連付けのみを許可するには、[ワイヤレスクライアントとの関連付けを無効にする] チェックボックスを選択します。
- ワイヤレスクライアントがベースステーションと関連付けできるようにする場合は、このチェックボックスの選択を外しておきます。
9. リピーター MAC アドレスの 1 ~ 4 番目の欄に、リピーターとして機能するアクセスポイントの MAC アドレスを入力します。
- ルーターがベースステーションの場合は、最大 4 台あるその他のアクセスポイントの「親」として機能することができます。
10. [適用] ボタンをクリックします。
- 変更内容が保存されます。

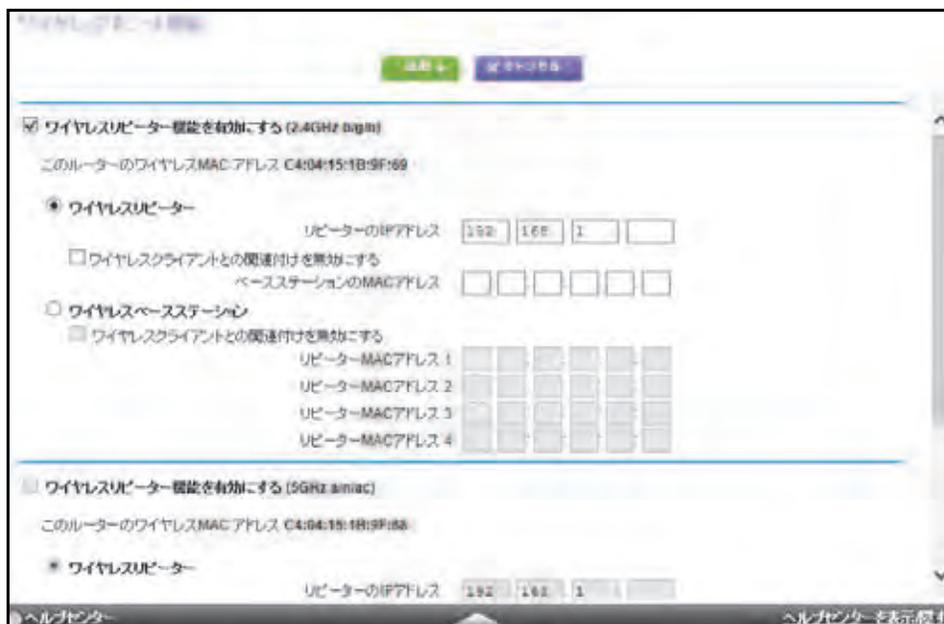
リピーターの設定

ベースステーションへのワイヤレス接続との競合を避けるため、有線の LAN 接続を使ってリピーターを設定してください。

NETGEAR のルーターをベースステーションとして使用し、NETGEAR 以外のルーターをリピーターとして使用する場合は、設定の変更がさらに必要になることがあります。特に、リピーターであるアクセスポイントの DHCP サーバー機能を無効にしてください。

➤ NETGEAR ルーターをリピーターとして設定する：

1. リピーターにするルーターのネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ワイヤレス]** を選択し、ワイヤレス設定がベースユニットと正確に一致していることを確認します。
ワイヤレスセキュリティオプションは、**[なし]** に設定する必要があります。
5. **[高度]** > **[ワイヤレスリピーター機能]** を選択します。
6. **[ワイヤレスリピーター機能を有効にする]** チェックボックスを選択します。
7. **[ワイヤレスリピーター]** ラジオボタンを選択します。



8. **[リピーターの IP アドレス]** の欄に、リピーターとなるルーターの IP アドレスを入力します。
この IP アドレスは、ベースステーションと同じサブネット内にあり、ベースステーションの IP アドレスとは異なるものにする必要があります。
9. ワイヤレスクライアントをリピーターとは関連付けず、LAN クライアントとの関連付けのみを許可するには、**[ワイヤレスクライアントとの関連付けを無効にする]** チェックボックスを選択します。

ワイヤレスクライアントがリピーターと関連付けできるようにする場合は、このチェックボックスの選択を解除したままにすることもできます。

10. [ベースステーションの MAC アドレス] の欄に、ベースステーションとなるアクセスポイントの MAC アドレスを入力します。

11. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

12. LAN での接続を確認します。

これで、どこの無線または有線ルーターの LAN セグメントにあるコンピューターでも、インターネットに接続でき、他のアクセスポイントに接続されている他のコンピューターやサーバーと、ファイルやプリンターの共有が可能になります

この章では、ホームネットワークを管理し、保守するためのルーター設定について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ルーターファームウェアのアップデート
- 管理者パスワードの変更
- 管理者パスワードの復元
- ルーターステータスの表示
- ルーターアクティビティのログの表示
- トラフィックメーター
- 静的ルートの作成
- ネットワーク上にあるデバイスの表示
- ルーター設定ファイルの管理
- リモート管理

ルーターファームウェアのアップデート

ルーターの新しいファームウェアが利用可能になると、NETGEAR genie（ルーター管理画面）の上部にメッセージが表示されることがあります。そのメッセージをクリックしてファームウェアをアップデートすることも、手動で新しいファームウェアが利用可能かどうかを確認してアップデートすることもできます。

▶ 新しいファームウェアを確認して、ルーターをアップデートする：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[管理者]** > **[ルーターのアップグレード]** を選択します。
5. **[確認]** ボタンをクリックします。
使用可能なファームウェアがある場合は、新しいファームウェアをダウンロードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。
6. **[はい]** ボタンをクリックします。
ルーターがファームウェアを見つけてダウンロードし、アップデートを開始します。



警告：

ファームウェアの破損を回避するため、アップグレードを中断しないでください。例えば、ブラウザを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを読み込んだりしないでください。ルーターの電源を切らないでください。

アップロードが完了すると、ルーターが再起動します。アップグレードプロセスは通常、約 1 分かかります。新しいファームウェアのリリースノートを読み、アップグレード後にルーターの再設定が必要かどうかを確認してください。

管理者パスワードの変更

この機能では、ルーター管理者のユーザー名 **admin** を使用して、NETGEAR genie（ルーター管理画面）にログインするためのデフォルトのパスワードを変更できます。このパスワードは、ワイヤレスアクセスに使用するパスワードとは異なります。ルーターのラベルに、ワイ

ヤレスアクセス用の一意のワイヤレスネットワーク名 (SSID) とパスワードが記載されています。

➤ ユーザー名 **admin** のパスワードを設定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[高度] > [管理者] > [新しいパスワード]** を選択します。

5. 古いパスワードを入力し、新しいパスワードを2か所に入力します。
6. パスワードを復元できるように、**[パスワードの復元を有効にする]** チェックボックスを選択することを推奨します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

管理者パスワードの復元

NETGEAR は、ルーター管理者のパスワードを変更した場合にパスワードの復元を有効にすることを推奨します。この復元プロセスは、Internet Explorer、Firefox、Chrome のブラウザでサポートされますが、Safari ブラウザーではサポートされません。

➤ **パスワードの復元を設定する：**

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。
5. [パスワードの復元を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. セキュリティに関する2つの質問を選択し、それらの回答を入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

➤ **パスワードを復元する：**

1. ブラウザーのアドレスバーに「**www.routerlogin.net**」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

2. [キャンセル] をクリックします。

パスワードの復元が有効になっている場合、セキュリティに関する2つの質問が表示されます。

3. セキュリティに関する質問に回答します。
4. ルーターのシリアル番号を入力します。

シリアル番号はルーターのラベルに記載されています。

ルーターステータスの表示

➤ **ルーターステータスと使用状況の情報を表示する：**

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. **http://www.routerlogin.net** または **http://www.routerlogin.com** と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] タブをクリックします。



5. 表示された設定に関する情報については、画面下部にある [ヘルプセンターを表示 / 隠す] リンクをクリックします。

インターネットポート統計の表示

▶ インターネットポート統計を表示する :

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
4. NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. [高度] タブをクリックします。

6. [インターネットポート] のカテゴリで、[統計を表示] ボタンをクリックします。

統計を表示

システムの稼働時間 32日 02:08:37

ポート	ステータス	送信パケット数	受信パケット数	コリジョン	送信速度	受信速度	稼働時間
WAN	1000Mフル	231	24406	0	5	1096	00:43:43
LAN1	リンクダウン	-	-	-	-	-	-
LAN2	リンクダウン	-	-	-	-	-	-
LAN3	リンクダウン	-	-	-	-	-	-
LAN4	リンクダウン	-	-	-	-	-	-
Ethernet LAN 1	54M	1528739	142359	0	1726090	71624	00:03:45
Ethernet LAN 2	1300M	3381165	1757656	0	6359516	1985554	00:03:45

サンプリング
間隔: (5-86400 秒)

以下の情報が表示されます。

- システムの稼働時間：ルーターが最後に再起動されてからの経過時間です。
 - ポート：WAN（インターネット）ポートとLAN（イーサネット）ポートの統計です。各ポートについて以下の画面が表示されます：
 - ステータス：ポートのリンクステータスです。
 - 送信パケット数：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで送信されたパケットの数です。
 - 受信パケット数：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで受信されたパケットの数です。
 - コリジョン：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで発生したコリジョンの数です。
 - 送信速度：WAN ポートやLAN ポートで使用された現在の送信速度です。
 - 受信速度：WAN ポートやLAN ポートで使用された現在の受信速度です。
 - 稼働時間：このポートが接続されてからの経過時間です。
 - サンプリング間隔：この画面で統計が更新される間隔です。
7. サンプリングの周期を変更するには、[サンプリング間隔] 欄に時間を秒単位で入力し、[間隔の設定] ボタンをクリックします。
8. 完全にサンプリングを停止するには、[停止] ボタンをクリックします。

インターネット接続ステータスの確認

▶ インターネット接続ステータスを確認する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] タブをクリックします。
5. [インターネットポート] のカテゴリで、[接続ステータス] ボタンをクリックします。

接続ステータス	
IPアドレス	10.110.1.110
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.110.1.10
DHCP サーバー	10.110.1.3
DNS サーバー	10.1.1.1 10.1.1.6
リース取得	8日0時0分
リース期限	7日23時15分

Buttons: リリース, 更新, 接続ステータスを確認する

以下の情報が表示されます。

- **IP アドレス**：ルーターに割り当てられている IP アドレスです。
 - **サブネットマスク**：ルーターに割り当てられているサブネットマスクです。
 - **デフォルトゲートウェイ**：ルーターが通信するデフォルトゲートウェイの IP アドレスです。
 - **DHCPサーバー**：ルーターに接続されているすべてのコンピューターに対してTCP/IP 設定を提供する DHCP サーバーの IP アドレスです。
 - **DNS サーバー**：ネットワーク名から IP アドレスへの変換機能を提供する DNS サーバーの IP アドレスです。
 - **リース取得**：リースが取得された日付と時刻です。
 - **リース期限**：リースが期限切れになる日付と時刻です。
6. 全項目のステータスを 0 に戻すには、[リリース] ボタンをクリックします。
 7. 画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。
 8. この画面を終了するには、[ウィンドウを閉じる] ボタンをクリックします。

ルーターアクティビティのログの表示

ログは、アクセスしたサイトやアクセスしようとしたサイト、その他のルーターアクティビティの詳細な記録です。ログには最大 256 のエントリが保存されます。

▶ ログを表示する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [ログ] を選択します。



ログ画面には以下の情報が表示されます。

- **日付と時刻**：ログが記録された日付と時刻です。
- **ソース IP**：このログの発生元のデバイスの IP アドレスです。
- **ターゲットアドレス**：アクセスしたウェブサイトやニュースグループの名前または IP アドレスです。
- **アクション**：インターネットアクセスがブロックされた、または許可されたなどの、発生したアクションです。

5. ログ画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

6. ログを消去するには、[ログを消去] ボタンをクリックします。

7. ログを直ちにメールで送信するには、[ログ送信] ボタンをクリックします。

トラフィックメーター

トラフィックメーターを使用すると、ルーターのインターネットポートを通過するインターネットトラフィックの量を監視できます。また、トラフィック量の制限を設定できます。

▶ インターネットトラフィックを監視する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

- [高度] > [高度な設定] > [トラフィックメーター] を選択します。



さらに設定を表示するにはスクロールします

- [トラフィックメーターを有効にする] チェックボックスを選択します。

- (オプション) インターネットトラフィックの容量を制御します。

トラフィック容量の制御または接続時間制御のいずれかを使用できます。

- [トラフィック容量の制御:] ラジオボタンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 制限なし: トラフィック容量の限度に達したときに制限を適用しません。
 - ダウンロードのみ: 制限は受信トラフィックにのみ適用されます。
 - 双方向: 制限は受信と送信双方のトラフィックに適用されます。
 - [接続時間制御] ラジオボタンを選択し、許可する時間数を [月次制限] 欄に入力します。
- (オプション) 新しい接続を作成するとプロバイダーが追加のデータ容量に対して課金する場合は、[各接続のデータ容量をラウンドアップ] 欄に、その追加データ容量を MB 単位で入力します。
 - [トラフィックカウンター] 欄で、特定の日に始まるようにトラフィックカウンターを設定します。

トラフィックカウンターを直ちに始めたい場合は、[カウンターをリセットする] ボタンをクリックします。

9. [トラフィック制御] セクションで、月次制限の MB 数または時間数に達する前に、ルーターから警告メッセージを発行する必要があるかどうかを指定します。
- デフォルトの値は 0 で、警告メッセージは発行されません。制限に達したときに以下のいずれかを発生させるように選択できます。
- インターネット LED を点滅させる。
 - インターネット接続を切断し、無効にする。
10. [適用] ボタンをクリックします。
- [インターネットトラフィック統計] セクションは、データトラフィックの監視に役立ちます。
11. [インターネットトラフィック統計] セクションを更新するには、[更新] ボタンをクリックします。
12. ルーター上のデータトラフィックに関する詳細情報を表示したり、サンプリング間隔を変更するには、[トラフィックステータス] ボタンをクリックします。

静的ルートの作成

静的ルートは、ルーターにさらに多くのルーティング情報を提供します。通常は、ネットワーク上にルーターや IP サブネットが複数存在する場合を除き、静的ルートを追加する必要はありません。

静的ルートが必要とされる例として、次の場合が考えられます。

- 主要なインターネットアクセスが、プロバイダーへのケーブルモデム経由である。
- ホームネットワーク上に、勤務先企業に接続するための ISDN ルーターがある。このルーターの LAN 上のアドレスは 192.168.1.100 である。
- 勤務先企業のネットワークアドレスは 134.177.0.0 である。

ルーターをセットアップしたときに、絶対的な静的ルートが 2 つ作成されました。デフォルトのルートは、プロバイダーによりゲートウェイとして作成され、2 つ目の静的ルートは、すべての 192.168.1.x アドレスのローカルネットワークに対して作成されました。この設定では、134.177.0.0 ネットワーク上のデバイスにアクセスしようとする、ルーターはリクエストをプロバイダーに転送します。プロバイダーはリクエストを勤務先企業に転送し、このリクエストは企業のファイアウォールでおそらく拒否されます。

この場合、静的ルートを定義し、192.168.1.100 にある ISDN ルーター経由で 134.177.0.0 にアクセスする必要があることをルーターに伝える必要があります。以下に例を示します。

- [ターゲット IP アドレス] 欄と [サブネットマスク] 欄で、この静的ルートをすべての 134.177.x.x アドレスに適用することを指定します。
- [ゲートウェイ IP アドレス] 欄で、これらのアドレスに対するすべてのトラフィックを 192.168.1.100 にある ISDN ルーターに転送するよう指定します。
- ISDN ルーターは LAN 上にあるため、メトリック値として 1 を指定すれば正しく機能します。
- [プライベート] は、RIP が有効になっている場合のセキュリティ対策としてのみ選択します。

➤ 静的ルートを設定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
5. [追加] ボタンをクリックします。



6. [ルート名] 欄に、この静的ルートの名前を入力します（識別目的のみ）。
7. アクセスを LAN のみに制限したい場合は、[プライベート] チェックボックスを選択します。
[プライベート] が選択されている場合、この静的ルートは RIP で報告されません。
8. [アクティブ] チェックボックスを選択し、このルートを有効にします。
9. 目的地の [ターゲット IP アドレス] を入力します。
10. この目的地の IP サブネットマスクを入力します。目的地がシングルホストの場合は、**255.255.255.255** と入力します。
11. [ゲートウェイ IP アドレス] を入力します。このアドレスは、ルーターと同じ LAN セグメント上にある必要があります。
12. [メトリック] の欄に 1～15 の数字を入力します。
この値は、現在のネットワークと目的地の間にあるルーターの数を表します。通常は 2 または 3 に設定すれば正しく機能しますが、直接接続の場合は 1 に設定します。
13. [適用] ボタンをクリックします。
静的ルートが追加されます。

➤ 静的ルートを編集する：

1. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。

2. [編集] ボタンをクリックします。
[静的ルート] 画面の内容が変わります。
3. ルート情報を編集します。
4. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

➤ 静的ルートを削除する：

1. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。
2. [削除] ボタンをクリックします。
表からルートが削除されます。

ネットワーク上にあるデバイスの表示

現在ネットワークに接続されているすべてのコンピューターやデバイスを表示できます。

➤ ネットワーク上にあるデバイスを表示する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [接続デバイス] を選択します。

ステータス	IPアドレス	MACアドレス	デバイス名
有線機器			
2.4G 無線機器 (無線による不正使用者が居る場合もここに表示されます)			
	SSID	IPアドレス	MACアドレス
			デバイス名
5G 無線機器 (無線による不正使用者が居る場合もここに表示されます)			
	SSID	IPアドレス	MACアドレス
			デバイス名

[有線機器] セクションに、LAN ケーブルでルーターに接続されているデバイスのリストが表示されます。[無線機器] セクションに、ワイヤレスネットワークに接続されているデバイスのリストが表示されます。以下の情報が表示されます。

- **ステータス**：デバイスの状態。[許可] または [禁止しました] です。
- **デバイス名**：デバイス名が認識されている場合は、ここに表示されます。

- **IP アドレス**：このデバイスがネットワークに接続したときにルーターから割り当てられた IP アドレス。この数値は、デバイスがネットワークから切断され、再度接続すると変わることがあります。
 - **MAC アドレス**：各デバイスの一意的 MAC アドレスで、変更されることはありません。MAC アドレスは通常、製品ラベルに記載されています。
5. 画面を更新するには、**[更新]** ボタンをクリックします。

ルーター設定ファイルの管理

ルーターの設定は、ルーター内の設定ファイルに保存されます。このファイルは、コンピューターにバックアップ（保存）したり、復元したり、工場出荷時の初期設定に戻したりすることができます。

設定のバックアップ

▶ ルーターの設定をバックアップする：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[管理者]** > **[設定のバックアップ]** を選択します。

5. **[バックアップ]** ボタンをクリックします。
6. ネットワーク上の場所を指定し、現在の設定のコピーを保存します。

設定の復元

▶ バックアップした設定を復元する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
5. [参照] ボタンをクリックし、cfg ファイルを見つけて選択します。
6. [復元] ボタンをクリックします。
ファイルがルーターにアップロードされ、ルーターが再起動します。



警告：

再起動プロセスを中断しないでください。

現在の設定の消去

現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定に復元することができます。この操作は、ルーターを別のネットワークに移動した場合にも実行することもできます。168 ページの [初期設定](#) を参照してください。

▶ 設定を消去する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
5. [消去] ボタンをクリックします。

工場出荷時の初期設定に復元されます。ユーザー名は admin、パスワードは password、LAN IP アドレスは 192.168.1.1 になります。DHCP が有効になります。

リモート管理

リモート管理機能により、インターネット経由でルーターにアクセスし、設定の表示や変更を行うことができます。この機能を使用するには、ルーターの WAN IP アドレスを知っている必要があります。ダイナミック DNS を使用したリモートアクセスについては、[第 7 章、インターネットからのルーターの USB ドライブへのアクセス](#)を参照してください。

注意：ユーザー名 admin の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で 30 文字です。123 ページの[管理者パスワードの変更](#)を参照してください。

➤ リモート管理を設定する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[リモート管理]** を選択します。

5. **[リモート管理を有効にする]** チェックボックスを選択します。
6. **[次のリモートアクセスを許可]** セクションで、ルーターのリモート管理にアクセスすることを許可する外部 IP アドレスを指定します。

注意： 安全性を高めるためには、アクセスをできるだけ限られた外部 IP アドレスのみに限定することを推奨します。

以下のいずれかを選択します。

- インターネット上の単一 IP アドレスからのアクセスを許可するには、**[このコンピューターのみ]** ラジオボタンを選択します。アクセスを許可する IP アドレスを入力します。
- インターネット上のある範囲の IP アドレスからのアクセスを許可するには、**[IP アドレス範囲]** ラジオボタンを選択します。開始 IP アドレスと終止 IP アドレスを入力し、範囲を入力します。
- インターネット上のすべての IP アドレスからのアクセスを許可するには、**[全員]** ラジオボタンを選択します。

7. NETGEAR genie（ルーター管理画面）にアクセスするためのポート番号を指定します。

通常のウェブブラウザアクセスでは、標準 HTTP サービスのポート 80 が使用されます。安全性を高めるためには、リモートウェブ管理画面用のカスタムポート番号を入力してください。1024 から 65535 までの番号を選択してください。ただし、共通サービスポートの番号は使用しないでください。デフォルトは 8080 です。これは、HTTP 用の一般的な代替ポート番号です。

8. **[適用]** ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

➤ **リモートアクセスを使用する：**

1. ホームネットワーク上にないコンピューターでインターネットブラウザを開きます。
2. ルーターの WAN IP アドレスをブラウザのアドレスバーや場所の欄に入力し、コロン (:) で区切ってからカスタムポート番号を入力します。

例えば、外部アドレスが 134.177.0.123 で、ポート番号 8080 を使用する場合、ブラウザには **http://134.177.0.123:8080** と入力します

12 VPN を使用したネットワークへの アクセス

12

この章には次の内容が含まれます。

- *VPN 接続の設定*
- *VPN サービスの設定*
- *OpenVPN ソフトウェアのインストール*
- *ルーターの USB ドライブとメディアへの VPN を使用したアクセス*
- *VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス*

VPN 接続の設定

VPN (Virtual Private Network) を利用すると、家にいないときにインターネットを使用して自宅のネットワークに安全にアクセスできます。

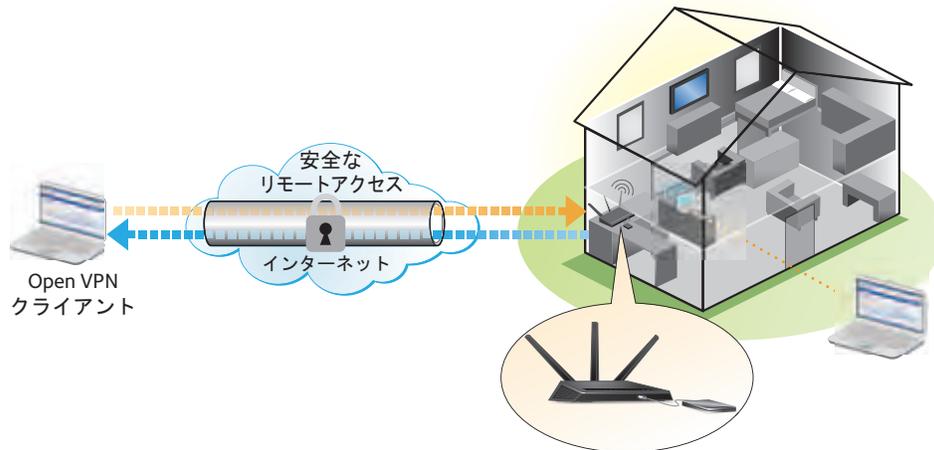


図 14. VPN はホームネットワークとリモートコンピューターの間には安全なトンネルを提供

このタイプの VPN アクセスは、クライアントとゲートウェイ間のトンネルと呼ばれます。コンピューターがクライアントで、ルーターがゲートウェイです。VPN 機能を使用するには、ルーターにログインして VPN を有効にする必要があります。また、コンピューターに VPN クライアントソフトウェアをインストールして実行する必要があります。

注意 : iOS と Android の VPN クライアントソフトウェアには対応していません。

VPNはダイナミック DNS (DDNS) または静的IPアドレスを使用してルーターに接続します。

DDNS サービスを使用するには、ホスト名（ドメイン名と呼ばれる場合があります）を指定してアカウントを登録します。このホスト名を使用して、ネットワークにアクセスします。ルーターは次のようなアカウントをサポートしています：NETGEAR www.no-ip.com、www.no-ip.com、www.DynDNS.org。

使用中のインターネットアカウントに、プロバイダーから静的 WAN IP アドレス（50.196.x.x や 10.x.x.x など）が割り当てられている場合、VPN でその IP アドレスを使用して、ホームネットワークに接続することができます。

VPN サービスの設定

VPN 接続を使用する前に、ルーターで VPN サービスを設定する必要があります。

▶ VPN サービスを設定する :

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPN サービス] を選択します。
5. [VPN サービスを有効にする] チェックボックスを選択します。
デフォルトで、VPN は UDP サービスタイプを使用し、ポート 12974 を使用します。サービスタイプとポートをカスタマイズする場合、NETGEAR は、これらの設定を変更してから OpenVPN ソフトウェアをインストールすることを推奨します。
6. サービスタイプを変更するには、下にスクロールして、[TCP] ラジオボタンを選択します。
7. ポートを変更するには、[サービスポート] の欄まで下にスクロールして、使用したいポート番号を入力します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。ルーターで VPN が有効になりますが、VPN 接続を使用する前に、OpenVPN ソフトウェアをコンピューターにインストールして設定する必要があります。

OpenVPN ソフトウェアのインストール

OpenVPN ソフトウェアは、ルーターへの VPN 接続に使用する予定の各コンピューターにインストールする必要があります。

▶ VPN クライアントソフトウェアをインストールする :

1. <http://openvpn.net/index.php/download/community-downloads.html> にアクセスします。
2. 画面の [Windows Installer (Windows インストーラー)] のカテゴリで、**openVPN-install-xxx.exe** リンクをダブルクリックします。
3. ファイルをダウンロードし、各コンピューターに保存します。
4. 各コンピューターで Open VPN ソフトウェアをダブルクリックしてインストールします。

OpenVPN の [Setup Wizard (セットアップウィザード)] が表示されます。



5. [Next (次へ)] ボタンをクリックします。
6. 使用許諾契約書を読み、[I Agree (同意する)] ボタンをクリックします。
[Choose Components (コンポーネントの選択)] 画面が表示されます。



7. 図に示すようにチェックボックスを選択した状態にして、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。
8. インストール先フォルダーを指定するには、[Browse (参照)] ボタンをクリックし、インストール先フォルダーを選択します。

次の画面が表示されます。



9. [Install (インストール)] ボタンをクリックします。

画面にインストールの進行状況が表示され、その次に、最後のインストール画面が表示されます。



10. [Finish (完了)] ボタンをクリックします。
11. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、デバイス上のフォルダーにコピーします。
- Windows 64ビットシステムのクライアントデバイスの場合、VPNクライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。
12. Windowsのクライアントデバイスの場合は、VPNインターフェイス名を **NETGEAR-VPN** に変更します。
- Windows で、[コントロール パネル] > [ネットワークとインターネット] > [ネットワーク接続] を選択します。
 - [ローカル エリア接続] のリストで、デバイス名が **TAP-Windows Adapter** であるローカルエリア接続を見つけます。
 - そのローカルエリア接続を選択し、接続の名前（デバイス名とは異なります）を **NETGEAR-VPN** に変更します。

VPN インターフェイス名を変更しないと、VPN トンネル接続が失敗します。

VPN トンネルの使用

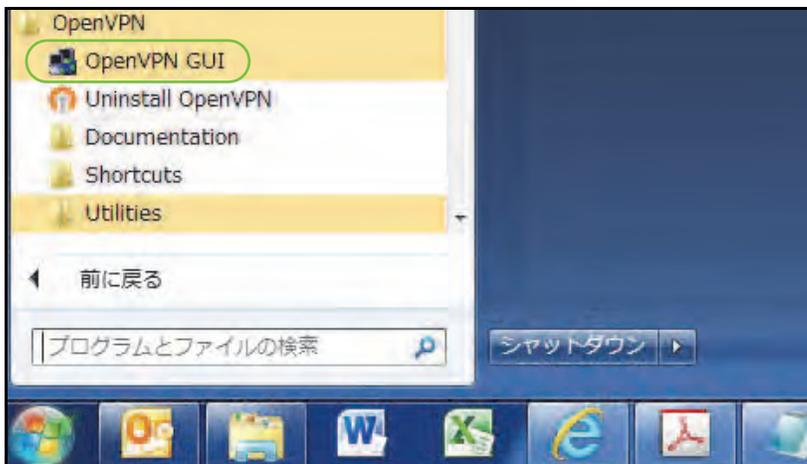
VPN を使用するようにルーターを設定し、コンピューターに OpenVPN アプリケーションをインストールしたら、インターネット経由でコンピューターからルーターまで VPN トンネルを開くことができます。

VPN トンネルが正しく機能するためには、リモートのルーターで使われているローカル LAN IP アドレスの LAN IP 方式が、VPN クライアントコンピューターが接続されているローカル LAN の LAN IP 方式とは異なっている必要があります。両方のネットワークが同じ LAN IP 方式を使用していると、VPN トンネルが確立されたときに OpenVPN ソフトウェアで家庭のルーターやホームネットワークにアクセスすることができません。

R7000 のデフォルトの LAN IP アドレス方式は、192.x.x.x です。最もよく使われる IP 方式は、192.x.x.x、172.x.x.x、および 10.x.x.x です。競合が発生する場合は、ホームネットワークの IP 方式、またはクライアント VPN コンピューターが属するネットワークの IP 方式のいずれかを変更してください。これらの設定の変更については、98 ページの [LAN TCP/IP 設定の変更](#) を参照してください。

➤ VPN トンネルを開くには：

1. 管理者権限を使用して OpenVPN アプリケーションを起動します。

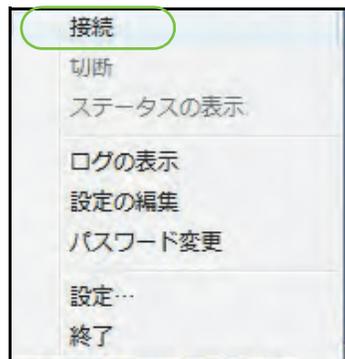


Windows タスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。

ヒント： VPN プログラムへのショートカットを作成してから、ショートカットの設定で **[管理者として実行]** チェックボックスを選択します。この後は、このショートカットを起動するたびに、OpenVPN は自動的に管理者権限で実行されます。

2. [OpenVPN] アイコンを右クリックします。

メニューが表示されます。



3. [Connect (接続)] を選択します。

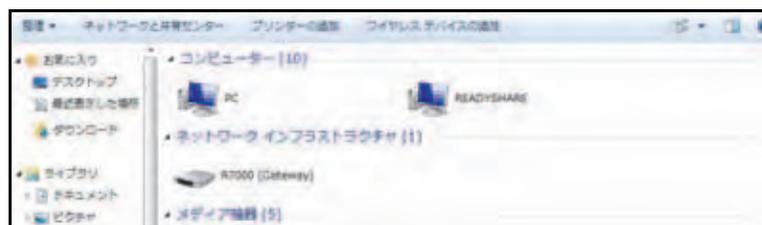
VPN 接続が確立されます。次のことを実行できます。

- インターネットブラウザを起動し、ルーターにログインする。
- Windows ファイルマネージャーを使用してルーターの USB ドライブにアクセスし、ファイルをダウンロードする。

ルーターの USB ドライブとメディアへの VPN を使用したアクセス

➤ ルーターの USB ドライブにアクセスしてファイルをダウンロードする：

1. Windows ファイルマネージャーで、[ネットワーク] フォルダーを選択します。



ネットワークリソースが表示されます。ReadySHARE のアイコンはコンピュータのセクションにあり、リモート R7000 のアイコンはメディア機器のセクション（ルーターで DLNA が有効になっている場合）にあります。

2. アイコンが表示されていない場合は、[更新] ボタンをクリックして画面を更新します。
ローカル LAN とリモート LAN が同じ IP 方式を使用していると、リモート R7000 のアイコンは [メディア機器] や [ネットワークインフラストラクチャ] のセクションに表示されません。
3. ルーターの USB ドライブにアクセスするには、[ReadySHARE] アイコンをクリックします。
4. ルーターのネットワーク上にあるメディアにアクセスするには、[R7000] アイコンをクリックします。

VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

外出先でインターネットにアクセスするときには、通常、ローカルのインターネットサービスプロバイダーを使用します。例えば、コーヒーショップでは、その店のインターネットサービスアカウントを使用してウェブページを閲覧できるようにするコードが提供されることがあります。

R7000 では、外出しているときに、VPN 接続を使用して、自分が利用中のインターネットサービスにアクセスできます。家で使用しているインターネットサービスが利用できない場所に旅行する場合などでも使えます。

VPN クライアントインターネットアクセスの設定

デフォルトでは、ルーターはホームネットワークに対する VPN 接続のみを許可するように設定されていますが、インターネットアクセスを許可するように設定を変更できます。VPN 経由でリモートからインターネットにアクセスすると、インターネットに直接アクセスするより速度が遅い場合があります。

➤ VPN クライアントに自宅のホームネットワークの使用を許可する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[VPN サービス]** を選択します。
5. **[VPN サービス]** 画面で、**[VPN サービスを有効にする]** ラジオボタンを選択します。
6. **[クライアントはアクセスにこの VPN 接続を使用します。]** セクションまで下にスクロールして、**[インターネットおよびホームネットワーク上のすべてのサイト]** ラジオボタンを選択します。
ローカルのインターネットサービスを使用する代わりに VPN 接続を使用してインターネットにアクセスするときには、ホームネットワークからインターネットサービスを使用します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
8. **[For Windows (Windows 用)]** ボタンまたは **[For non-Windows (Windows 以外)]** ボタンをクリックし、VPN クライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPN クライアントがインストールされている、デバイス上のフォルダーにコピーします。

Windows 64ビットシステムのクライアントデバイスの場合、VPNクライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。

ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの禁止

デフォルトでは、ルーターは次のように設定されます。ホームネットワークへの VPN 接続だけを許可し、ホームネットワーク用のインターネットサービスへの VPN 接続は許可しません。インターネットアクセスを許可するようにこの設定を変更しても、元に戻すことができます。

▶ VPN クライアントにホームネットワークへのアクセスのみを許可する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [VPN サービス]** を選択します。
5. **[VPN サービスを有効にする]** ラジオボタンを選択します。
6. **[クライアントはアクセスにこの VPN 接続を使用します。]** セクションまで下にスクロールして、**[ホームネットワークのみ]** ラジオボタンを選択します。
これはデフォルトの設定です。VPN 接続は、ホームネットワークに対してのみで、ホームネットワーク用のインターネットサービスに対しては許可されません。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
8. **[For Windows (Windows 用)]** ボタンまたは **[For non-Windows (Windows 以外)]** ボタンをクリックし、VPN クライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPN クライアントがインストールされている、デバイス上のフォルダーにコピーします。

Windows 64ビットシステムのクライアントデバイスの場合、VPNクライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。

VPN トンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

- 自宅のホームネットワークにアクセスする：
 1. 自宅のホームネットワークへのVPNアクセスを許可するようにルーターを設定します。
145 ページの [VPN クライアントインターネットアクセスの設定](#) を参照してください。
 2. コンピューターで、OpenVPN アプリケーションを起動します。
Windows タスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。
 3. アイコンを右クリックし、[接続] をクリックします。
 4. VPN 接続が確立されたら、インターネットブラウザを開きます。

13 インターネットポート設定

13

ポート転送とポートトリガーを使用して、インターネットトラフィックのルールを設定できます。これらの機能を設定するには、ネットワークの知識が必要です。

この章には次の内容が含まれます。

- ローカルサーバーへのポート転送の設定
- ポートトリガーの設定

ローカルサーバーへのポート転送の設定

ホームネットワーク内にサーバーがある場合、特定のタイプの受信トラフィックがサーバーに到達することを許可できます。例えば、ローカルのウェブサーバー、FTP サーバー、ゲームサーバーをインターネットから表示でき、使用できるようにすることもできます。

ルーターは、特定のプロトコルを使用する受信トラフィックを、ローカルネットワーク上のコンピューターに転送できます。アプリケーション用のサーバーの指定が可能で、ルーターがその他の受信プロトコルすべてを転送する宛先となるデフォルト DMZ サーバーを指定することもできます。

特定の受信プロトコルを転送する：

1. どのタイプのサービス、アプリケーション、またはゲームを提供するかを決めます。
2. サービスを提供する、ネットワーク上のコンピューターのローカルIPアドレスを調べます。

サーバーコンピューターの IP アドレスは常に同じでなければなりません。この設定を指定するには、予約 IP アドレス機能を使用します。102 ページの [LAN IP アドレスの予約](#) を参照してください。

3. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
4. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。

ログイン画面が表示されます。

5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

6. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。

7. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。

8. [サービス名] リストで、サービス名を選択します。

追加するサービスがリストに含まれていない場合は、カスタムサービスを作成します。150 ページの [ポート転送の追加](#) を参照してください。

9. [サーバー IP アドレス] の欄に、サービスを提供するコンピューターの IP アドレスを入力します。
10. [追加] ボタンをクリックします。
リストにサービスが表示されます。

ポート転送の追加

▶ ポート転送を追加する：

1. アプリケーションが使用するポート番号または番号の範囲を確認します。
この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。
2. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
3. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
6. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
7. [カスタムサービスの追加] ボタンをクリックします

サービス名

サービスタイプ TCP/UDP

外部開始ポート (1-65535)

外部終了ポート (1-65535)

内部ポートと同じポート転送を使用

内部開始ポート (1-65535)

内部終了ポート

サーバー IP アドレス

192 168 1

または、現在接続されているデバイスから選択

IP アドレス	デバイス名
<input type="radio"/>	192.168.1.1
<input type="radio"/>	PC

8. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
9. [サービスタイプ] 欄でプロトコルを選択します。不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
10. [外部開始ポート] 欄に、開始ポート番号を入力します。
アプリケーションが 1 つのポートを使用している場合は、終止ポートの欄に同じポート番号を入力します。

アプリケーションが複数のポートを使用している場合は、[外部終止ポート] 欄に、ポート範囲の終止ポート番号を入力します。

11. 次のどちらかの方法で、内部ポートを指定します。
 - [内部ポートに同じポート範囲を使用] チェックボックスを選択した状態にします。
 - [内部開始ポート] 欄と [内部終止ポート] 欄にポート番号を入力します。
12. [サーバー IP アドレス] 欄に IP アドレスを入力するか、表に示されている接続デバイスのラジオボタンを選択します。
13. [適用] ボタンをクリックします。
これでサービスが [ポート転送 / ポートトリガー] 画面のリストに表示されるようになります。

ポート転送の編集

▶ ポート転送を編集する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
6. 表から、サービス名の隣にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの編集] ボタンをクリックします。
[ポート転送 - カスタムサービス] 画面が表示されます。
8. 以下の設定を編集します。
 - サービス名：サービス名を入力します。
 - サービスタイプ：不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
 - 外部開始ポート：アプリケーションが1つのポートを使用している場合は、[外部終止ポート] 欄に同じポート番号を入力します。アプリケーションが複数のポートを使用している場合は、[外部終止ポート] 欄に、ポート範囲の終止ポート番号を入力します。
 - 内部ポートの場合、[内部ポートに同じポート範囲を使用] チェックボックスを選択した状態にします。
 - サーバー IP アドレス：[サーバー IP アドレス] 欄に IP アドレスを入力するか、表に示されている接続デバイスのラジオボタンを選択します。

9. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ポート転送の削除

▶ ポート転送を削除する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択します。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの削除] ボタンをクリックします。

適用例：ローカルウェブサーバーの公開

ローカルネットワークでウェブサーバーをホストしている場合、ポート転送を使用して、インターネット上の任意のユーザーからのウェブリクエストがウェブサーバーに到達できるようにします。

▶ ローカルウェブサーバーを公開する：

1. ウェブサーバーに、固定 IP アドレスを割り当てるか、DHCP アドレス予約を使用して動的 IP アドレスを割り当てます。
この例では、ルーターは常に、ウェブサーバーに対して IP アドレス 192.168.1.33 を指定します。
2. [ポート転送 / ポートトリガー] 画面で、**192.168.1.33** にあるウェブサーバーのローカルアドレスに HTTP サービスを転送するようにルーターを設定します。
HTTP (ポート 80) は、ウェブサーバーの標準プロトコルです。
3. (オプション) ダイナミック DNS サービスを使用してホスト名を登録し、ルーターの [ダイナミック DNS] 画面でその名前を指定します。
ダイナミック DNS によって、インターネットブラウザに名前を入力可能になるため、インターネットからサーバーへのアクセスが大幅に容易になります。この方法を使用し

ない場合は、プロバイダーが割り当てた IP アドレスを知っておく必要があり、一般に、このアドレスは変化します。

ルーターでのポート転送ルールの実行方法

次の手順は、ポート転送ルールを設定する効果を説明しています。

1. ブラウザーに URL として www.example.com と入力すると、ブラウザは以下の宛先情報とともにウェブページリクエストメッセージを送信します
 - **ターゲットアドレス** : www.example.com の IP アドレスで、これはルーターのアドレスです。
 - **ターゲットポート番号** : 80 です。これがウェブサーバープロセスの標準ポート番号です。
2. ルーターはメッセージを受信し、受信ポート 80 のトラフィックに関するポート転送ルールを見つけます。
3. ルーターはメッセージ内の宛先を IP アドレス 192.168.1.123 に変更し、メッセージをそのコンピューターに送信します。
4. IP アドレス 192.168.1.123 にあるウェブサーバーがリクエストを受信し、ルーターに応答メッセージを送信します。
5. ルーターがソース IP アドレスに対するネットワークアドレス変換 (NAT) を実行し、ウェブページリクエストを送信したコンピューターまたはワイヤレスデバイスに、インターネット経由で応答を送信します。

ポートトリガーの設定

ポートトリガーは、以下の場合に役立つ動的なポート転送の拡張機能です。

- アプリケーションがポート転送を複数のローカルコンピューターに対して使用する必要がある（ただし同時には使用しない）。
- アプリケーションが、送信ポートとは異なる受信ポートを開く必要がある。

ポートトリガーの使用時に、ルーターはユーザーが指定した送信「トリガー」ポートからインターネットに向かうトラフィックを監視します。そのポートからの送信トラフィックについて、ルーターはトラフィックを送信したコンピューターの IP アドレスを保存します。ルーターは、受信ポートまたはユーザーがルールで指定したポートを一時的に開き、その受信トラフィックを宛先に転送します。

ポート転送では、ポート番号またはポートの範囲から、単一のローカルコンピューターへの静的なマッピングが作成されます。ポートトリガーは、必要なときに任意のコンピューターに対して動的にポートを開き、必要でなくなったときにポートを閉じることができます。

注意： マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス（Windows XP の機能）といったリアルタイムコミュニケーションのアプリケーションを使用する場合は、UPnP (Universal Plug and Play) を有効にしてください。48 ページの [Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善](#) を参照してください。

ポートトリガーの追加

▶ ポートトリガーサービスを追加する：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。
6. [サービスの追加] ボタンをクリックします。

7. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
8. [サービスユーザー] リストで、[すべて] を選択するか、[単一アドレス] を選択して1台のコンピューターのIPアドレスを入力します。
 - [すべて] (デフォルト) を選択すると、インターネット上のどのコンピューターもこのサービスの使用を許可されます。
 - [単一アドレス] を選択すると、サービスは特定のコンピューターに限定されます。

9. サービスタイプを [TCP]、[UDP]、[TCP/UDP]（両方）から選択します。
不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
10. [トリガーポート] 欄に、受信ポートを開く送信トラフィックのポート番号を入力します。
11. 受信接続のポート情報を、[接続タイプ]、[開始ポート]、および [終止ポート] の各欄に入力します。
12. [適用] ボタンをクリックします。
これでサービスがポートマップ表に表示されるようになります。追加したサービスでルーターがポートトリガーを使用する前に、ポートトリガーを有効にする必要があります。次のセクションを参照してください。

ポートトリガーの有効化

▶ ポートトリガーを有効にする：

1. ネットワークに接続されているコンピューターまたはワイヤレスデバイスからインターネットブラウザを開きます。
2. <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。

サービスタイプを選択してください

ポート転送

ポートトリガー

ポートトリガーを無効にする
ポートトリガーのタイムアウト時間(分)

ポートトリガーポートマップ表

Port	Protocol	Service Name	Start Port	End Port

↑ サービスを追加 ↓ サービスを削除 設定をリセット

6. [ポートトリガーを無効にする] チェックボックスのチェックを外します。
このチェックボックスが選択されていると、ポートトリガーの設定を指定済みの場合でも、ルーターはポートトリガーを使用しません。
7. [ポートトリガーのタイムアウト時間] 欄に、最大 9999 分の値を入力します。

ルーターでアクティビティが検出されないときに受信ポートが開いたままになる時間をここで設定できます。ルーターはアプリケーションがいつ終了したかを検出できないため、この値を必ず指定する必要があります。

適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー

FTP サーバーや IRC サーバーなどの一部のアプリケーションサーバーは、複数のポート番号に応答を送信します。ポートトリガーを使用すると、特定の送信ポートがセッションを開始したら、より多くの受信ポートを開くようにルーターに指示できます。

例となるのはインターネットリレーチャット (IRC) です。コンピューターは宛先ポート 6667 で IRC サーバーに接続します。IRC サーバーはソースポートに回答するだけでなく、ポート 113 でコンピューターに「識別」メッセージも送信します。ポートトリガー使用時には、ルーターに、「ユーザーが宛先ポート 6667 でセッションを開始したら、ポート 113 上の受信トラフィックが発信元コンピューターに到達することも許可しなければならない」と指示できます。以下の一連の動作は、定義したポートトリガールールの作用を示しています。

1. コンピューターで、IRC クライアントプログラムを開いてチャットセッションを開始します。
2. IRC クライアントは、宛先ポート番号として、IRC サーバープロセスの標準ポート番号である 6667 を使用して、IRC サーバーに対するリクエストメッセージを作成します。コンピューターが次に、このリクエストメッセージをルーターに送信します。
3. ルーターは、内部セッションテーブルに、コンピューターと IRC サーバー間の通信セッションについて記述するエントリを作成します。ルーターは元の情報を保存し、ソースのアドレスとポートについてネットワークアドレス変換 (NAT) を実行して、このリクエストメッセージをインターネット経由で IRC サーバーに送信します。
4. ルーターは、ユーザーのポートトリガールールを認識し、宛先ポート番号 6667 を観察して、ポート 113 の受信トラフィックをすべてコンピューターに送信する別のセッションエントリを作成します。
5. IRC サーバーは、NAT に割り当てられたソースポート（例：ポート 33333）を宛先ポートとして使用して、ルーターに回答メッセージを送信します。IRC はルーターに、宛先ポート 113 を使用して「識別」メッセージも送信します。
6. ルーターは、宛先ポート 33333 へのメッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号 33333 のセッションがアクティブかどうかを確認します。アクティブなセッションを見つけたら、ルーターは NAT によって置き換えられた元のアドレス情報を復元し、この応答メッセージをコンピューターに送信します。
7. ルーターは、宛先ポート 113 への受信メッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号 113 でコンピューターと関連付けられているアクティブセッションを検出します。ルーターはメッセージの宛先 IP アドレスを、コンピューターの IP アドレスで置き換えて、メッセージをコンピューターに転送します。
8. ユーザーがチャットセッションを終了すると、ルーターは最終的に、通信中にアクティビティのない時間を検出します。ルーターは次に、セッションテーブルからそのセッションの情報を削除し、ポート番号 33333 や 113 では、受信トラフィックが受け入れられなくなります。

この章では、ルーターで発生する可能性のある問題の診断と解決に役立つ情報を提供します。この章で解決策が見つからない場合は、<http://www.netgear.jp/supportInfo/>にある NETGEAR サポートサイトで製品や連絡先の情報をご確認ください。

この章には次の内容が含まれます。

- [トラブルシューティングのヒント](#)
- [LED を使用したトラブルシューティング](#)
- [ルーターにログインできない](#)
- [インターネットにアクセスできない](#)
- [変更が保存されない](#)
- [ワイヤレス接続](#)
- [ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング](#)

トラブルシューティングのヒント

このセクションでは、一般的ないくつかのトラブルシューティングのヒントを示します。

ネットワークを再起動する手順

ネットワークを再起動する必要がある場合は、以下の手順に従います。

1. モデムの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. ルーターの電源をオフにします。
3. モデムの電源コードを接続し、電源を入れます。2分間待ちます。
4. ルーターの電源を入れ、2分間待ちます。

LAN ケーブルの接続の確認

デバイスの電源が入らない場合、LAN ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。

ルーターとモデムを接続している LAN ケーブルがしっかりと差し込まれていて、モデムとルーターの電源が入っていれば、ルーター上のインターネット LED が点灯します。

電源が入っているコンピューターが LAN ケーブルでルーターに接続されている場合、対応する番号の LAN ポート LED が点灯します。

ワイヤレス設定

コンピューターとルーターのワイヤレス設定が一致していることを確認します。ルーターとワイヤレスコンピューターのワイヤレスネットワーク名 (SSID) とワイヤレスセキュリティ設定が、一致している必要があります。

[高度なワイヤレス設定] 画面でアクセスリストを設定した場合は、各ワイヤレスコンピューターの MAC アドレスを、ルーターのアクセスリストに追加する必要があります。

ネットワーク設定

コンピューターのネットワーク設定が正しいことを確認します。有線やワイヤレスで接続されるコンピューターは、ルーターと同じネットワーク上のネットワーク (IP) アドレスを使用する必要があります。最も簡単な方法は、DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得するように各コンピューターを設定することです。

一部のプロバイダーでは、最初にアカウントに登録されたコンピューターの MAC アドレスを使用する必要があります。MAC アドレスは、[接続デバイス] 画面で参照できます。

LED を使用したトラブルシューティング

ルーターの電源を入れた後、LED は以下のように動作します。

1. 最初に電源を入れたときに、電源 LED  が点灯することを確認します。
2. 約 30 秒経過したら、以下のことを確認します。
 - 電源 LED が白色点灯である。
 - インターネット LED が点灯している。
 - ワイヤレスをオフにしていなければワイヤレス LED が点灯している。

ルーター前面の LED をトラブルシューティングに使用できます。

電源 LED が消灯または点滅している

- 電源アダプターがルーターにしっかりと接続されていて、コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 製品本体に同梱の電源アダプターを使用していることを確認します。
- 電源 LED がゆっくり続けて点滅する場合、ルーターファームウェアが破損しています。これは、ファームウェアアップグレードが中断された場合や、ルーターがファームウェアの問題を検出した場合に発生することがあります。エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が起きています。復元の手順やハードウェアの問題に関するサポートについては、www.netgear.com/support でテクニカルサポートにお問い合わせください。

電源 LED がオレンジのままになっている

ルーターの電源を入れると、電源 LED は約 20 秒間オレンジになり、その後白になります。LED が白にならない場合、ルーターに問題があります。

ルーターの電源をオンにした後 1 分たっても電源 LED がオレンジのままの場合、以下を実行してください。

1. 電源をオフにしてから再度オンにして、ルーターが正常に起動するかどうかを確認します。
2. [リセット] ボタンを長押しして、ルーターを工場出荷時の設定に戻します。

164 ページの [ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング](#) を参照してください。

エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が起きている可能性があります。<http://www.netgear.jp/supportInfo/> にアクセスしてテクニカルサポートにお問い合わせください。

LED が消灯しない

ルーターの電源を入れると、LED は約 10 秒間点灯し、その後消灯します。すべての LED が点灯したままの場合、ルーター内部の障害を示しています。

電源をオンにした後 1 分たってもすべての LED が点灯している場合は、以下を実行してください。

- ルーターの電源をオフにしてから再度オンにして、ルーターが正常に戻るかどうかを確認します。
- [リセット] ボタンを長押しして、ルーターを工場出荷時の設定に戻します。詳細については、164 ページの [ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング](#) を参照してください。

エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が起きている可能性があります。NETGEAR のサポートウェブサイトにお問い合わせください。

<http://www.netgear.jp/supportInfo/>

インターネットまたは LAN ポートの LED が消灯している

イーサネット接続が行われたときに LAN ポート LED またはインターネット LED が点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ルーターとモデムまたはコンピューターが LAN ケーブルでしっかり接続されていることを確認します。
- 接続したモデムやコンピューターの電源が入っていることを確認します。
- 正しいケーブルを使っていることを確認します。

ルーターのインターネットポートをケーブルモデムや DSL モデムに接続するときには、ケーブルモデムまたは DSL モデムに付属していたケーブルを使用してください。このケーブルは、標準のストレート LAN ケーブルまたはイーサネットクロスケーブルです。

ワイヤレス LED が消灯している

ワイヤレス LED が消灯したままの場合、ルーター上のワイヤレスオン/オフボタンが押されていないか確認してください。このボタンは、ルーターのワイヤレスをオン/オフします。ワイヤレスがオンのときにワイヤレス LED が点灯します。

ルーターにログインできない

ローカルネットワーク上のコンピューターから NETGEAR genie（ルーター管理画面）にログインできない場合、以下のことを確認してください。

- 有線で接続している場合は、コンピューターとルーターの間のケーブルを確認します。
- コンピューターの IP アドレスが、ルーターと同じサブネット上にあることを確認します。推奨されるアドレス方式を使用している場合、コンピューターのアドレスは 192.168.1.2 から 192.168.1.254 までの範囲内になります。
- コンピューターの IP アドレスが 169.254.x.x のように表示される場合、新しいバージョンの Windows OS や Mac OS では、コンピューターが DHCP サーバーに到達できないときに IP アドレスを生成し、割り当てます。これらの自動生成されたアドレスは 169.254.x.x

の範囲内になります。IP アドレスがこの範囲内にある場合、コンピューターからルーターへの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

- ルーターの IP アドレスが変更されており、現在の IP アドレスが分からない場合は、ルーターの設定を消去し、工場出荷時の設定に戻します。これでルーターの IP アドレスは 192.168.1.1 に設定されます。詳細については、168 ページの [初期設定](#) を参照してください。
- ブラウザーで Java、JavaScript、または ActiveX が有効になっていることを確認します。Internet Explorer を使用している場合は、[更新] ボタンをクリックして、Java アプレットが確実に読み込まれるようにします。
- ブラウザーを終了し、もう一度起動してみてください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認します。ユーザー名は **admin** で、デフォルトパスワードは **password** です。この情報を入力するときに Caps Lock がオフになっていることを確認してください。
- ネットワーク上の既存のルーターの外側にルーターを設定しようとしている場合は、ブリッジモードを使用するか、ルーターをアクセスポイントとして設定します。
- ネットワーク上で、ADSL ゲートウェイの代替としてルーターを設定しようとしている場合、ルーターは多くのゲートウェイサービスを実行することができません。例えば、ルーターは ADSL データやケーブルデータをイーサネットネットワーク情報に変換できません。NETGEAR はそのような設定をサポートしていません。

インターネットにアクセスできない

ルーターにアクセスできてもインターネットにはアクセスできない場合は、ルーターがインターネットサービスプロバイダー (ISP) から IP アドレスを取得できるかどうかを確認してください。プロバイダーが固定 IP アドレスを提供している場合以外、ルーターはプロバイダーからの IP アドレスを要求します。[ルーターステータス] 画面を使用して、リクエストが成功したかどうかを判断できます。

▶ WAN IP アドレスを調べるには：

1. ブラウザーを起動し、www.netgear.com などの外部サイトを選択します。
2. www.routerlogin.net で、NETGEAR genie (ルーター管理画面) にアクセスします。
3. [高度] > [ルーターステータス] を選択します。
4. インターネットポートの IP アドレスが表示されることを確認します。0.0.0.0 が表示される場合、ルーターはプロバイダーから IP アドレスを取得していません。

ルーターがプロバイダーから IP アドレスを取得できない場合は、ネットワークを再起動することで、ケーブルモデムや DSL モデムに新しいルーターを強制的に認識させる必要が生じることがあります。詳細については、158 ページの [ネットワークを再起動する手順](#) を参照してください。

それでもルーターがプロバイダーから IP アドレスを取得できない場合、問題は以下のいずれかである可能性があります。

- ご利用のプロバイダーではログインプログラムが必要な可能性があります。

プロバイダーに、PPPoE (PPP over Ethernet) やその他のタイプのログインが必要かどうかをお問い合わせください。

- プロバイダーでログインが必要な場合、ログイン名とパスワードが正しく設定されていない可能性があります。
- プロバイダーがご利用のコンピューターのホスト名を調べている可能性があります。

[インターネット設定] 画面で、プロバイダーアカウントのコンピューターホスト名をアカウント名として割り当ててください。

- プロバイダーで許可される、インターネットに接続するためのイーサネット MAC アドレスが 1 つだけで、コンピューターの MAC アドレスを調べている可能性があります。この場合、次のいずれかを実行します。
 - 新しいネットワークデバイスを購入したことをプロバイダーに連絡し、ルーターの MAC アドレスを使用するように依頼します。
 - コンピューターの MAC アドレスのクローンを作成するようにルーターを設定します。

ルーターが IP アドレスを取得していても、ウェブページが表示できない場合、以下が原因である可能性があります。

- ルーターが IP アドレスを取得していても、ウェブページが表示できない場合、以下が原因である可能性があります。

DNS サーバーは、インターネット名 (www アドレスなど) を数値の IP アドレスに変換するインターネット上のホストです。一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1 台または 2 台の DNS サーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中に DNS アドレスを入力した場合は、コンピューターを再起動し、DNS アドレスを確認します。OS のマニュアルで説明されているように、手動でコンピューターに DNS アドレスを設定できます。

- コンピューターで、ルーターが TCP/IP ゲートウェイとして設定されていない可能性があります。

コンピューターが DHCP によってルーターから情報を取得する場合、コンピューターを再起動し、ゲートウェイアドレスを確認します。

- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。

インターネットにログインするためのプログラム (WinPoET など) がプロバイダーから提供された場合、ルーターのインストール後は、そのソフトウェアを実行する必要がなくなります。Internet Explorer に移動し、[ツール] > [インターネット オプション] と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。

PPPoE のトラブルシューティング

PPPoE を使用している場合、インターネット接続のトラブルシューティングを試みてください。

➤ PPPoE 接続のトラブルシューティングを行うには：

1. [高度] > [ルーターステータス] を選択します。

2. [接続ステータス] をクリックします。
3. [接続ステータス] の表示を調べて、PPPoE 接続が動作中であるかどうかを確認します。
4. 接続がない場合は、[接続] ボタンをクリックして再接続を試みることができます。ルーターは無期限に接続を試み続けます。
5. 数分後も接続できない場合は、正しくないサービス名、ユーザー名、またはパスワードを使用している可能性があります。プロバイダーでプロビジョニングの問題が起きている可能性もあります。

手動で接続する場合を除き、ルーターはデータがネットワークに転送されるまで、PPPoE を使用して認証を行いません。

インターネット閲覧のトラブルシューティング

ルーターが IP アドレスを取得できていても、ウェブページが表示できない場合は、以下を確認してください。

- コンピューターがどの DNS サーバーのアドレスも認識していない可能性があります。DNS サーバーは、インターネット名（www アドレスなど）を数値の IP アドレスに変換するインターネット上のホストです。
 一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1 台から 2 台の DNS サーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中に DNS アドレスを入力した場合は、コンピューターを再起動します。
 または、お使いのコンピューターのマニュアルを参照し、手動で DNS アドレスを指定してコンピューターを設定できます。
- コンピューターで、ルーターがデフォルトゲートウェイとして設定されていない可能性があります。
 コンピューターを再起動し、コンピューターでルーターのアドレス (www.routerlogin.net) がデフォルトゲートウェイアドレスとして表示されることを確認します。
- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。インターネットにログインするためのプログラム（WinPoET など）がプロバイダーから提供された場合、ルーターのインストール後は、そのソフトウェアを実行する必要がなくなります。Internet Explorer に移動し、[ツール] > [インターネット オプション] と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。

変更が保存されない

NETGEAR genie（ルーター管理画面）で行った変更がルーターに保存されない場合、以下を確認してください。

- 設定を入力するときには、別の画面やタブに移動する前に必ず [適用] ボタンをクリックします。そうしないと変更内容が失われます。
- ウェブブラウザで [更新] ボタンまたは [再読み込み] ボタンをクリックします。古い設定がウェブブラウザのキャッシュに残っている可能性があります。

ワイヤレス接続

ルーターへのワイヤレス接続に問題が発生している場合は、問題の切り分けを行います。

- 使用しているワイヤレスデバイスまたはコンピューターでは、ワイヤレスネットワークが検出されていますか？

検出されていない場合、ルーター前面のワイヤレス LED を調べてください。LED が消灯している場合は、ルーター上のワイヤレスオン / オフボタンを押し、ルーターのワイヤレスをオンにすることができます。

ルーターの SSID ブロードキャストを無効にした場合、ワイヤレスネットワークは非表示になり、ワイヤレスクライアントの一覧に表示されません。(デフォルトで SSID ブロードキャストは有効になっています。)

- ワイヤレスデバイスは、ワイヤレスネットワークのために使用しているセキュリティ (WPA や WPA2) をサポートしていますか？
- ルーターのワイヤレス設定を表示する場合は、LAN ケーブルを使用して、コンピューターをルーターの LAN ポートに接続します。次に、ルーターにログインして、[基本] > [ワイヤレス] を選択します。

注意： 設定を変更したら必ず [適用] ボタンをクリックしてください。

ワイヤレスデバイスがネットワークを検出しても、信号強度が弱い場合は、以下のような状態でないか確認してください。

- ルーターがコンピューターから離れすぎている、または近すぎていることはありませんか？コンピューターはルーターの近くに配置しますが、少なくとも 1.8 メートルは離して設置し、信号強度が向上するかどうかを確認します。
- ルーターとコンピューターの間、ワイヤレス信号を遮る障害物がありませんか？

ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング

ほとんどのネットワークデバイスやルーターには、指定したデバイスにエコー要求パケットを送信する ping ユーティリティが用意されています。エコー要求が送られると、デバイスはエコー応答を返します。コンピューターまたはワークステーションで ping ユーティリティを使用して、簡単にネットワークのトラブルシューティングを行うことができます。

ルーターへの LAN のパスのテスト

コンピューターからルーターに ping し、ルーターへの LAN のパスが正しく設定されていることを確認できます。

➤ Windows コンピューターからルーターに ping する :

1. Windows ツールバーの [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 次の例に示すように、表示される欄に **ping** に続けて、ルーターの IP アドレスを入力します。

ping www.routerlogin.net

3. [OK] ボタンをクリックします。

次のようなメッセージが表示されます。

```
Pinging <IP address > with 32 bytes of data
```

パスが正しく機能していれば、次のようなメッセージが表示されます。

```
Reply from < IP address >: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

パスが正しく機能していない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
Request timed out
```

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題がある可能性があります。

- ケーブルの接続に不具合がある

有線接続の場合、接続したポートの番号が付いた LAN ポート LED が点灯していることを確認してください。

使用中のネットワークデバイスに対して、適切な LED が点灯していることを確認してください。ルーターとコンピューターが個別のイーサネットスイッチに接続されている場合は、コンピューターとルーターに接続されているスイッチポートのリンク LED が点灯していることを確認してください。

- ネットワーク設定に不具合がある

イーサネットカードのドライバーソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがどちらもコンピューターにインストールされ、設定されていることを確認してください。

ルーターとコンピューターの IP アドレスが正しいこと、およびアドレスが同じサブネット上にあることを確認してください。

コンピューターからリモートデバイスへのパスのテスト

LAN のパスが正しく機能していることを確認した後は、コンピューターからリモートデバイスへのパスをテストします。

1. Windows ツールバーの [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. Windows の [ファイル名を指定して実行] ウィンドウで、次のように入力します。

ping -n 10 <IP address>

<IP address> には、プロバイダーの DNS サーバーのようリモートデバイスの IP アドレスが入ります。

パスが正しく機能していれば、前のセクションに示したようなメッセージが表示されます。

応答が受信されない場合は、以下のことを確認してください。

- コンピューターに、デフォルトゲートウェイとして表示されるルーターの IP アドレスが設定されていることを確認します。DHCP がコンピューターの IP 設定を割り当てている場合、この情報はコンピューターの [ネットワーク] コントロールパネルには表示されません。ルーターの IP アドレスがデフォルトゲートウェイとして表示されることを確認してください。
- コンピューターのネットワークアドレス（サブネットマスクによって指定される IP アドレスの部分）が、リモートデバイスのネットワークアドレスとは異なっていることを確認します。
- ケーブルモデムまたは DSL モデムが接続されていて、機能していることを確認します。
- プロバイダーがコンピューターにホスト名を割り当てた場合は、[インターネット設定] 画面で、そのホスト名をアカウント名として入力します。
- プロバイダーが、1 台を除くすべてのコンピューターのイーサネット MAC アドレスを拒否している可能性があります。

多くのプロバイダーは、ブロードバンドモデムの MAC アドレスからのトラフィックのみを許可することで、アクセスを制限しています。一部のプロバイダーではさらに、そのモデムに接続された 1 台のコンピューターの MAC アドレスへのアクセスも制限されます。その場合は、承認済みコンピューターの MAC アドレスの「クローン」または「スプーフィング」を行うようにルーターを設定してください。

補足情報

A

この補足情報では次の内容を取り上げます。

- 初期設定
- 技術仕様

初期設定

ルーターを工場出荷時の初期設定に戻すには、ペーパークリップの端や、その他の細い物を使い、ルーター背面の [リセット] ボタンを 7 秒間以上長押しします。ルーターは再起動し、下表のような工場出荷時の初期設定に戻ります。

表 3. 初期設定

機能		初期設定の動作
ルーターログイン	ユーザーログイン URL	www.routerlogin.com または www.routerlogin.net
	ユーザー名 (大文字と小文字を区別)	admin
	ログインパスワード (大文字と小文字を区別)	password
インターネット 接続	MAC アドレス	デフォルトのハードウェアアドレスを使う
	MTU サイズ	1500
	ポート速度	自動検知
ローカルネット ワーク (LAN)	IP アドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCP サーバー	有効
	DHCP 範囲	192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
	DHCP 開始 IP アドレス	192.168.1.2
	DHCP 終了 IP アドレス	192.168.1.254
	DMZ	無効
	タイムゾーン	国・地域により異なる
	タイムゾーンを夏時間に合わせて調整	無効
	SNMP	無効
ファイアウォール	インバウンド (インターネットからの通信)	無効 (ポート 80 の HTTP ポートのトラフィックを除く)
	アウトバウンド (インターネットへの通信)	無効 (すべて)
	ソース MAC フィルタ	無効

表 3. 初期設定 (続き)

機能		初期設定の動作
ワイヤレス	ワイヤレス通信	有効
	SSID 名	ルーターラベルを参照
	セキュリティ	WPA2-PSK (AES)
	ブロードキャスト SSID	有効
	通信速度	自動*
	国 / 地域	国・地域により異なる
	RF チャンネル	国・地域が選択されるまでは 6
	動作モード	2.4GHz で最大 600Mbps、5GHz で最大 1300Mbps

*. IEEE 標準 802.11 規格からの最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境 (ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど) が実際のデータ処理速度に影響します。

技術仕様

表 4. R7000 ルーター仕様

機能	説明
データとルーティングプロトコル	TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP、PPPoE、PPTP、Bigpond、ダイナミック DNS、UPnP、SMB
電源アダプター	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ：120V、60 Hz、入力 UK、オーストラリア：240V、50 Hz、入力 ヨーロッパ：230V、50 Hz、入力 すべての地域（出力）：12V/3.5A DC 出力
サイズ	サイズ：280 mm x 184.5 mm x 50 mm
重量	重量：750 g
動作温度	0° ~ 40° C
動作湿度	最大 90%、結露なきこと
取得規格	FCC Part 15 Class B VCCI Class B EN 55 022 (CISPR 22), Class B C-Tick N10947
LAN	10BASE-T または 100BASE-TX または 1000BASE-T、RJ-45
WAN	10BASE-T または 100BASE-TX または 1000BASE-T、RJ-45
ワイヤレス	最大ワイヤレス信号速度は IEEE802.11 標準に準拠。前の表の注釈を参照
無線データ速度	自動速度探知
無線 LAN 規格	IEEE 802.11ac 2.0 IEEE 802.11n バージョン 2.0 IEEE 802.11n 256QAM、IEEE 802.11g、IEEE 802.11b 2.4 GHz IEEE 802.11n、IEEE 802.11a 5.0 GHz
ワイヤレスネットワークごとの最大コンピューター数	ノードごとに生成されるワイヤレスネットワークトラフィック量によって制限（通常は 50 ~ 70 ノード）
動作周波数範囲	2.4 GHz 2.412–2.462 GHz (US) 2.412–2.472 GHz (日本) 2.412–2.472 GHz (ヨーロッパ ETSI) 5 GHz 5.18–5.24 + 5.745–5.825 GHz (US) 5.18–5.24 GHz (ヨーロッパ ETSI)
802.11 セキュリティ	WPA-PSK、WPA2-PSK、および WPA/WPA2